

大学番号：私165

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の設置

認可

山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 山梨学院
平成30年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学新設の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際リベラルアーツ学部

| <国際リベラルアーツ学科> | ページ |
|---------------------|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等 | 1 |
| 2. 授業科目の概要 | 5 |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費 | 49 |
| 4. AC対象学部等を含む大学等の状況 | 50 |
| 5. 教員組織の状況 | 52 |
| 6. 留意事項等に対する履行状況等 | 81 |
| 7. その他全般的事項 | 87 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 山梨学院

(2) 大学名

山梨学院大学

(3) 大学の位置

〒400-8575
山梨県甲府市酒折二丁目4-5

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------|--|--------------------------------------|--|
| 理事長 | (フル ヤ タダ ヒコ) 古 屋 忠 彦 (昭和54年10月) | (フル ヤ コウ ジ) 古 屋 光 司 (平成30年4月) | 設置時の理事長古屋忠彦が、平成30年3月31日付での理事長辞任届を提出(平成30年2月1日付)したため、平成30年3月9日付の理事会にて後任を選任した。(30) |
| 学 長 | (フル ヤ タダ ヒコ) 古 屋 忠 彦 (昭和54年10月) | (フル ヤ コウ ジ) 古 屋 光 司 (平成30年4月) | 設置時の学長古屋忠彦が、平成30年3月31日付での学長辞任届を提出(平成30年2月1日付)したため、平成30年3月9日付の理事会にて後任を選任した。(30) |
| 学部長 | (ラクトリン、マイケル・ジョン) LACKTORIN, Michael John (平成27年4月) | | |
| 学科長等 | (エツロット、クリスティアン) ETZRODT, Christian (平成27年4月) | (トウ マ マサ ヒロ) 當 眞 正 裕 (平成28年4月) | 既設学部及び設置者(学校法人)とのコミュニケーションを重視し、日本人バイリンガルに変更した。(28) |
| 学科長等 | (ス ガ ヒトシ) 須 賀 等 (平成28年4月) | | |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

| 調査対象学部等の名称(学位) | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|---|-----------|--------|------|----------|------|----|
| | | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 收容定員 | |
| 国際リベラルアーツ学部 国際リベラルアーツ学科 学士(国際リベラルアーツ) | 文学関係 | 4年 | 80人 | - 年次人 | 320人 | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 平均入学定員超過率 | 備考 |
|----------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|--------|-----------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 80 (-) [-] | | 80 (-) [-] | | 80 (-) [-] | | 80 (-) [-] | | 0.44 倍 | |
| 志願者数 | 52 (-) [-] | 20 (-) [18] | 54 (1) [2] | 29 (-) [26] | 36 (-) [3] | 70 (-) [70] | 54 (1) [12] | | | |
| 受験者数 | 52 (-) [-] | 19 (-) [17] | 50 (1) [2] | 29 (-) [26] | 35 (-) [3] | 63 (-) [63] | 52 (1) [11] | | | |
| 合格者数 | 35 (-) [-] | 13 (-) [11] | 33 (1) [2] | 24 (-) [21] | 25 (-) [3] | 52 (-) [52] | 40 (1) [9] | | | |
| B 入学者数 | 27 (-) [-] | 10 (-) [8] | 23 (1) [1] | 14 (-) [12] | 15 (-) [1] | 27 (1) [27] | 28 (1) [4] | | | |
| 入学定員超過率 B/A | 0.46 | | 0.46 | | 0.52 | | 0.35 | | | |

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 対象年度 学 年 | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 備 考 |
|-------------|----------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|-----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | 26 [0] (-) | 9 [7] (-) | 21 [1] (-) | 14 [12] (-) | 15 [1] (-) | 14 [12] (14) | 28 [3] (-) | 26 [26] (26) | |
| 2年次 | / | | 25 [1] (-) | 7 [6] (-) | 21 [1] (-) | 7 [6] (7) | 14 [1] (-) | 13 [11] (13) | |
| 3年次 | / | | / | | 24 [1] (-) | 0 [0] (-) | 20 [1] (-) | 8 [7] (7) | |
| 4年次 | / | | / | | / | | 20 [1] (-) | 0 [0] (-) | |
| 計 | 35 [7] (-) | | 67 [20] (-) | | 81 [21] (21) | | 129 [50] (46) | | |

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 在学者数(b) | 退学者数(a) | 内訳 | | | 主な退学理由 |
|------------|---------|---------|--------|------|-------------|-------------------------------------|
| | | | 入学した年度 | 退学者数 | 退学者数のうち留学生数 | |
| 平成27年度 | 37人 | 2人 | 平成27年度 | 2人 | 1人 | 他の教育機関への入学・転学(2) |
| 平成28年度 | 73人 | 6人 | 平成27年度 | 4人 | 1人 | 他の教育機関への入学・転学(4)、その他(1) |
| | | | 平成28年度 | 2人 | 0人 | 他の教育機関への入学・転学(1)、学生個人の心身に関する事情(1) |
| 平成29年度 | 109人 | 8人 | 平成27年度 | 3人 | 0人 | 就学意欲の低下(1)、学力不足(1)、他の教育機関への入学・転学(1) |
| | | | 平成28年度 | 3人 | 2人 | 就学意欲の低下(1)、他の教育機関への入学・転学(1)、その他(1) |
| | | | 平成29年度 | 2人 | 1人 | 家庭の事情(1)、その他(1) |
| 平成30年度 | 129人 | 1人 | 平成27年度 | 1人 | 0人 | 就学意欲の低下(1) |
| | | | 平成28年度 | 0人 | 0人 | |
| | | | 平成29年度 | 0人 | 0人 | |
| | | | 平成30年度 | 0人 | 0人 | |
| 合計 | 348人 | 17人 | | | | |

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{37} = \boxed{5.4} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{73} = \boxed{8.21} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{109} = \boxed{7.33} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{129} = \boxed{0.77} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際リベラルアーツ部 国際リベラルアーツ学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---------------------------------------|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| English for Academic Excellence (EAE) | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語:A) | 1 前・後 | | 15 | | 3 | 3 | 4 | | | |
| | English for Academic Excellence : B (アカデミック英語:B) | 1 前・後 | | 15 | | 3 | 3 | 4 | | | |
| Foundational Courses (基幹教育) | Composition 1 (英作文1) | 1 前・後 | | 3 | | 3 | 3 | 5 | | | |
| | Composition 2 (英作文2) | 1 前・後 | | 3 | | 3 | 3 | 5 | | | |
| | Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) | 1 前・後 | | 3 | | 3 | 3 | 5 | | | |
| | Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) | 1 前・後 | | 3 | | 3 | 3 | 5 | | | |
| | Introduction to World Issues (国際問題入門) | 1 前・後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Critical Thinking & Debate (批判的思考とディベート) | 1 前・後 | | 3 | | 3 | | | | | |
| | The Art of Making Presentations (プレゼンテーション技術) | 1 前 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Critical and Creative Thinking (批判的・創造的思考技術) | 2 前 | | 1 | | 1 | | | | | |
| Graduation Research Project (卒業研究) | 4 前・後 | | 2 | | 8 | 2 | | | | | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---------------------------------------|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| English for Academic Excellence (EAE) | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語:A) | 1 前・後 | | 15 | | 2 | 2 | 2 | | | |
| | English for Academic Excellence : B (アカデミック英語:B) | 1 前・後 | | 15 | | 2 | 2 | 2 | | | |
| Foundational Courses (基幹教育) | Composition 1 (英作文1) | 1 前・後 | | 3 | | 2 | 2 | 2 | | | |
| | Composition 2 (英作文2) | 1 前・後 | | 3 | | 2 | 2 | 2 | | | |
| | Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) | 1 前・後 | | 3 | | 2 | 2 | 2 | | | |
| | Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) | 1 前・後 | | 3 | | 2 | 2 | 2 | | | |
| | Introduction to World Issues (国際問題入門) | 1 前・後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Critical Thinking & Debate (批判的思考とディベート) | 1 前・後 | | 3 | | 3 | | | | | |
| | The Art of Making Presentations (プレゼンテーション技術) | 1 前 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Critical and Creative Thinking (批判的・創造的思考技術) | 2 前 | | 1 | | 1 | | | | | |
| Graduation Research Project (卒業研究) | 4 前・後 | | 2 | | 7 | 2 | | | | | |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| E n g l i s h f o r A c a d e m i c E x c e l l e n c e : A E A E : B | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語:A) | 1 前・後 | | 15 | | 3 | 2 | 3 | | | | |
| | English for Academic Excellence : B (アカデミック英語:B) | 1 前・後 | | 15 | | 3 | 2 | 3 | | | | |
| F o u n d a t i o n C o u r s e s (基 幹 教 育) | Composition 1 (英作文1) | 1 前・後 | | 3 | | 3 | 2 | 4 | | | | |
| | Composition 2 (英作文2) | 1 前・後 | | 3 | | 3 | 2 | 4 | | | | |
| | Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) | 1 前・後 | | 3 | | 3 | 2 | 4 | | | | |
| | Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) | 1 前・後 | | 3 | | 3 | 2 | 4 | | | | |
| | Introduction to World Issues (国際問題入門) | 1 前・後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Critical Thinking & Debate (批判的思考とディベート) | 1 前・後 | | 3 | | 3 | | | | | | |
| | The Art of Making Presentations (プレゼンテーション技術) | 1 前 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | Critical and Creative Thinking (批判的・創造的思考技術) | 2 前 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| Graduation Research Project (卒業研究) | 4 前・後 | | 2 | | | 6 | 3 | | | | | |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|--|------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| F o u n d a t i o n C o u r s e s (基幹教育) | Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) | 1 前 | | 12 | | 3 | 3 | 4 | | | | |
| | Career Design 1 (キャリア・デザイン1) | 2 前 | 1 | | | 2 | | | | | | |
| | Career Design 2 (キャリア・デザイン2) | 3・4 前 | 1 | | | 2 | | | | | | |
| | Internship (インターンシップ)(集中) | 3・4 前・後 | | | 1 | 1 | | | | | | |
| H u m a n i t i e s (人文教養) | Introduction to Language Concepts (言語概念入門) | 1 後 | | 3 | | 2 | | | | | | |
| | Sociolinguistics (社会言語学) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | 1 |
| | World Englishes (世界の英語) | 3・4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | 1 |
| | Literature Appreciation (文学鑑賞) | 1 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |
| | Lyric Poetry (叙情詩) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Major Themes in World Literature (世界の文学の主要テーマ) | 3・4 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |
| | Comparative Literature Studies (比較文学研究) | 3・4 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|---|------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| F o u n d a t i o n C o u r s e s (基幹教育) | Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) | 1 前 | | 12 | | 2 | 2 | 2 | | | | |
| | Career Design 1 (キャリア・デザイン1) | 2 前・後 | 1 | | | 3 | | | | | | |
| | Career Design 2 (キャリア・デザイン2) | 3・4 前・後 | 1 | | | 3 | | | | | | |
| | Internship (インターンシップ)(集中) | 3・4 前・後 | | | 1 | 1 | | | | | | |
| H u m a n i t i e s (人文教養) | Introduction to Language Concepts (言語概念入門) | 1 前・後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Sociolinguistics (社会言語学) | 2 後 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | World Englishes (世界の英語) | 3・4 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Literature Appreciation (文学鑑賞) | 1 前・後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Lyric Poetry (叙情詩) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Modern Japanese Society and Culture Through Literature (近現代日本における社会と文化) | 3・4 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Major Themes in World Literature (世界の文学の主要テーマ) | 3・4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| Comparative Literature Studies (比較文学研究) | 3・4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | | |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|--|------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| F o u n d a t i o n C o u r s e s (基幹教育) | Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) (※開講:履修希望者なし) | 1 前 | | 12 | | 3 | 2 | 4 | | | | |
| | Career Design 1 (キャリア・デザイン1) | 2 前 | 1 | | | 2 | | | | | | |
| | Career Design 2 (キャリア・デザイン2) | 3・4 前 | 1 | | | 2 | | | | | | |
| | Internship (インターンシップ) (集中) | 3・4 前・後 | | | 1 | 1 | | | | | | |
| H u m a n i t i e s (人文教養) | Introduction to Language Concepts (言語概念入門) | 1 後 | | 3 | | 2 | | | | | | |
| | Sociolinguistics (社会言語学) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | World Englishes (世界の英語) | 3・4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Literature Appreciation (文学鑑賞) | 1 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |
| | Lyric Poetry (叙情詩) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Major Themes in World Literature (世界の文学の主要テーマ) | 3・4 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |
| | Comparative Literature Studies (比較文学研究) | 3・4 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|---|------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| F o u n d a t i o n C o u r s e s (基幹教育) | Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) | 1 前 | | 12 | | 3 | 3 | 2 | | | | |
| | Career Design 1 (キャリア・デザイン1) | 2 前 | 1 | | | | 3 | | | | | |
| | Career Design 2 (キャリア・デザイン2) | 3・4 前 | 1 | | | | 3 | | | | | |
| | Internship (インターンシップ) (集中) | 3・4 前・後 | | | 1 | 1 | | | | | | |
| H u m a n i t i e s (人文教養) | Introduction to Language Concepts (言語概念入門) | 1 前・後 | | 3 | | 2 | | | | | | |
| | Sociolinguistics (社会言語学) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | World Englishes (世界の英語) | 3・4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Literature Appreciation (文学鑑賞) | 1 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |
| | Lyric Poetry (叙情詩) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Modern Japanese Society and Culture Through Literature (近現代日本における社会と文化) | 3・4 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Major Themes in World Literature (世界の文学の主要テーマ) | 3・4 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |
| Comparative Literature Studies (比較文学研究) | 3・4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | | |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|---|------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Foundation Courses (基幹教育) | Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) | 1 前 | | 12 | | 3 | 2 | 3 | | | | |
| | Career Design 1 (キャリア・デザイン1) | 2 前 | 1 | | | 2 | | | | | | |
| | Career Design 2 (キャリア・デザイン2) | 3・4 前 | 1 | | | 2 | | | | | | |
| | Internship (インターンシップ) (集中) | 3・4 前・後 | | | 1 | 1 | | | | | | |
| Humanities (人文教養) | Introduction to Language Concepts (言語概念入門) | 1 前・後 | | 3 | | 2 | | | | | | |
| | Sociolinguistics (社会言語学) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | World Englishes (世界の英語) | 3・4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Literature Appreciation (文学鑑賞) | 1 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |
| | Lyric Poetry (叙情詩) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Modern Japanese Society and Culture Through Literature (近現代日本における社会と文化) | 3・4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Major Themes in World Literature (世界の文学の主要テーマ) | 3・4 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |
| Comparative Literature Studies (比較文学研究) | 3・4 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | | |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|--------------------|---|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Language Arts (英語) | Creative Writing Across Genres (領域横断型クリエイティブ・ライティング) | 3・4後 | | 3 | | 1 | 1 | | | | | |
| | Advanced Expository Writing (英作文上級) | 2後 | | 3 | | 3 | 2 | 1 | | | | |
| | English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション) | 3・4後 | | 3 | | 1 | 2 | | | | | |
| | Seminar (Language Arts) (英語演習) | 4前・後 | | 1 | | 2 | | | | | | |
| Humanities (人文教養) | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Elementary Japanese 2 (日本語初級2) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Elementary Japanese 3 (日本語初級3) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Advanced Japanese (日本語上級) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | 2 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|-----------------------------|---|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Language Arts (英語) | Creative Writing Across Genres (領域横断型クリエイティブ・ライティング) | 3・4後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Advanced Expository Writing (英作文上級) | 2後 | | 3 | | | 2 | 2 | | | | |
| | English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション) | 3・4後 | | 3 | | 1 | 1 | | | | | |
| | Seminar (Language Arts) (英語演習) | 4前・後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| Humanities (人文教養) | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) | 1前・後 | | 3 | | | 2 | 2 | | | | 1 |
| | Elementary Japanese 2 (日本語初級2) | 1前・後 | | 3 | | | 2 | 2 | | | | 1 |
| | Elementary Japanese 3 (日本語初級3) | 1前・後 | | 3 | | | 2 | 2 | | | | 1 |
| | Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) | 1前・後 | | 3 | | | 2 | 2 | | | | |
| | Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) | 1前・後 | | 3 | | | 2 | 2 | | | | |
| | Advanced Japanese (日本語上級) | 1前・後 | | 3 | | | 2 | 2 | | | | |
| | Shortcuts to Kanji (漢字演習) | 1前・後 | | 1 | | | 2 | 2 | | | | |
| Kanji in Contexts (文脈の中の漢字) | 1前・後 | | 1 | | | 2 | 2 | | | | | |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|--------------------|---|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Language Arts (英語) | Creative Writing Across Genres (領域横断型クリエイティブ・ライティング) | 3・4後 | 3 | | | 1 | | 1 | | | | |
| | Advanced Expository Writing (英作文上級) | 2後 | 3 | | | 3 | 1 | 1 | | | | |
| | English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション) | 3・4後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Seminar (Language Arts) (英語演習) | 4前・後 | 1 | | | 2 | | | | | | |
| Humanities (人文教養) | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) (未開講:履修希望者なし) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Elementary Japanese 2 (日本語初級2) (未開講:履修希望者なし) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Elementary Japanese 3 (日本語初級3) (未開講:履修希望者なし) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) (未開講:履修希望者なし) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) (未開講:履修希望者なし) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Advanced Japanese (日本語上級) (未開講:履修希望者なし) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|-----------------------------|---|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Language Arts (英語) | Creative Writing Across Genres (領域横断型クリエイティブ・ライティング) | 3・4後 | 3 | | | 1 | | | | | | |
| | Advanced Expository Writing (英作文上級) | 2後 | 3 | | | 3 | 2 | 1 | | | | |
| | English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション) | 3・4後 | 3 | | | 1 | 1 | | | | | |
| | Seminar (Language Arts) (英語演習) | 4前・後 | 1 | | | 1 | | | | | | |
| Humanities (人文教養) | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | 1 |
| | Elementary Japanese 2 (日本語初級2) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | 1 |
| | Elementary Japanese 3 (日本語初級3) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | 1 |
| | Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Advanced Japanese (日本語上級) | 1前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Shortcuts to Kanji (漢字演習) | 1前・後 | 1 | | | | 1 | 2 | | | | |
| Kanji in Contexts (文脈の中の漢字) | 1前・後 | 1 | | | | 1 | 2 | | | | | |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|--|---|----------------------------------|----------|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| L a n g u a g e A r t s (英語) | Creative Writing Across Genres (領域横断型クリエイティブ・ライティング) | 3・4 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |
| | Advanced Expository Writing (英作文上級) | 2 後 | | 3 | | 3 | | 2 | 1 | | | |
| | English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション) | 3・4 後 | | 3 | | 1 | | 1 | | | | |
| | Seminar (Language Arts) (英語演習) | 4 前・後 | | 1 | | 2 | | | | | | |
| H u m a n i t i e s (人文教養) | J a p a n e s e L a n g u a g e (日本語研究) | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) | 1 前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | 1 |
| | | Elementary Japanese 2 (日本語初級2) | 1 前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | 1 |
| | | Elementary Japanese 3 (日本語初級3) | 1 前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | 1 |
| | | Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) | 1 前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) | 1 前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Advanced Japanese (日本語上級) | 1 前・後 | 3 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Shortcuts to Kanji (漢字演習) | 1 前・後 | 1 | | | 1 | 2 | | | | | |
| | Kanji in Contexts (文脈の中の漢字) | 1 前・後 | 1 | | | 1 | 2 | | | | | |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|--------------------|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Humanities (日本語研究) | Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文) | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解) | 1 後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Public Speech in Japanese (日本語スピーチ) | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ: 日本語教育体験/観察) | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| Humanities (人文教養) | Art Appreciation (美術鑑賞) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Western Art (西洋美術史) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Japanese Art (日本美術) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Comparative Art Studies (比較美術研究) | 3-4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Seminar (Arts) (芸術演習) | 4 前・後 | | 3 | | | 1 | | | | | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|--------------------|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Humanities (日本語研究) | Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文) | 1 前・後 | | 1 | | | | 2 | 2 | | | |
| | Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解) | 1 後 | | 1 | | | | 2 | 2 | | | |
| | Public Speech in Japanese (日本語スピーチ) | 1 前・後 | | 1 | | | | 2 | 2 | | | |
| | Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test (日本語能力試験N2) | 1 前・後 | | 1 | | | | 2 | 2 | | | |
| Humanities (日本語研究) | Preparation for the N1 level of the Japanese Language Proficiency Test (日本語能力試験N1) | 1 前・後 | | 1 | | | | 2 | 2 | | | |
| | Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ: 日本語教育体験/観察) | 1 前・後 | | 1 | | | | 2 | 2 | | | |
| | Art Appreciation (美術鑑賞) | 1 前 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | History of Western Art (西洋美術史) | 2 前 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| Arts (芸術) | Japanese Art (日本美術) | 1 後 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) | 2 後 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | Comparative Art Studies (比較美術研究) | 3-4 前 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | Seminar (Arts) (芸術演習) | 4 前・後 | | 3 | | | | 1 | | | | |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|--------------------|---|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Humanities (日本語研究) | Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文) <small>(未開講:履修希望者なし)</small> | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解) | 1 後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Public Speech in Japanese (日本語スピーチ) <small>(未開講:履修希望者なし)</small> | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ:日本語教育体験/観察) | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| Humanities (人文教養) | Art Appreciation (美術鑑賞) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Western Art (西洋美術史) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Japanese Art (日本美術) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Comparative Art Studies (比較美術研究) | 3-4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Seminar (Arts) (芸術演習) | 4 前・後 | | 3 | | | 1 | | | | | |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|--------------------|---|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Humanities (日本語研究) | Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文) | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解) | 1 後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Public Speech in Japanese (日本語スピーチ) | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ:日本語教育体験/観察) | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| Humanities (人文教養) | Art Appreciation (美術鑑賞) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Western Art (西洋美術史) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Japanese Art (日本美術) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Comparative Art Studies (比較美術研究) | 3-4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Seminar (Arts) (芸術演習) | 4 前・後 | | 3 | | | 1 | | | | | |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|-------------------|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Humanities (人文教養) | Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文) | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解) | 1 後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Public Speech in Japanese (日本語スピーチ) | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| | Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ: 日本語教育体験/観察) | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | 2 | | | | |
| Arts (芸術) | Art Appreciation (美術鑑賞) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Western Art (西洋美術史) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Japanese Art (日本美術) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Comparative Art Studies (比較美術研究) | 3-4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Seminar (Arts) (芸術演習) | 4 前・後 | | 3 | | | 1 | | | | | |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---------------------------------------|--|-------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Arts (芸術) | Workshop: Drawing I (ワークショップ: 絵画実習 I) | 1 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Drawing II (ワークショップ: 絵画実習 II) | 2 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Sculpting I (ワークショップ: 彫刻実習 I) | 1 後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Sculpting II (ワークショップ: 彫刻実習 II) | 2 後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) (オムニバス方式) | 1 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | 2 |
| Workshop: Calligraphy (ワークショップ: 書道実習) | 1 後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| Humanities (人文教養) | Western Film & Theater (西洋映画・演劇) | 1 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Japanese Film & Theater (日本映画・演劇) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Manga & Anime Studies (マンガ・アニメーション学) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Film History (映画史) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Japanese Traditional Theater (日本の伝統演劇) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Comparative Theater Aesthetics (比較演劇美学) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---------------------------------------|--|-------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Arts (芸術) | Workshop: Drawing I (ワークショップ: 絵画実習 I) | 1 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Drawing II (ワークショップ: 絵画実習 II) | 2 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Sculpting I (ワークショップ: 彫刻実習 I) | 1 後 | | 1 | | | 1 | | | | |
| | Workshop: Sculpting II (ワークショップ: 彫刻実習 II) | 2 後 | | 1 | | | 1 | | | | |
| | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) (オムニバス方式) | 1 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | 2 |
| Workshop: Calligraphy (ワークショップ: 書道実習) | 1 後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| Humanities (人文教養) | Western Film & Theater (西洋映画・演劇) | 1 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Japanese Film & Theater (日本映画・演劇) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Manga & Anime Studies (マンガ・アニメーション学) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Film History (映画史) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Japanese Traditional Theater (日本の伝統演劇) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Comparative Theater Aesthetics (比較演劇美学) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 |
|--|---|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Arts (芸術) | Workshop: Drawing I (ワークショップ: 絵画実習 I) (未開講: 履修希望者なし) | 1 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Drawing II (ワークショップ: 絵画実習 II) | 2 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Sculpting I (ワークショップ: 彫刻実習 I) | 1 後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Sculpting II (ワークショップ: 彫刻実習 II) | 2 後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) (オムニバス方式) (未開講: 履修希望者なし) | 1 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | 2 |
| Workshop: Calligraphy (ワークショップ: 書道実習) | 1 後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| Humanities (人文教養) | Western Film & Theater (西洋映画・演劇) (未開講: 履修希望者なし) | 1 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Japanese Film & Theater (日本映画・演劇) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Manga & Anime Studies (マンガ・アニメーション学) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Film History (映画史) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Japanese Traditional Theater (日本の伝統演劇) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| Comparative Theater Aesthetics (比較演劇美学) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 |
|--|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Arts (芸術) | Workshop: Drawing I (ワークショップ: 絵画実習 I) | 1 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Drawing II (ワークショップ: 絵画実習 II) | 2 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Sculpting I (ワークショップ: 彫刻実習 I) | 1 後 | | 1 | | | 1 | | | | |
| | Workshop: Sculpting II (ワークショップ: 彫刻実習 II) | 2 後 | | 1 | | | 1 | | | | |
| | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) (オムニバス方式) | 1 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | 2 |
| Workshop: Calligraphy (ワークショップ: 書道実習) | 1 後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| Humanities (人文教養) | Western Film & Theater (西洋映画・演劇) | 1 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Japanese Film & Theater (日本映画・演劇) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Manga & Anime Studies (マンガ・アニメーション学) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Film History (映画史) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Japanese Traditional Theater (日本の伝統演劇) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| Comparative Theater Aesthetics (比較演劇美学) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|--|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Humanities (人文教養) | Workshop: Drawing I (ワークショップ: 絵画実習 I) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Drawing II (ワークショップ: 絵画実習 II) | 2 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Sculpting I (ワークショップ: 彫刻実習 I) | 1 後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Sculpting II (ワークショップ: 彫刻実習 II) | 2 後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ:日本の 伝統的文化実習) (オムニバス方式) | 1 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | 2 |
| | Workshop: Calligraphy (ワークショップ: 書道実習) | 1 後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | Western Film & Theater (西洋映画・演 劇) | 1 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Japanese Film & Theater (日本映画・演 劇) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Manga & Anime Studies (マンガ・アニメ ーション学) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Film History (映画史) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| Japanese Traditional Theater (日本の伝統演 劇) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | | |
| Comparative Theater Aesthetics (比較演劇美学) (未開講:履修希望者 なし) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | | |
| Performing Arts (芸能) | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|----------------------|---|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Performing Arts (芸能) | Seminar (Performing Arts) (芸能演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | Workshop: Acting I (ワークショップ: 演技実習 I) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Acting II (ワークショップ: 演技実習 II) | 2 後 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Directing (ワークショップ: 演劇監督実習) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Noh Theater (ワークショップ: 能実習) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| Humanities (人文教養) | How We Listen to Music: Foundations of Music Perception, Cognition, and Acoustics (音楽鑑賞: 知覚認知と音響学の基礎) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Western Music (西洋音楽史) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) | 2 後 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Introduction to Music Technology (音楽技術入門) | 2 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Modern Music (近代音楽の歴史) | 3・4 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Music Fundamentals: Harmony, Musicianship, and Arranging (音楽基礎: 和声、音楽的能力、編曲) | 3・4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Music and Other Media: Interdisciplinary Perspectives (音楽と他のメディア: 学際的視点) | 3・4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|----------------------|---|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Performing Arts (芸能) | Seminar (Performing Arts) (芸能演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | Workshop: Acting I (ワークショップ: 演技実習 I) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Acting II (ワークショップ: 演技実習 II) | 2 後 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Directing (ワークショップ: 演劇監督実習) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Noh Theater (ワークショップ: 能実習) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| Humanities (人文教養) | How We Listen to Music: Foundations of Music Perception, Cognition, and Acoustics (音楽鑑賞: 知覚認知と音響学の基礎) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Western Music (西洋音楽史) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) | 2 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Introduction to Music Technology (音楽技術入門) | 2 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Modern Music (近代音楽の歴史) | 3・4 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Music Fundamentals: Harmony, Musicianship, and Arranging (音楽基礎: 和声、音楽的能力、編曲) | 3・4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Music and Other Media: Interdisciplinary Perspectives (音楽と他のメディア: 学際的視点) | 3・4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|----------------------|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Performing Arts (芸能) | Seminar (Performing Arts) (芸能演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | Workshop: Acting I (ワークショップ:演技実習Ⅰ) <small>(未開講:履修希望者なし)</small> | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Acting II (ワークショップ:演技実習Ⅱ) | 2 後 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Directing (ワークショップ:演劇監督実習) <small>(未開講:履修希望者なし)</small> | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| Humanities (人文教養) | How We Listen to Music: Foundations of Music Perception, Cognition, and Acoustics (音楽鑑賞:知覚認知と音響学の基礎) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Western Music (西洋音楽史) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) | 2 後 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Introduction to Music Technology (音楽技術入門) | 2 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| Music (音楽) | History of Modern Music (近代音楽の歴史) | 3・4 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Music Fundamentals: Harmony, Musicianship, and Arranging (音楽基礎:和声、音楽的能力、編曲) | 3・4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Music and Other Media: Interdisciplinary Perspectives (音楽と他のメディア:学際的視点) | 3・4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|----------------------|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Performing Arts (芸能) | Seminar (Performing Arts) (芸能演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | Workshop: Acting I (ワークショップ:演技実習Ⅰ) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Acting II (ワークショップ:演技実習Ⅱ) | 2 後 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Directing (ワークショップ:演劇監督実習) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| Humanities (人文教養) | How We Listen to Music: Foundations of Music Perception, Cognition, and Acoustics (音楽鑑賞:知覚認知と音響学の基礎) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Western Music (西洋音楽史) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) | 2 後 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Introduction to Music Technology (音楽技術入門) | 2 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| Music (音楽) | History of Modern Music (近代音楽の歴史) | 3・4 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Music Fundamentals: Harmony, Musicianship, and Arranging (音楽基礎:和声、音楽的能力、編曲) | 3・4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Music and Other Media: Interdisciplinary Perspectives (音楽と他のメディア:学際的視点) | 3・4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | | | |
|--|--|---|---|----------|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|---|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | | |
| P e r f o r m i n g A r t s (芸 能) | Seminar (Performing Arts) (芸能演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | | | |
| | Workshop: Acting I (ワークショップ: 演技実習 I) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | Workshop: Acting II (ワークショップ: 演技実習 II) | 2 後 | | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | Workshop: Directing (ワークショップ: 演劇監督実習) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | Workshop: Noh Theater (ワークショップ: 能実習) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | H u m a n i t i e s (人 文 教 養) | How We Listen to Music: Foundations of Music Perception, Cognition, and Acoustics (音楽鑑賞: 知覚認知と音響学の基礎) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | | | |
| | | History of Western Music (西洋音楽史) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | | |
| | | Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) | 2 後 | | 3 | | | | | | | | 1 | |
| | | M u s i c (音 楽) | Introduction to Music Technology (音楽技術入門) | 2 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | | | History of Modern Music (近代音楽の歴史) | 3-4 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| Music Fundamentals: Harmony, Musicianship, and Arranging (音楽基礎: 和声、音楽的能力、編曲) | | | 3-4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | | |
| Music and Other Media: Interdisciplinary Perspectives (音楽と他のメディア: 学際的視点) | 3-4 前 | | | 3 | | | 1 | | | | | | | |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|------------------------|---|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| M u s i c (音楽) | Seminar (Music) (音楽演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Music Practice I (Improvisation Ensemble) (ワークショップ:音楽実習I(即興アンサンブル)) | 1 後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Music Practice II (Keyboards) (ワークショップ:音楽実習II(キーボード)) | 2 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ:音楽実習III(合唱アンサンブル)) | 2 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music Practice IV (Japanese Koto) (ワークショップ:音楽実習IV(琴)) | 1 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ:音楽実習V(尺八)) | 1 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music and Creativity I (ワークショップ:音楽と創造性実習I) | 1 前 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music and Creativity II (ワークショップ:音楽と創造性実習II) | 1 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music Composition for Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ:洋楽器と和楽器のための作曲実習) | 1 前 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Interpretative Dance (ワークショップ:創作ダンス実習) | 1 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| H i s t o r y (歴史学) | World History (世界史) | 1 後 | 3 | | | | | | | 1 | |
| | Japanese History (日本史) | 2 前 | | 3 | | | | | | 1 | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|------------------------|---|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| M u s i c (音楽) | Seminar (Music) (音楽演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Music Practice I (Improvisation Ensemble) (ワークショップ:音楽実習I(即興アンサンブル)) | 1 後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Music Practice II (Keyboards) (ワークショップ:音楽実習II(キーボード)) | 2 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ:音楽実習III(合唱アンサンブル)) | 2 前 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music Practice IV (Japanese Koto) (ワークショップ:音楽実習IV(琴)) | 1 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ:音楽実習V(尺八)) | 1 前 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music and Creativity I (ワークショップ:音楽と創造性実習I) | 1 前 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music and Creativity II (ワークショップ:音楽と創造性実習II) | 1 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music Composition for Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ:洋楽器と和楽器のための作曲実習) | 1 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Interpretative Dance (ワークショップ:創作ダンス実習) | 1 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| H i s t o r y (歴史学) | World History (世界史) | 1 前・後 | 3 | | | | | | | 1 | |
| | Japanese History (日本史) | 2 前 | | 3 | | | | | | 1 | |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 |
|------------------------|---|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| M u s i c (音楽) | Seminar (Music) (音楽演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Music Practice I (Improvisation Ensemble) (ワークショップ:音楽実習I(即興アンサンブル)) | 1 後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Music Practice II (Keyboards) (ワークショップ:音楽実習II(キーボード)) | 2 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ:音楽実習III(合唱アンサンブル)) | 2 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music Practice IV (Japanese Koto) (ワークショップ:音楽実習IV(琴)) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ:音楽実習V(尺八)) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music and Creativity I (ワークショップ:音楽と創造性実習I) <small>(未開講:履修希望者なし)</small> | 1 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music and Creativity II (ワークショップ:音楽と創造性実習II) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music Composition for Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ:洋楽器と和楽器のための作曲実習) <small>(未開講:履修希望者なし)</small> | 1 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Interpretative Dance (ワークショップ:創作ダンス実習) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| H i s t o r y (歴史学) | World History (世界史) | 1 後 | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Japanese History (日本史) | 2 前 | | 3 | | | | | | | 1 |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 |
|------------------------|---|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| M u s i c (音楽) | Seminar (Music) (音楽演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Music Practice I (Improvisation Ensemble) (ワークショップ:音楽実習I(即興アンサンブル)) | 1 後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Music Practice II (Keyboards) (ワークショップ:音楽実習II(キーボード)) | 2 後 | | 1 | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ:音楽実習III(合唱アンサンブル)) | 2 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music Practice IV (Japanese Koto) (ワークショップ:音楽実習IV(琴)) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ:音楽実習V(尺八)) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music and Creativity I (ワークショップ:音楽と創造性実習I) | 1 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music and Creativity II (ワークショップ:音楽と創造性実習II) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music Composition for Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ:洋楽器と和楽器のための作曲実習) | 1 前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Interpretative Dance (ワークショップ:創作ダンス実習) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| H i s t o r y (歴史学) | World History (世界史) | 1 前・後 | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Japanese History (日本史) | 2 前 | | 3 | | | | | | | 1 |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|-------------------|---|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Humanities (人文教養) | Seminar (Music) (音楽演習) | 4 前・後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Music Practice I (Improvisation Ensemble) (ワークショップ: 音楽実習 I (即興アンサンブル)) | 1 後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | Workshop: Music Practice II (Keyboards) (ワークショップ: 音楽実習 II (キーボード)) | 2 後 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ: 音楽実習 III (合唱アンサンブル)) | 2 後 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music Practice IV (Japanese Koto) (ワークショップ: 音楽実習 IV (琴)) | 1 後 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ: 音楽実習 V (尺八)) | 1 後 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music and Creativity I (ワークショップ: 音楽と創造性実習 I) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music and Creativity II (ワークショップ: 音楽と創造性実習 II) | 1 後 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Music Composition for Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ: 洋楽器と和楽器のための作曲実習) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Interpretative Dance (ワークショップ: 創作ダンス実習) | 1 後 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| History (歴史学) | World History (世界史) | 1 前・後 | 3 | | | | | | | | | 1 |
| | Japanese History (日本史) | 2 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|--|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Humanities (人文教養) | History (歴史学) | 2前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) | 2後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | History of Western Philosophy (西洋哲学史) | 2前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) | 2後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) | 3-4前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Comparative Philosophy (比較哲学) | 3-4前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) | 3-4後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Seminar (Philosophy) (哲学演習) | 4前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | World Religions (世界の宗教) | 3-4前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Comparative Religious Studies (比較宗教学) | 3-4前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| Spiritual Dimensions and Traditions in the Japanese Martial Arts (日本武道における精神的側面と伝統) | 1後 | | 3 | | 1 | | | | | | | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|--|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| History (歴史学) | History of Japan's International Relations (日本の国際関係史) | 2前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | History of Technology in Japan (日本技術史) | 2前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| Humanities (人文教養) | Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) | 2後 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | History of Western Philosophy (西洋哲学史) | 2前 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) | 2後 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) | 3-4前 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | Comparative Philosophy (比較哲学) | 3-4前 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) | 3-4後 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | Seminar (Philosophy) (哲学演習) | 4前・後 | | 1 | | | | 1 | | | | |
| | World Religions (世界の宗教) | 3-4前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| Comparative Religious Studies (比較宗教学) | 3-4前 | | 3 | | | | | | | | 1 | |
| Spiritual Dimensions and Traditions in the Japanese Martial Arts (日本武道における精神的側面と伝統) | 1後 | | 3 | | | | 1 | | | | | |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|--|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Humanities (人文教養) | History of Technology in Japan (日本技術史) | 2前 | | 3 | | | | | | | 1 |
| | Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) | 2後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | History of Western Philosophy (西洋哲学史) | 2前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) | 2後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) | 3-4前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Comparative Philosophy (比較哲学) | 3-4前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) | 3-4後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Seminar (Philosophy) (哲学演習) | 4前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | World Religions (世界の宗教) | 3-4前 | | 3 | | | | | | | 1 |
| | Comparative Religious Studies (比較宗教学) | 3-4前 | | 3 | | | | | | | 1 |
| Spiritual Dimensions and Traditions in the Japanese Martial Arts (日本武道における精神的側面と伝統) | 1後 | | 3 | | 1 | | | | | | |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|--|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Humanities (人文教養) | History of Technology in Japan (日本技術史) | 2前 | | 3 | | | | | | | 1 |
| | Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) | 2後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | History of Western Philosophy (西洋哲学史) | 2前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) | 2後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) | 3-4前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Comparative Philosophy (比較哲学) | 3-4前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) | 3-4後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Seminar (Philosophy) (哲学演習) | 4前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | World Religions (世界の宗教) | 3-4前 | | 3 | | | | | | | 1 |
| | Comparative Religious Studies (比較宗教学) | 3-4前 | | 3 | | | | | | | 1 |
| Spiritual Dimensions and Traditions in the Japanese Martial Arts (日本武道における精神的側面と伝統) | 1後 | | 3 | | 1 | | | | | | |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | | |
|---|---|--|----------|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| History (歴史学) | History of Japan's International Relations (日本の国際関係史) | 2 前 | | 3 | | | | | | | | 1 | |
| | History of Technology in Japan (日本技術史) | 2 前 | | 3 | | | | | | | | 1 | |
| | Humanities (人文教養) | Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) | 2 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | | History of Western Philosophy (西洋哲学史) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | | History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) | 2 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | | Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) | 3-4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | | Comparative Philosophy (比較哲学) | 3-4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | | Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) | 3-4 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | | Seminar (Philosophy) (哲学演習) | 4 前・後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | | World Religions (世界の宗教) | 3-4 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| Comparative Religious Studies (比較宗教学) | 3-4 前 | | 3 | | | | | | | | 1 | | |
| Spiritual Dimensions and Traditions in the Japanese Martial Arts (日本武道における精神的側面と伝統) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | | | | |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|-------------------------------------|---|-------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Humanities (人文教養) | Workshop: Practicing Zen (ワークショップ: 禅実習) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Experiencing Shinto (ワークショップ: 神道体験) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| Social Sciences (社会科学) | Microeconomics (ミクロ経済学) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Intermediate Microeconomics (中級ミクロ経済学) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Macroeconomics (マクロ経済学) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Japanese Economy & Business (日本経済とビジネス) | 1 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Entrepreneurship (起業・ベンチャー論) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Corporate Finance (コーポレートファイナンス) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Economic Growth: Theories and Evidence (経済成長: 理論と実証) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| History of Economic Thought (経済思想史) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| Money & Banking (金融論) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|--|---|-------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Humanities (人文教養) | Workshop: Practicing Zen (ワークショップ: 禅実習) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Experiencing Shinto (ワークショップ: 神道体験) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| Social Sciences (社会科学) | Microeconomics (ミクロ経済学) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Intermediate Microeconomics (中級ミクロ経済学) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Macroeconomics (マクロ経済学) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Japanese Economy & Business (日本経済とビジネス) | 1 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Entrepreneurship (起業・ベンチャー論) <small>(未開講: 履修希望者なし)</small> | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Corporate Finance (コーポレートファイナンス) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Economic Growth: Theories and Evidence (経済成長: 理論と実証) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| History of Economic Thought (経済思想史) <small>(未開講: 履修希望者なし)</small> | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| Money & Banking (金融論) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|-------------------------------------|---|-------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Humanities (人文教養) | Workshop: Practicing Zen (ワークショップ: 禅実習) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Experiencing Shinto (ワークショップ: 神道体験) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| Social Sciences (社会科学) | Microeconomics (ミクロ経済学) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | |
| | Intermediate Microeconomics (中級ミクロ経済学) | 2 後 | | 3 | | | 1 | | | | |
| | Macroeconomics (マクロ経済学) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | |
| | Japanese Economy & Business (日本経済とビジネス) (水開講: 履修希望者なし) | 1 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済) | 3-4 前 | | 3 | | | 1 | | | | |
| | Entrepreneurship (起業・ベンチャー論) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Corporate Finance (コーポレートファイナンス) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Economic Growth: Theories and Evidence (経済成長: 理論と実証) | 3-4 後 | | 3 | | | 1 | | | | |
| History of Economic Thought (経済思想史) | 3-4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| Money & Banking (金融論) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|-------------------------------------|---|-------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Humanities (人文教養) | Workshop: Practicing Zen (ワークショップ: 禅実習) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Experiencing Shinto (ワークショップ: 神道体験) | 1 後 | | 1 | | | | | | | 1 |
| Social Sciences (社会科学) | Microeconomics (ミクロ経済学) | 1 後 | | 3 | | | 1 | | | | |
| | Intermediate Microeconomics (中級ミクロ経済学) | 2 後 | | 3 | | | 1 | | | | |
| | Macroeconomics (マクロ経済学) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | |
| | Japanese Economy & Business (日本経済とビジネス) | 1 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済) | 3-4 前 | | 3 | | | 1 | | | | |
| | Entrepreneurship (起業・ベンチャー論) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Corporate Finance (コーポレートファイナンス) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Economic Growth: Theories and Evidence (経済成長: 理論と実証) | 3-4 後 | | 3 | | | 1 | | | | |
| History of Economic Thought (経済思想史) | 3-4 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| Money & Banking (金融論) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | | |
|------------------------|---|---|----------|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| Humanities (人文教養) | Workshop: Practicing Zen (ワークショップ: 禅実習) | 1 後 | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| | Workshop: Experiencing Shinto (ワークショップ: 神道体験) | 1 後 | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| Social Sciences (社会科学) | Economics (経済学) | Microeconomics (ミクロ経済学) | 1 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | | Intermediate Microeconomics (中級ミクロ経済学) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | | Macroeconomics (マクロ経済学) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | | Japanese Economy & Business (日本経済とビジネス) | 1 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | | International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | | Entrepreneurship (起業・ベンチャー論) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | | Corporate Finance (コーポレートファイナンス) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | | Economic Growth: Theories and Evidence (経済成長: 理論と実証) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | | History of Economic Thought (経済思想史) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| Money & Banking (金融論) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | | | |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|------------------------|--|-------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Economics (経済学) | Japanese Economy & Business (in Japanese) (日本語による日本経済とビジネス) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Competitive Strategy (競争戦略) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Seminar (Economics) (経済学演習) | 4 前・後 | | 1 | | 2 | | | | | | |
| Social Sciences (社会科学) | Introduction to Political Science (政治学入門) | 2 前・後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Social Policy (社会政策) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | US Politics (アメリカ政治) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Nationalism & Ethnic Conflict in Asia (ナショナリズムとアジアの民族紛争) | 3-4 前 | | 3 | | | | | | | 1 | |
| | Japanese Politics and International Relations (日本の政治と国際関係) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Global Politics (グローバル政治) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | 1 |
| | Comparative Political Systems (比較政治体制) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Seminar (Political Science) (政治学演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | Workshop: Political Simulation Game (ワークショップ: 政治シミュレーションゲーム) | 3-4 後 | 1 | | | 2 | | | | | | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|------------------------|--|-------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Economics (経済学) | Japanese Economy & Business (in Japanese) (日本語による日本経済とビジネス) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Competitive Strategy (競争戦略) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Seminar (Economics) (経済学演習) | 4 前・後 | | 1 | | 2 | | | | | | |
| Social Sciences (社会科学) | Introduction to Political Science (政治学入門) | 2 前・後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Social Policy (社会政策) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | US Politics (アメリカ政治) | 3-4 前 | | 3 | | | | | 1 | | | |
| | Nationalism & Ethnic Conflict in Asia (ナショナリズムとアジアの民族紛争) | 3-4 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Japanese Politics and International Relations (日本の政治と国際関係) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Global Politics (グローバル政治) | 3-4 後 | | 3 | | | | | | 1 | | |
| | Comparative Political Systems (比較政治体制) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Seminar (Political Science) (政治学演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | Workshop: Political Simulation Game (ワークショップ: 政治シミュレーションゲーム) | 3-4 後 | 1 | | | 2 | | | | | | |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|--|---|-------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Economics (経済学) | Japanese Economy & Business (in Japanese) (日本語による日本経済とビジネス) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Competitive Strategy (競争戦略) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Seminar (Economics) (経済学演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | | |
| Social Sciences (社会科学) | Introduction to Political Science (政治学入門) | 2 前・後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Social Policy (社会政策) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | US Politics (アメリカ政治) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Nationalism & Ethnic Conflict in Asia (ナショナリズムとアジアの民族紛争) | 3-4 前 | | 3 | | | | | | | 1 | |
| | Japanese Politics and International Relations (日本の政治と国際関係) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | 1 |
| | Global Politics (グローバル政治) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | 1 |
| | Comparative Political Systems (比較政治体制) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | 1 |
| | Seminar (Political Science) (政治学演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | 1 |
| Workshop: Political Simulation Game (ワークショップ: 政治シミュレーションゲーム) | 3-4 後 | 1 | | | 2 | | | | | | 1 | |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|--|---|-------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Economics (経済学) | Japanese Economy & Business (in Japanese) (日本語による日本経済とビジネス) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Competitive Strategy (競争戦略) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Seminar (Economics) (経済学演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | 1 | | | | | |
| Social Sciences (社会科学) | Introduction to Political Science (政治学入門) | 2 前・後 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Social Policy (社会政策) | 2 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | US Politics (アメリカ政治) | 3-4 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Nationalism & Ethnic Conflict in Asia (ナショナリズムとアジアの民族紛争) | 3-4 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Japanese Politics and International Relations (日本の政治と国際関係) | 2 後 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Global Politics (グローバル政治) | 3-4 後 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Comparative Political Systems (比較政治体制) | 3-4 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Seminar (Political Science) (政治学演習) | 4 前・後 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| Workshop: Political Simulation Game (ワークショップ: 政治シミュレーションゲーム) | 3-4 後 | 1 | | | | | 1 | | | | 1 | |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|--|---|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| E c o n o m i c s (経 済 学) | Japanese Economy & Business (in Japanese) (日本語による日本経済とビジネス) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Competitive Strategy (競争戦略) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Seminar (Economics) (経済学演習) | 4 前・後 | | 1 | | 2 | | | | | | |
| S o c i a l S c i e n c e s (社 会 科 学) | Introduction to Political Science (政治学入門) | 2 前・後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Social Policy (社会政策) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | US Politics (アメリカ政治) | 3-4 前 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | Nationalism & Ethnic Conflict in Asia (ナショナリズムとアジアの民族紛争) | 3-4 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Japanese Politics and International Relations (日本の政治と国際関係) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Global Politics (グローバル政治) | 3-4 後 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | Comparative Political Systems (比較政治体制) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Seminar (Political Science) (政治学演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | |
| | Workshop: Political Simulation Game (ワークショップ: 政治シミュレーションゲーム) | 3-4 後 | 1 | | | 2 | | | | | | |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|----------------------------|--|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Social Sciences (社会科学) | Workshop: Fuji Culture (ワークショップ: 富士山と文化) (集中) | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Social Theory (社会理論) | 2前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Methods of Social Research (社会調査方法論) | 2前 | | 3 | | | | | | | 1 |
| | Sociology of Globalization (グローバル化の社会学) | 3-4前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Sociological Analysis of Nihonjinron (日本人論の社会学的分析) | 2後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Cross-Culture Studies (比較文化研究) | 3-4後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Seminar (Sociology) (社会学演習) | 4前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| Quadratic Equations (数的推理) | Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | | | | |
| | College Algebra (大学代数学) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | | | | |
| | Introduction to Programming (プログラミング入門) | 1前 | | | | | | | | | 1 |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|----------------------------|--|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Social Sciences (社会科学) | Introduction to Psychology (心理学入門) | 1前 | | 3 | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Fuji Culture (ワークショップ: 富士山と文化) (集中) | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Social Theory (社会理論) | 2前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Methods of Social Research (社会調査方法論) | 2前 | | 3 | | | | | | | 1 |
| | Psychology of Human Personality (人格心理学) | 2後 | | 3 | | | | | | | 1 |
| | Sociology of Globalization (グローバル化の社会学) | 3-4前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Sociological Analysis of Nihonjinron (日本人論の社会学的分析) | 2後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| Quadratic Equations (数的推理) | Cross-Culture Studies (比較文化研究) | 3-4後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Seminar (Sociology) (社会学演習) | 4前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | | | | |
| Quadratic Equations (数的推理) | College Algebra (大学代数学) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | | | | |
| | Introduction to Programming (プログラミング入門) | 1前 | | | | | | | | | 1 |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 |
|------------------------------|--|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Social Sciences (社会科学) | Workshop: Fuji Culture (ワークショップ: 富士山と文化) (集中) (未開講: 履修希望者なし) | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Social Theory (社会理論) | 2前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Methods of Social Research (社会調査方法論) | 2前 | | 3 | | | | | | | 1 |
| | Sociology of Globalization (グローバル化の社会学) | 3-4前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Sociological Analysis of Nihonjinron (日本人論の社会学的分析) | 2後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Cross-Culture Studies (比較文化研究) | 3-4後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Seminar (Sociology) (社会学演習) | 4前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| Quantitative Research (量的推測) | Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学) | 1前・後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | College Algebra (大学代数学) | 1前・後 | | 3 | | 1 | | | | | |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 |
|------------------------------|--|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| Social Sciences (社会科学) | Workshop: Fuji Culture (ワークショップ: 富士山と文化) (集中) | 1前 | | 1 | | | | | | | 1 |
| | Social Theory (社会理論) | 2前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Methods of Social Research (社会調査方法論) | 2前 | | 3 | | | | | | | 1 |
| | Sociology of Globalization (グローバル化の社会学) | 3-4前 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Sociological Analysis of Nihonjinron (日本人論の社会学的分析) | 2後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Cross-Culture Studies (比較文化研究) | 3-4後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | Seminar (Sociology) (社会学演習) | 4前・後 | | 1 | | 1 | | | | | |
| Quantitative Research (量的推測) | Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学) | 1前・後 | | 3 | | 1 | | | | | |
| | College Algebra (大学代数学) | 1前・後 | | 3 | | 1 | | | | | |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|--------------------------------|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Social Sciences (社会科学) | Introduction to Psychology (心理学入門) | 1 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Workshop: Fuji Culture (ワークショップ: 富士山と文化) (集中) | 1 前 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | Social Theory (社会理論) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Methods of Social Research (社会調査方法論) | 2 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Psychology of Human Personality (人格心理学) | 2 後 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Sociology of Globalization (グローバル化の社会学) | 3-4 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Sociological Analysis of Nihonjinron (日本人論の社会学的分析) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| Cross-Culture Studies (比較文化研究) | 3-4 後 | | 3 | | 1 | | | | | | | |
| Seminar (Sociology) (社会学演習) | 4 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | | |
| Liberal Arts (リベラルアーツ) | Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学) | 1 前・後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | College Algebra (大学代数学) | 1 前・後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Introduction to Programming (プログラミング入門) | 1 前 | | | | | | | | | | 1 |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|---|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Quantitative Reasoning & Natural Sciences (数的推理・自然科学) | Calculus (微積分学) | 2前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Statistics (統計学) | 2後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Integrated Science (科学総合) | 1前・後 | | 3 | | | 2 | | | | | |
| | Integrated Science Laboratory (科学総合実験) | 1前・後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | Modern Physics (現代物理学) | 2後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Biotechnology (バイオテクノロジーの歴史) | 2前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Genetics (遺伝学) | 3・4後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Genetics Laboratory (遺伝学実験) | 3・4後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| Cell Biology Laboratory (細胞生物学実験) | 3・4前 | | 1 | | | 1 | | | | | | |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|--|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Quantitative Reasoning & Natural Sciences (数的推理・自然科学) | Calculus (微積分学) | 2前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Statistics (統計学) | 2後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Introduction to Game Development (ゲーム開発入門) | 1前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Integrated Science (科学総合) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | 1 | | | | |
| | Integrated Science Laboratory (科学総合実験) | 1前・後 | | 1 | | | | 1 | | | | |
| | Modern Physics (現代物理学) | 2後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Biotechnology (バイオテクノロジーの歴史) | 2前 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | Genetics (遺伝学) | 3・4後 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| Genetics Laboratory (遺伝学実験) | 3・4後 | | 3 | | | | 1 | | | | | |
| Cell Biology Laboratory (細胞生物学実験) | 3・4前 | | 1 | | | | 1 | | | | | |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|---|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Quantitative Reasoning & Natural Sciences (数的推理・自然科学) | Calculus (微積分学) | 2前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Statistics (統計学) | 2後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Integrated Science (科学総合) (未開講:履修希望者なし) | 1前・後 | | 3 | | | 2 | | | | | |
| | Integrated Science Laboratory (科学総合実験) (未開講:履修希望者なし) | 1前・後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | Modern Physics (現代物理学) | 2後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Biotechnology (バイオテクノロジーの歴史) | 2前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Genetics (遺伝学) | 3-4後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| Genetics Laboratory (遺伝学実験) | 3-4後 | | 1 | | | 1 | | | | | | |
| Cell Biology Laboratory (細胞生物学実験) | 3-4前 | | 1 | | | 1 | | | | | | |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---|---|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Quantitative Reasoning & Natural Sciences (数的推理・自然科学) | Calculus (微積分学) | 2前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Statistics (統計学) | 2後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Integrated Science (科学総合) | 1前・後 | | 3 | | | 1 | 1 | | | | |
| | Integrated Science Laboratory (科学総合実験) | 1前・後 | | 1 | | | | 1 | | | | |
| | Modern Physics (現代物理学) | 2後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | History of Biotechnology (バイオテクノロジーの歴史) | 2前 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| | Genetics (遺伝学) | 3-4後 | | 3 | | | | 1 | | | | |
| Genetics Laboratory (遺伝学実験) | 3-4後 | | 3 | | | | 1 | | | | | |
| Cell Biology Laboratory (細胞生物学実験) | 3-4前 | | 1 | | | | 1 | | | | | |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼任 | |
|---|--|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Quantitative Reasoning & Natural Sciences (数的推理・自然科学) | Calculus (微積分学) | 2 前 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Statistics (統計学) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | Introduction to Game Development (ゲーム開発入門) | 1 前 | | 3 | | | | | | | | 1 |
| | Integrated Science (科学総合) | 1 前・後 | | 3 | | 1 | 1 | | | | | |
| | Integrated Science Laboratory (科学総合実験) (未開講:履修希望者なし) | 1 前・後 | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | Modern Physics (現代物理学) | 2 後 | | 3 | | 1 | | | | | | |
| | History of Biotechnology (バイオテクノロジーの歴史) | 2 前 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Genetics (遺伝学) | 3-4 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| | Genetics Laboratory (遺伝学実験) | 3-4 後 | | 3 | | | 1 | | | | | |
| Cell Biology Laboratory (細胞生物学実験) | 3-4 前 | | 1 | | | 1 | | | | | | |

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---------------------------------------|--|------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Health & Physical Education (保健体育) | Health & Physical Education 1 (保健体育1) (種目:ナンバ式骨体操) (種目:合気道) (種目:柔道) (種目:空手) (種目:修験道) | 1 前・後 | 1 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | Health & Physical Education 2 (保健体育2) (種目:合気道) (種目:柔道) (種目:空手) | 1-2 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | 2 |

【平成30年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---------------------------------------|--|------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Health & Physical Education (保健体育) | Health & Physical Education 1 (保健体育1) (種目:ナンバ式骨体操) (種目:合気道) (種目:柔道) (種目:空手) (種目:修験道) | 1 前・後 | 1 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | Health & Physical Education 2 (保健体育2) (種目:合気道) (種目:柔道) (種目:空手) | 1-2 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | 2 |

【平成27年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---------------------------------------|---|------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Health & Physical Education (保健体育) | Health & Physical Education 1 (保健体育1) (種目:ナンバ式骨体操) (種目:合気道) (種目:柔道) (種目:修験道) (種目:空手) (未開講:履修希望者なし) | 1 前・後 | 1 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | Health & Physical Education 2 (保健体育2) (種目:合気道) (種目:空手) (種目:柔道) (未開講:履修希望者なし) | 1-2 前・後 | 1 | | | 1 | | | | | | 2 |

【平成28年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---------------------------------------|--|------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Health & Physical Education (保健体育) | Health & Physical Education 1 (保健体育1) (種目:ナンバ式骨体操) (種目:合気道) (種目:柔道) (種目:空手) (種目:修験道) | 1 前・後 | 1 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | Health & Physical Education 2 (保健体育2) (種目:合気道) (種目:柔道) (種目:空手) | 1-2 前・後 | 1 | | | 1 | | | | | | 2 |

【平成29年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 | |
|---------------------------------------|--|------------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|-------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| Health & Physical Education (保健体育) | Health & Physical Education 1 (保健体育1) (種目:ナンバ式骨体操) (種目:合気道) (種目:柔道) (種目:空手) (種目:修験道) | 1 前・後 | 1 | | | 1 | | | | | | 3 |
| | Health & Physical Education 2 (保健体育2) (種目:合気道) (種目:柔道) (種目:空手) | 1-2 前・後 | | 1 | | 1 | | | | | | 2 |

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・Shigematsu, Brandon Kenji准教授の就任辞退の理由により、「English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A)」 「English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B)」 「Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース)」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・Shigematsu, Brandon Kenji准教授の就任辞退の理由により、「Composition 1 (英作文1)」 「Composition 2 (英作文2)」 「Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング)」 「Expository Research Writing (リサーチ・ライティング)」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・REISMAN, David Alexander教授の就任辞退の理由により、「Graduation Research Project (卒業研究)」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・Shigematsu, Brandon Kenji准教授の就任辞退の理由により、「Advanced Expository Writing (英作文上級)」 「English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・REISMAN, David Alexander教授の就任辞退の理由により、「Microeconomics (ミクロ経済学)」 「Intermediate Microeconomics (中級ミクロ経済学)」 「Macroeconomics (マクロ経済学)」 「International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済)」 「Economic Growth: Theories and Evidence (経済成長 : 理論と実証)」 「History of Economic Thought (経済思想史)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・REISMAN, David Alexander教授の就任辞退の理由により、「Seminar (Economics) (経済学演習)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。

【平成28年度】

・RAFIEYAN, Vahid准教授 (AC教員審査済) の補充の理由により、「English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A)」 「English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B)」 「Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース)」 の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。

・PATTERSON, Donald Glen講師及びFENTON, Anthony Lawrence講師の退職の理由により、「English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A)」 「English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B)」 「Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース)」 の専任教員等の配置を「講師4」から「講師2」に変更。

・RAFIEYAN, Vahid准教授 (AC教員審査済) の補充の理由により、「Composition 1 (英作文1)」 「Composition 2 (英作文2)」 「Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング)」 「Expository Research Writing (リサーチ・ライティング)」 の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。

・PATTERSON, Donald Glen講師及びFENTON, Anthony Lawrence講師の退職の理由により、「Composition 1 (英作文1)」 「Composition 2 (英作文2)」 「Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング)」 「Expository Research Writing (リサーチ・ライティング)」 の専任教員等の配置を「講師5」から「講師3」に変更。

・HREBENAR, Ronald John教授の就任辞退、及び生藤昌子准教授 (AC教員審査済) の補充の理由により、「Graduation Research Project (卒業研究)」 の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に、「准教授2」から「准教授3」に変更。

・RAFIEYAN, Vahid准教授 (AC教員審査済) の補充の理由により、「Advanced Expository Writing (英作文上級)」 「English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション)」 の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。

・教育の充実を図るため授業科目「Elementary Japanese 1 (日本語初級1)」 「Elementary Japanese 2 (日本語初級2)」 「Elementary Japanese 3 (日本語初級3)」 に兼任講師1人を採用したとの理由により、当該科目に「兼任・兼任1」を追加。

・教育の充実を図るため授業科目「Shortcuts to Kanji (漢字演習)」 「Kanji in Contexts (文脈の中の漢字)」 を追加し眞正裕准教授 (AC教員審査済)、今城淳講師 (AC教員審査済)、花城可武講師 (AC教員審査済) に担当させることとしたとの理由により、当該科目に「准教授1」「講師2」を追加。

・生藤昌子准教授 (AC教員審査済) の補充の理由により、「Microeconomics (ミクロ経済学)」 「Intermediate Microeconomics (中級ミクロ経済学)」 「Macroeconomics (マクロ経済学)」 「International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済)」 「Economic Growth: Theories and Evidence (経済成長 : 理論と実証)」 「History of Economic Thought (経済思想史)」 の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。

・生藤昌子准教授 (AC教員審査済) の補充の理由により、「Seminar (Economics) (経済学演習)」 の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。

・HREBENAR, Ronald John教授の就任辞退の理由により、「Introduction to Political Science (政治学入門)」 「Social Policy (社会政策)」 「Japanese Politics and International Relations (日本の政治と国際関係)」 の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。

・HREBENAR, Ronald John教授の就任辞退の理由により、「US Politics (アメリカ政治)」 「Global Politics (グローバル政治)」 「Comparative Political Systems (比較政治体制)」 「Seminar (Political Science) (政治学演習)」 の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。

・HREBENAR, Ronald John教授の就任辞退の理由により、「Workshop: Political Simulation Game (ワークショップ : 政治シミュレーションゲーム)」 の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。

・FLACHI, Antonino准教授の退職、JHINGAN, Sanjay教授 (AC教員審査済) の補充の理由により、「Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学)」 「College Algebra (大学代数学)」 「Calculus (微積分学)」 「Statistics (統計学)」 「Modern Physics (現代物理学)」 の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。

・FLACHI, Antonino准教授の退職、JHINGAN, Sanjay教授 (AC教員審査済) の補充の理由により、「Integrated Science (科学総合)」 の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授2」から「准教授1」に変更。

【平成29年度】

- ・VELASCO, Daniel Ray准教授の辞職の理由により、「English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A)」 「English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B)」 「Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース)」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・ALLING, Bethany講師 (AC教員審査済)の補充の理由により、「English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A)」 「English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B)」 「Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース)」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
- ・VELASCO, Daniel Ray准教授の辞職の理由により、「Composition 1 (英作文1)」 「Composition 2 (英作文2)」 「Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング)」 「Expository Research Writing (リサーチ・ライティング)」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・ALLING, Bethany講師 (AC教員審査済)の補充の理由により、「Composition 1 (英作文1)」 「Composition 2 (英作文2)」 「Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング)」 「Expository Research Writing (リサーチ・ライティング)」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」に変更。
- ・NILSON, Donald Richard教授及び生藤昌子准教授の辞職、LARATTA, Rosario教授 (AC教員審査済) 及びLIAN, Joseph教授 (AC教員審査済) 並びにDIETZ, Richard准教授 (AC教員審査済)の補充の理由により、「Graduation Research Project (卒業研究)」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・教育の充実を図るため授業科目「Modern Japanese Society and Culture Through Literature (近現代日本における社会と文化)」を追加しSIPOS, George Tiberiu准教授 (AC教員審査済)を採用したとの理由により、当該科目に「准教授1」を追加。
- ・VELASCO, Daniel Ray准教授の辞職の理由により、「English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教育の充実を図るため授業科目「History of Japan's International Relations (日本の国際関係史)」を追加し兼任講師1人を採用したとの理由により、当該科目に「兼任・兼任1」を追加。
- ・NILSON, Donald Richard教授の辞職、及びDIETZ, Richard准教授 (AC教員審査済)の補充の理由により、「Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化)」 「History of Western Philosophy (西洋哲学史)」 「History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学)」 「Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性)」 「Comparative Philosophy (比較哲学)」 「Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題)」 「Seminar (Philosophy) (哲学演習)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・生藤昌子准教授の辞職、LIAN, Joseph教授 (AC教員審査済)の補充の理由により、「Microeconomics (ミクロ経済学)」 「Intermediate Microeconomics (中級ミクロ経済学)」 「Macroeconomics (マクロ経済学)」 「International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済)」 「Economic Growth: Theories and Evidence (経済成長: 理論と実証)」 「History of Economic Thought (経済思想史)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・生藤昌子准教授の辞職、LIAN, Joseph教授 (AC教員審査済)の補充の理由により、「Seminar (Economics) (経済学演習)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・LARATTA, Rosario教授 (AC教員審査済)の補充の理由により、「Introduction to Political Science (政治学入門)」 「Social Policy (社会政策)」 「Japanese Politics and International Relations (日本の政治と国際関係)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・LARATTA, Rosario教授 (AC教員審査済)の補充の理由により、「Comparative Political Systems (比較政治体制)」 「Seminar (Political Science) (政治学演習)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・原口幸司講師 (AC教員審査済)の補充の理由により、「US Politics (アメリカ政治)」 「Global Politics (グローバル政治)」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・LARATTA, Rosario教授 (AC教員審査済)の補充の理由により、「Workshop: Political Simulation Game (ワークショップ: 政治シミュレーションゲーム)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育の充実を図るため授業科目「Introduction to Psychology (心理学入門)」 「Psychology of Human Personality (人格心理学)」を追加し兼任講師1人を採用したとの理由により、当該科目に「兼任・兼任1」を追加。
- ・教育の充実を図るため授業科目「Introduction to Programming (プログラミング入門)」 「Introduction to Game Development (ゲーム開発入門)」を追加し兼任講師1人を採用したとの理由により、当該科目に「兼任・兼任1」を追加。

【平成30年度】

・OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri教授、及びBROWN, Jonathan David講師の辞職の理由により、「English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A)」「English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B)」「Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース)」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、「講師3」から「講師2」に変更。

・OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri教授、及びBROWN, Jonathan David講師、SPADA, Cynthia Marie講師の辞職の理由により、「Composition 1 (英作文1)」「Composition 2 (英作文2)」「Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング)」「Expository Research Writing (リサーチ・ライティング)」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、「講師4」から「講師2」に変更。

・OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri教授の辞職の理由により、「Graduation Research Project (卒業研究)」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。

・SIPOS, George Tiberiu准教授の辞職の理由により、「Modern Japanese Society and Culture Through Literature (近現代日本における社会と文化)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼担・兼任講師の配置を「兼担・兼任講師1」に変更。

・OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri教授の辞職の理由により、「Introduction to Language Concepts (言語概念入門)」「Seminar (Language Arts) (英語演習)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。

・SPADA, Cynthia Marie講師の辞職の理由により、「Literature Appreciation (文学鑑賞)」「Major Themes in World Literature (世界の文学の主要テーマ)」「Comparative Literature Studies (比較文学研究)」「Creative Writing Across Genres (領域横断型クリエイティブ・ライティング)」「Advanced Expository Writing (英作文上級)」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。

・OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri教授の辞職の理由により、「Sociolinguistics (社会言語学)」「World Englishes (世界の英語)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「兼担・兼任1」に変更。

・教育の充実を図るため岡部真理子准教授 (AC教員審査済) を採用したとの理由により、「Elementary Japanese 1 (日本語初級1)」「Elementary Japanese 2 (日本語初級2)」「Elementary Japanese 3 (日本語初級3)」「Intermediate Japanese 1 (日本語中級1)」「Intermediate Japanese 2 (日本語中級2)」「Advanced Japanese (日本語上級)」「Shortcuts to Kanji (漢字演習)」「Kanji in Contexts (文脈の中の漢字)」「Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文)」「Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解)」「Public Speech in Japanese (日本語スピーチ)」「Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ: 日本語教育体験/観察)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。

授業科目「Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test (日本語能力試験N2)」「Preparation for the N1 level of the Japanese Language Proficiency Test (日本語能力試験N1)」を追加し新採用の岡部真理子准教授 (AC教員審査済)、及び既存の富眞正裕准教授 (AC教員審査済)、今城淳講師 (AC教員審査済)、花城可武講師 (AC教員審査済) に担当させることとしたとの理由により、当該科目に「准教授2」「講師2」を追加。

- (注) ・ 変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。
 ・ 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度 (平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|--------|------|--------|-------|---------|-------|---------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 (A) | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 9 科目 | 123 科目 | 1 科目 | 133 科目 | 9 科目 | 133 科目 | 1 科目 | 141 科目 | |
| | | | | [0] | [+12] | [0] | [+12] | |

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|---------|-----|------|-------|-------|-----------------|
| | 未開講科目なし | | | | | |

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|--------|-----|------|-------|-------|----------------|
| | 廃止科目なし | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|-------|
| 該当なし。 |
|-------|

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{133} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備考 | | | | |
|---------------------|------------------------------|---|--|----------------------------------|---|------------------|-------------|--|--------|-----|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | 山梨学院短期大学と共用 | | | | |
| | 校舎敷地 | 0 m ² | 84,080 m ² | 0 m ² | 84,080 m ² | | | | | |
| | 運動場用地 | 0 m ² | 120,113 m ² | 0 m ² | 120,113 m ² | | | | | |
| | 小 計 | 0 m ² | 204,193 m ² | 0 m ² | 204,193 m ² | | | | | |
| | そ の 他 | 0 m ² | 47,189 m ² | 0 m ² | 47,189 m ² | | | | | |
| | 合 計 | 0 m ² | 251,382 m ² | 0 m ² | 251,382 m ² | | | | | |
| (2) 校 舎 | 専 用 | 30,813.66 m ² | 9,838.25 m ² | 10,867.00 m ² | 51,518.91 m ² | 山梨学院短期大学と共用 | | | | |
| | (30,813.66 m ²) | (9,838.25 m ²) | (10,867.00 m ²) | (51,518.91 m ²) | | | | | | |
| (3) 教 室 等 | 講 義 室 | 7 室 | 演 習 室 | 10 室 | 実験実習室 | 2 室 | 情報処理学習施設 | 0 室 | 語学学習施設 | 2 室 |
| | | | | | (補助職員 0人) | | (補助職員 2人) | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | | | 室 数 | | | | | |
| | 国際リベラルアーツ学部 国際リベラルアーツ学科 | | | | 28 | | 室 | | | |
| (5) 図 書 ・ 設 備 | 新設学部等の 名称 | 図 書 〔うち外国書〕 冊 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 種 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 | 視聴覚資料 点 | 機械・器具 点 | 標 本 点 | 図書資料、視聴覚資料の 増加分は、新規購入による。 (なお、図書資料には、 電子Bookが含まれる。) (29) | | |
| | 国際リベラル アーツ学部 | 43,143 [11,568] 40,471 [9,285] (43,413 [11,568]) (39,808 [8,633]) | 50 [9] 96 [55] (46 [9]) (41 [0]) | 2,101 [2,100] (2,101 [2,100]) | 5,415 5,208 (5,415) (4,946) | 1,899 (1,248) | 0 (0) | 学術雑誌の減少分は、電子 ジャーナルへのカテゴリ ー変更に伴う修正による。 (29) | | |
| | 国際リベラル アーツ学科 | | | | | | | | | |
| | 計 | 43,143 [11,568] 40,471 [9,285] (43,413 [11,568]) (39,808 [8,633]) | 50 [9] 96 [55] (46 [9]) (41 [0]) | 2,101 [2,100] (2,101 [2,100]) | 5,415 5,208 (5,415) (4,946) | 1,899 (1,248) | 0 (0) | | | |
| (6) 図 書 館 | 面 積 | | 閲 覧 座 席 数 | | 収 納 可 能 冊 数 | | 山梨学院短期大学と共用 | | | |
| | 3,984.22 m ² | | 494席 | | 約31万冊 | | | | | |
| (7) 体 育 館 | 面 積 | | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | | | | 山梨学院短期大学と共用 | | | |
| | 4,264.00 m ² | | 武 道 館 | | 3,008.77 m ² | | 武道館：大学専用 | | | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | | |
| | | 教員1人当り研究費等 | 330千円 | 330千円 | 図書購入費 | 3,945千円 | 4,975千円 | 49千円 | | |
| | 共同研究費等 | 400千円 | 400千円 | 設備購入費 | 233,147千円 | 59,289千円 | 0千円 | | | |
| | 学生1人当り 納付金 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | | | |
| | | 1,695千円 | 1,495千円 | 1,495千円 | 1,495千円 | 千円 | 千円 | | | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | 私立大学等経常経費補助金、手数料収入、等。 | | | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

| 大学の名称 | 山梨学院大学 | | | | | | | | 備考 |
|---|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------------------|--------------|-------------------|----------------|--|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入定学員 | 編入学員 | 収定学員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | | |
| 国際リベラルアーツ学部 国際リベラルアーツ学科 | 4 | 80 | — | 320 | 学士 (国際リベラルアーツ) | 0.44 | 平成27年度 | 山梨県甲府市酒折二丁目4-5 | |
| 法学部 | 4 | 370 | — | 1,500 | — | 1.12 | 昭和37年度 | 同上 | |
| 法学科 | 4 | 200 | — | 820 | 学士 (法学) | 1.21 | 昭和37年度 | 同上 | |
| 政治行政学科 | 4 | 170 | — | 680 | 学士 (政治行政学) | 1.02 | 平成3年度 | 同上 | |
| 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 | 4 | 200 | — | 800 | 学士 (商学) | 1.19 | 昭和40年度 | 同上 | |
| 経営情報学部 経営情報学科 | 4 | — | — | — | 学士 (経営情報学) | — | 平成6年度 | 同上 | 平成28年度より学生募集停止 |
| 健康栄養学部 管理栄養学科 | 4 | 40 | 3年次 10 | 180 | 学士 (栄養学) | 1.18 | 平成22年度 | 同上 | |
| スポーツ科学部 スポーツ科学科 | 4 | 170 | — | 510 | 学士 (スポーツ科学) | 1.17 | 平成28年度 | 同上 | |
| 大学の名称 | 山梨学院大学大学院 | | | | | | | | 備考 |
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入定学員 | 編入学員 | 収定学員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | | |
| 社会科学部 公共政策専攻 (修士課程) | 2 | 20 | — | 40 | 修士 (公共政策) | 0.52 | 平成7年度 | 山梨県甲府市酒折二丁目4-5 | |
| 法務研究科 法務専攻 (専門職学位課程 法科大学院) | 3 | — | — | — | 法務博士 (専門職) | — | 平成16年度 | 同上 | 平成28年度より学生募集停止 平成30年3月31日付で廃止(30) |

| 大学の名称 | 山梨学院短期大学 | | | | | | | | 備考 |
|-------------|----------|-----------------------|-------|------|------------------|-----------|--------|----------------|--|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開年設年度 | 所在地 | |
| 食物栄養科 | 2年 | 100 110 | — | 210 | 短期大学士 (食物栄養学) | 0.78 | 昭和23年度 | 山梨県甲府市酒折二丁目4-5 | 平成30年度より入学定員を変更(110→100 △10)(30) |
| 保育科 | 2 | 150 | — | 300 | 短期大学士 (保育学) | 1.08 | 昭和42年度 | 同上 | |
| 専攻科 保育専攻 | 2 | 25 15 | — | 40 | — | 1.05 | 平成14年度 | 同上 | 大学評価・学位授与機構の認定専攻科(平成14年4月) 平成30年度より入学定員を変更(15→25 +10)(30) |

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|--|---|
| | | <就任(予定)年月> |
| 専任 教授 | ASHMORE, Darren Jon <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | Western Film & Theater (西洋映画・演劇) Japanese Film & Theater (日本映画・演劇) Manga & Anime Studies (マンガ・アニメーション学) Film History (映画史) Japanese Traditional Theater (日本の伝統演劇) Comparative Theater (比較演劇学) Aesthetics (比較演劇美学) Seminar (Performing Arts) (芸術演習) Graduation Research Project (卒業研究) |
| 専任 教授 | OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri (45) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | English for Academic Excellence: A (アカデミック英語: A) English for Academic Excellence: B (アカデミック英語: B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) Introduction to Language Concepts (言語概念入門) Sociolinguistics (社会言語学) World Englishes (世界の英語) Advanced Expository Writing (英作文上級) Seminar (Language Arts) (英語演習) Graduation Research Project (卒業研究) |
| 専任 教授 | NILSON, Donald Richard (70) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) History of Western Philosophy (西洋哲学史) History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) Comparative Philosophy (比較哲学) Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) Seminar (Philosophy) (哲学演習) Graduation Research Project (卒業研究) |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|--|---|
| | | <就任(予定)年月> |
| 専任 教授 | ASHMORE, Darren Jon (44) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | Western Film & Theater (西洋映画・演劇) Japanese Film & Theater (日本映画・演劇) Manga & Anime Studies (マンガ・アニメーション学) Film History (映画史) Japanese Traditional Theater (日本の伝統演劇) Comparative Theater (比較演劇学) Aesthetics (比較演劇美学) Seminar (Performing Arts) (芸術演習) Graduation Research Project (卒業研究) |
| 専任 教授 | OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri (46) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | English for Academic Excellence: A (アカデミック英語: A) English for Academic Excellence: B (アカデミック英語: B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) Introduction to Language Concepts (言語概念入門) Sociolinguistics (社会言語学) World Englishes (世界の英語) Advanced Expository Writing (英作文上級) Seminar (Language Arts) (英語演習) Graduation Research Project (卒業研究) |
| 専任 教授 | NILSON, Donald Richard (71) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) History of Western Philosophy (西洋哲学史) History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) Comparative Philosophy (比較哲学) Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) Seminar (Philosophy) (哲学演習) Graduation Research Project (卒業研究) |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|--|---|
| | | <就任(予定)年月> |
| 専任 教授 | ASHMORE, Darren Jon (44) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | Western Film & Theater (西洋映画・演劇) Japanese Film & Theater (日本映画・演劇) Manga & Anime Studies (マンガ・アニメーション学) Film History (映画史) Japanese Traditional Theater (日本の伝統演劇) Comparative Theater (比較演劇学) Aesthetics (比較演劇美学) Seminar (Performing Arts) (芸術演習) Graduation Research Project (卒業研究) |
| 専任 教授 | OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri (47) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | English for Academic Excellence: A (アカデミック英語: A) English for Academic Excellence: B (アカデミック英語: B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) Introduction to Language Concepts (言語概念入門) Sociolinguistics (社会言語学) World Englishes (世界の英語) Advanced Expository Writing (英作文上級) Seminar (Language Arts) (英語演習) Graduation Research Project (卒業研究) |
| 専任 教授 | NILSON, Donald Richard (72) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) History of Western Philosophy (西洋哲学史) History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) Comparative Philosophy (比較哲学) Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) Seminar (Philosophy) (哲学演習) Graduation Research Project (卒業研究) |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|--|---|
| | | <就任(予定)年月> |
| 専任 教授 | ASHMORE, Darren Jon (44) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | Western Film & Theater (西洋映画・演劇) Japanese Film & Theater (日本映画・演劇) Manga & Anime Studies (マンガ・アニメーション学) Film History (映画史) Japanese Traditional Theater (日本の伝統演劇) Comparative Theater (比較演劇学) Aesthetics (比較演劇美学) Seminar (Performing Arts) (芸術演習) Graduation Research Project (卒業研究) |
| 専任 教授 | OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri (48) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | English for Academic Excellence: A (アカデミック英語: A) English for Academic Excellence: B (アカデミック英語: B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) Introduction to Language Concepts (言語概念入門) Sociolinguistics (社会言語学) World Englishes (世界の英語) Advanced Expository Writing (英作文上級) Seminar (Language Arts) (英語演習) Graduation Research Project (卒業研究) |
| 兼任 講師 | GILLIES Hamish (45) <平成30年4月> | 担当授業科目名 |
| | | World Englishes (世界の英語) |
| 専任 教授 | NILSON, Donald Richard (70) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) History of Western Philosophy (西洋哲学史) History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) Comparative Philosophy (比較哲学) Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) Seminar (Philosophy) (哲学演習) Graduation Research Project (卒業研究) |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|---|---|
| | | <就任(予定)年月> |
| 専任 教授 | ASHMORE, Darren Jon (44) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | Western Film & Theater (西洋映画・演劇) Japanese Film & Theater (日本映画・演劇) Manga & Anime Studies (マンガ・アニメーション学) Film History (映画史) Japanese Traditional Theater (日本の伝統演劇) Comparative Theater (比較演劇学) Aesthetics (比較演劇美学) Seminar (Performing Arts) (芸術演習) Graduation Research Project (卒業研究) |
| 兼任 講師 | GILLIES Hamish (45) <平成30年4月> | 担当授業科目名 |
| | | World Englishes (世界の英語) |
| 専任 教授 | NILSON, Donald Richard (71) <平成27年4月> | 担当授業科目名 |
| | | Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) History of Western Philosophy (西洋哲学史) History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) Comparative Philosophy (比較哲学) Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) Seminar (Philosophy) (哲学演習) Graduation Research Project (卒業研究) |

【認可時又は届出時】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | <就任(予定)年月> |
| | | 担当授業科目名 |
| | | |
| 専 | 教授 | <p>REED, William Everard (61) <平成27年4月></p> <p>Critical Thinking & Debate (批判的思考とディベート) The Art of Making Presentations (プレゼンテーション技術) Critical and Creative Thinking (批判的・創造的思考技術) Career Design 1 (キャリア・デザイン1) Career Design 2 (キャリア・デザイン2) Workshop: Calligraphy (ワークショップ:書道実習) Spiritual Dimensions and Traditions in the Japanese Martial Arts (日本武道における精神的側面と伝統) Health & Physical Education 1 (Namba) (保健体育1(種目:テニス(実習体験))) Health & Physical Education 2 (Aikido) (保健体育2(種目:合気道))</p> |
| | | |
| 専 | 教 | <p>HREBENAR, Ronald John (69) <平成28年4月></p> <p>Introduction to Political Science (政治学入門) Japanese Politics and International Relations (日本の政治と国際関係) US Politics (アメリカの政治) Global Politics (グローバル政治) Comparative Political Systems (比較政治体制) Seminar (Political Science) (政治学演習) Graduation Research Project (卒業研究) Workshop: Political Simulation Game (ワークショップ:政治シミュレーションゲーム)</p> |

【平成27年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | <就任(予定)年月> |
| | | 担当授業科目名 |
| | | |
| 専 | 教授 | <p>REED, William Everard (62) <平成27年4月></p> <p>Critical Thinking & Debate (批判的思考とディベート) The Art of Making Presentations (プレゼンテーション技術) Critical and Creative Thinking (批判的・創造的思考技術) Career Design 1 (キャリア・デザイン1) Career Design 2 (キャリア・デザイン2) Workshop: Calligraphy (ワークショップ:書道実習) Spiritual Dimensions and Traditions in the Japanese Martial Arts (日本武道における精神的側面と伝統) Health & Physical Education 1 (Namba) (保健体育1(種目:テニス(実習体験))) Health & Physical Education 2 (Aikido) (保健体育2(種目:合気道))</p> |
| | | |
| | | |

【平成28年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | <就任(予定)年月> |
| | | 担当授業科目名 |
| | | |
| 専 | 教授 | <p>REED, William Everard (63) <平成27年4月></p> <p>Critical Thinking & Debate (批判的思考とディベート) The Art of Making Presentations (プレゼンテーション技術) Critical and Creative Thinking (批判的・創造的思考技術) Career Design 1 (キャリア・デザイン1) Career Design 2 (キャリア・デザイン2) Workshop: Calligraphy (ワークショップ:書道実習) Spiritual Dimensions and Traditions in the Japanese Martial Arts (日本武道における精神的側面と伝統) Health & Physical Education 1 (Namba) (保健体育1(種目:テニス(実習体験))) Health & Physical Education 2 (Aikido) (保健体育2(種目:合気道))</p> |
| | | |
| | | |

【平成29年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|--|
| | | <就任(予定)年月> |
| | | 担当授業科目名 |
| | | |
| 専 | 准教授 | <p>DIETZ, Richard (40) <平成29年4月></p> <p>Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) History of Western Philosophy (西洋哲学史) History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) Comparative Philosophy (比較哲学) Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) Seminar (Philosophy) (哲学演習) Graduation Research Project (卒業研究)</p> |
| | | |
| | | |

【平成30年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|--|
| | | <就任(予定)年月> |
| | | 担当授業科目名 |
| | | |
| 専 | 准教授 | <p>DIETZ, Richard (50) <平成28年4月></p> <p>Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) History of Western Philosophy (西洋哲学史) History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) Comparative Philosophy (比較哲学) Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) Seminar (Philosophy) (哲学演習) Graduation Research Project (卒業研究)</p> |
| | | |
| 専 | 教授 | <p>轟 島 福 己 (84) <平成30年4月></p> <p>Career Design 1 (キャリア・デザイン1) Career Design 2 (キャリア・デザイン2)</p> |

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 准教授 | FURFARO, Paul Vincent (50) <平成27年4月> |
| | | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション) |
| 専任 | 准教授 | Shigematsu, Brandon Kenji (48) <平成27年4月> |
| | | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) |
| 専任 | 准教授 | SIGMAN, Alexander Theodore (33) <平成27年4月> |
| | | How We Listen to Music: Foundations of Music Perception, Cognition, and Acoustics (音楽鑑賞 : 知覚認知と音響学の基礎) History of Western Music (西洋音楽史) Introduction to Music Technology (音楽技術入門) History of Modern Music (近代音楽の歴史) Music Fundamentals: Harmony, Musicship, and Arranging (音楽基礎 : 和声・音楽的技法・編曲) Music and Other Media Interdisciplinary Perspectives (音楽と他のメディア : 学際的視点) Seminar (Music) (音楽実習) Evolution Research Project (卒業研究) Workshop: Music Practice I (Improvisation Ensemble) (ワークショップ : 音楽実習 I (即興アンサンブル)) |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 准教授 | FURFARO, Paul Vincent (51) <平成27年4月> |
| | | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション) |
| 専任 | 准教授 | RAFIEYAN, Vahid (37) <平成27年4月> |
| | | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) |
| 専任 | 准教授 | SIGMAN, Alexander Theodore (34) <平成27年4月> |
| | | How We Listen to Music: Foundations of Music Perception, Cognition, and Acoustics (音楽鑑賞 : 知覚認知と音響学の基礎) History of Western Music (西洋音楽史) Introduction to Music Technology (音楽技術入門) History of Modern Music (近代音楽の歴史) Music Fundamentals: Harmony, Musicship, and Arranging (音楽基礎 : 和声・音楽的技法・編曲) Music and Other Media Interdisciplinary Perspectives (音楽と他のメディア : 学際的視点) Seminar (Music) (音楽実習) Evolution Research Project (卒業研究) Workshop: Music Practice I (Improvisation Ensemble) (ワークショップ : 音楽実習 I (即興アンサンブル)) |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 准教授 | FURFARO, Paul Vincent (52) <平成27年4月> |
| | | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション) |
| 専任 | 准教授 | RAFIEYAN, Vahid (37) <平成27年4月> |
| | | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) |
| 専任 | 准教授 | SIGMAN, Alexander Theodore (35) <平成27年4月> |
| | | How We Listen to Music: Foundations of Music Perception, Cognition, and Acoustics (音楽鑑賞 : 知覚認知と音響学の基礎) History of Western Music (西洋音楽史) Introduction to Music Technology (音楽技術入門) History of Modern Music (近代音楽の歴史) Music Fundamentals: Harmony, Musicship, and Arranging (音楽基礎 : 和声・音楽的技法・編曲) Music and Other Media Interdisciplinary Perspectives (音楽と他のメディア : 学際的視点) Seminar (Music) (音楽実習) Evolution Research Project (卒業研究) Workshop: Music Practice I (Improvisation Ensemble) (ワークショップ : 音楽実習 I (即興アンサンブル)) |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 准教授 | FURFARO, Paul Vincent (53) <平成27年4月> |
| | | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション) |
| 専任 | 准教授 | RAFIEYAN, Vahid (37) <平成27年4月> |
| | | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) |
| 専任 | 准教授 | SIGMAN, Alexander Theodore (36) <平成27年4月> |
| | | How We Listen to Music: Foundations of Music Perception, Cognition, and Acoustics (音楽鑑賞 : 知覚認知と音響学の基礎) History of Western Music (西洋音楽史) Introduction to Music Technology (音楽技術入門) History of Modern Music (近代音楽の歴史) Music Fundamentals: Harmony, Musicship, and Arranging (音楽基礎 : 和声・音楽的技法・編曲) Music and Other Media Interdisciplinary Perspectives (音楽と他のメディア : 学際的視点) Seminar (Music) (音楽実習) Evolution Research Project (卒業研究) Workshop: Music Practice I (Improvisation Ensemble) (ワークショップ : 音楽実習 I (即興アンサンブル)) |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 准教授 | FURFARO, Paul Vincent (54) <平成27年4月> |
| | | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション) |
| 専任 | 准教授 | RAFIEYAN, Vahid (37) <平成27年4月> |
| | | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) Composition 1 (英作文1) Composition 2 (英作文2) Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) |
| 専任 | 准教授 | SIGMAN, Alexander Theodore (37) <平成27年4月> |
| | | How We Listen to Music: Foundations of Music Perception, Cognition, and Acoustics (音楽鑑賞 : 知覚認知と音響学の基礎) History of Western Music (西洋音楽史) Introduction to Music Technology (音楽技術入門) History of Modern Music (近代音楽の歴史) Music Fundamentals: Harmony, Musicship, and Arranging (音楽基礎 : 和声・音楽的技法・編曲) Music and Other Media Interdisciplinary Perspectives (音楽と他のメディア : 学際的視点) Seminar (Music) (音楽実習) Evolution Research Project (卒業研究) Workshop: Music Practice I (Improvisation Ensemble) (ワークショップ : 音楽実習 I (即興アンサンブル)) |

【認可時又は届出時】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 准教授 | WILDS, Alexander (59) <平成27年4月> |
| | | Art Appreciation (美術鑑賞) History of Western Art (西洋美術史) Japanese Art (日本美術) Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) Comparative Art Studies (比較美術研究) Seminar (Arts) (芸術演習) Graduation Research Project (卒業研究) Workshop: Sculpting I (ワークショップ: 彫刻実習 I) Workshop: Sculpting II (ワークショップ: 彫刻実習 II) |
| 専任 | 准教授 | FLACHI, Antonino (42) <平成27年4月> |
| | | Integrated Science (科学総合) Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学) College Algebra (大学代数学) Calculus (微積分学) Statistics (統計学) Modern Physics (現代物理学) |
| 専任 | 准教授 | LASSALLE, Michael Wolfgang (45) <平成27年4月> |
| | | Integrated Science (科学総合) Integrated Science Laboratory (科学総合実験) History of Biotechnology (バイオテクノロジーの歴史) Genetics (遺伝学) Genetics Laboratory (遺伝学実験) Cell Biology Laboratory (細胞生物学実験) |

【平成27年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 准教授 | WILDS, Alexander (60) <平成27年4月> |
| | | Art Appreciation (美術鑑賞) History of Western Art (西洋美術史) Japanese Art (日本美術) Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) Comparative Art Studies (比較美術研究) Seminar (Arts) (芸術演習) Graduation Research Project (卒業研究) Workshop: Sculpting I (ワークショップ: 彫刻実習 I) Workshop: Sculpting II (ワークショップ: 彫刻実習 II) |
| 専任 | 准教授 | FLACHI, Antonino (43) <平成27年4月> |
| | | Integrated Science (科学総合) Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学) College Algebra (大学代数学) Calculus (微積分学) Statistics (統計学) Modern Physics (現代物理学) |
| 専任 | 准教授 | LASSALLE, Michael Wolfgang (46) <平成27年4月> |
| | | Integrated Science (科学総合) Integrated Science Laboratory (科学総合実験) History of Biotechnology (バイオテクノロジーの歴史) Genetics (遺伝学) Genetics Laboratory (遺伝学実験) Cell Biology Laboratory (細胞生物学実験) |

【平成28年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 准教授 | WILDS, Alexander (61) <平成27年4月> |
| | | Art Appreciation (美術鑑賞) History of Western Art (西洋美術史) Japanese Art (日本美術) Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) Comparative Art Studies (比較美術研究) Seminar (Arts) (芸術演習) Graduation Research Project (卒業研究) Workshop: Sculpting I (ワークショップ: 彫刻実習 I) Workshop: Sculpting II (ワークショップ: 彫刻実習 II) |
| 専任 | 准教授 | JHINGAN, Sanjay (46) <平成28年4月> |
| | | Integrated Science (科学総合) Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学) College Algebra (大学代数学) Calculus (微積分学) Statistics (統計学) Modern Physics (現代物理学) |
| 専任 | 准教授 | LASSALLE, Michael Wolfgang (47) <平成27年4月> |
| | | Integrated Science (科学総合) Integrated Science Laboratory (科学総合実験) History of Biotechnology (バイオテクノロジーの歴史) Genetics (遺伝学) Genetics Laboratory (遺伝学実験) Cell Biology Laboratory (細胞生物学実験) |

【平成29年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 准教授 | WILDS, Alexander (62) <平成27年4月> |
| | | Art Appreciation (美術鑑賞) History of Western Art (西洋美術史) Japanese Art (日本美術) Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) Comparative Art Studies (比較美術研究) Seminar (Arts) (芸術演習) Graduation Research Project (卒業研究) Workshop: Sculpting I (ワークショップ: 彫刻実習 I) Workshop: Sculpting II (ワークショップ: 彫刻実習 II) |
| 専任 | 准教授 | JHINGAN, Sanjay (47) <平成28年4月> |
| | | Integrated Science (科学総合) Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学) College Algebra (大学代数学) Calculus (微積分学) Statistics (統計学) Modern Physics (現代物理学) |
| 専任 | 准教授 | LASSALLE, Michael Wolfgang (48) <平成27年4月> |
| | | Integrated Science (科学総合) Integrated Science Laboratory (科学総合実験) History of Biotechnology (バイオテクノロジーの歴史) Genetics (遺伝学) Genetics Laboratory (遺伝学実験) Cell Biology Laboratory (細胞生物学実験) |

【平成30年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|-----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 准教授 | WILDS, Alexander (63) <平成27年4月> |
| | | Art Appreciation (美術鑑賞) History of Western Art (西洋美術史) Japanese Art (日本美術) Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) Comparative Art Studies (比較美術研究) Seminar (Arts) (芸術演習) Graduation Research Project (卒業研究) Workshop: Sculpting I (ワークショップ: 彫刻実習 I) Workshop: Sculpting II (ワークショップ: 彫刻実習 II) |
| 専任 | 准教授 | JHINGAN, Sanjay (48) <平成28年4月> |
| | | Integrated Science (科学総合) Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学) College Algebra (大学代数学) Calculus (微積分学) Statistics (統計学) Modern Physics (現代物理学) |
| 専任 | 准教授 | LASSALLE, Michael Wolfgang (49) <平成27年4月> |
| | | Integrated Science (科学総合) Integrated Science Laboratory (科学総合実験) History of Biotechnology (バイオテクノロジーの歴史) Genetics (遺伝学) Genetics Laboratory (遺伝学実験) Cell Biology Laboratory (細胞生物学実験) |

【認可時又は届出時】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) <就任(予定)年月> |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 講師 | 花城可武 (44) <平成28年9月> |
| | | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) Advanced Japanese (日本語上級) Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文) Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解) Public Speech in Japanese (日本語スピーチ) Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ: 日本語教育体験/観察) |
| 兼任 | 教授 | 原百年 (44) <平成27年4月> |
| | | Nationalism & Ethnic Conflict in Asia (ナショナリズムとアジアの民族紛争) Workshop: Fuji Culture (ワークショップ: 富士山と文化) |
| 兼任 | 教授 | 西田孝宏 (57) <平成27年4月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Judo) (保健体育1 (種目: 柔道)) Health & Physical Education 2 (Judo) (保健体育2 (種目: 柔道)) |
| 兼任 | 講師 | 片田貴士 (33) <平成27年9月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Karate) (保健体育1 (種目: 空手)) Health & Physical Education 2 (Karate) (保健体育2 (種目: 空手)) |

【平成27年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) <就任(予定)年月> |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 講師 | 花城可武 (46) <平成28年9月> |
| | | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) Advanced Japanese (日本語上級) Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文) Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解) Public Speech in Japanese (日本語スピーチ) Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ: 日本語教育体験/観察) |
| 兼任 | 教授 | 原百年 (45) <平成27年4月> |
| | | Nationalism & Ethnic Conflict in Asia (ナショナリズムとアジアの民族紛争) Workshop: Fuji Culture (ワークショップ: 富士山と文化) |
| 兼任 | 教授 | 西田孝宏 (58) <平成27年4月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Judo) (保健体育1 (種目: 柔道)) Health & Physical Education 2 (Judo) (保健体育2 (種目: 柔道)) |
| 兼任 | 講師 | 片田貴士 (33) <平成27年9月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Karate) (保健体育1 (種目: 空手)) Health & Physical Education 2 (Karate) (保健体育2 (種目: 空手)) |

【平成28年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) <就任(予定)年月> |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 講師 | 花城可武 (46) <平成28年9月> |
| | | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) Advanced Japanese (日本語上級) Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文) Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解) Public Speech in Japanese (日本語スピーチ) Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ: 日本語教育体験/観察) |
| 兼任 | 教授 | 原百年 (46) <平成27年4月> |
| | | Nationalism & Ethnic Conflict in Asia (ナショナリズムとアジアの民族紛争) Workshop: Fuji Culture (ワークショップ: 富士山と文化) |
| 兼任 | 教授 | 西田孝宏 (59) <平成27年4月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Judo) (保健体育1 (種目: 柔道)) Health & Physical Education 2 (Judo) (保健体育2 (種目: 柔道)) |
| 兼任 | 講師 | 片田貴士 (33) <平成27年9月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Karate) (保健体育1 (種目: 空手)) Health & Physical Education 2 (Karate) (保健体育2 (種目: 空手)) |

【平成29年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) <就任(予定)年月> |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 講師 | 花城可武 (47) <平成28年9月> |
| | | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) Advanced Japanese (日本語上級) Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文) Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解) Public Speech in Japanese (日本語スピーチ) Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ: 日本語教育体験/観察) |
| 兼任 | 教授 | 原百年 (47) <平成27年4月> |
| | | Nationalism & Ethnic Conflict in Asia (ナショナリズムとアジアの民族紛争) Workshop: Fuji Culture (ワークショップ: 富士山と文化) |
| 兼任 | 教授 | 西田孝宏 (60) <平成27年4月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Judo) (保健体育1 (種目: 柔道)) Health & Physical Education 2 (Judo) (保健体育2 (種目: 柔道)) |
| 兼任 | 講師 | 片田貴士 (33) <平成27年9月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Karate) (保健体育1 (種目: 空手)) Health & Physical Education 2 (Karate) (保健体育2 (種目: 空手)) |

【平成30年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) <就任(予定)年月> |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 専任 | 講師 | 花城可武 (48) <平成28年9月> |
| | | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) Advanced Japanese (日本語上級) Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文) Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解) Public Speech in Japanese (日本語スピーチ) Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ: 日本語教育体験/観察) |
| 兼任 | 教授 | 原百年 (48) <平成27年4月> |
| | | Nationalism & Ethnic Conflict in Asia (ナショナリズムとアジアの民族紛争) Workshop: Fuji Culture (ワークショップ: 富士山と文化) |
| 兼任 | 教授 | 西田孝宏 (61) <平成27年4月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Judo) (保健体育1 (種目: 柔道)) Health & Physical Education 2 (Judo) (保健体育2 (種目: 柔道)) |
| 兼任 | 講師 | 片田貴士 (33) <平成27年9月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Karate) (保健体育1 (種目: 空手)) Health & Physical Education 2 (Karate) (保健体育2 (種目: 空手)) |

【認可時又は届出時】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | MELZER, Jürgen Paul (54) <平成27年9月> |
| | | World History (世界史) Japanese History (日本史) History of Technology in Japan (日本技術史) |
| 兼任 | 講師 | 村山由美 (37) <平成29年4月> |
| | | World Religions (世界の宗教) Comparative Religious Studies (比較宗教学) |
| 兼任 | 講師 | NEWTON, Kristin (65) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Drawing I (ワークショップ: 絵画実習Ⅰ) Workshop: Drawing II (ワークショップ: 絵画実習Ⅱ) |

【平成27年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | MELZER, Jürgen Paul (55) <平成27年9月> |
| | | World History (世界史) Japanese History (日本史) History of Technology in Japan (日本技術史) |
| 兼任 | 講師 | 村山由美 (40) <平成29年4月> |
| | | World Religions (世界の宗教) Comparative Religious Studies (比較宗教学) |
| 兼任 | 講師 | NEWTON, Kristin (66) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Drawing I (ワークショップ: 絵画実習Ⅰ) Workshop: Drawing II (ワークショップ: 絵画実習Ⅱ) |

【平成28年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | MELZER, Jürgen Paul (56) <平成27年9月> |
| | | World History (世界史) Japanese History (日本史) History of Technology in Japan (日本技術史) |
| 兼任 | 講師 | 村山由美 (40) <平成29年4月> |
| | | World Religions (世界の宗教) Comparative Religious Studies (比較宗教学) |
| 兼任 | 講師 | NEWTON, Kristin (67) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Drawing I (ワークショップ: 絵画実習Ⅰ) Workshop: Drawing II (ワークショップ: 絵画実習Ⅱ) |

【平成29年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | MELZER, Jürgen Paul (57) <平成27年9月> |
| | | World History (世界史) Japanese History (日本史) History of Technology in Japan (日本技術史) History of Japan's International Relations (日本の国際関係史) |
| 兼任 | 講師 | 村山由美 (40) <平成29年4月> |
| | | World Religions (世界の宗教) Comparative Religious Studies (比較宗教学) |
| 兼任 | 講師 | NEWTON, Kristin (68) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Drawing I (ワークショップ: 絵画実習Ⅰ) Workshop: Drawing II (ワークショップ: 絵画実習Ⅱ) |

【平成30年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | MELZER, Jürgen Paul (58) <平成27年9月> |
| | | World History (世界史) Japanese History (日本史) History of Technology in Japan (日本技術史) History of Japan's International Relations (日本の国際関係史) |
| 兼任 | 講師 | 村山由美 (40) <平成29年4月> |
| | | World Religions (世界の宗教) Comparative Religious Studies (比較宗教学) |
| 兼任 | 講師 | NEWTON, Kristin (69) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Drawing I (ワークショップ: 絵画実習Ⅰ) Workshop: Drawing II (ワークショップ: 絵画実習Ⅱ) |

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|---|
| | | <就任(予定)年月> | <就任(予定)年月> |
| | | 担当授業科目名 | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 鶴田 宗慶 (77) <平成27年4月> | 鶴田 宗慶 (78) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) | |
| 兼任 | 講師 | 鶴田 一希 (鶴田 悟 後) (77) <平成27年4月> | 鶴田 一希 (鶴田 悟 後) (78) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) | |
| 兼任 | 講師 | FARNSWORTH, Brett Jonathan (37) <平成27年4月> | FARNSWORTH, Brett Jonathan (38) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Acting I (ワークショップ: 演技実習Ⅰ) Workshop: Acting II (ワークショップ: 演技実習Ⅱ) Workshop: Directing (ワークショップ: 演劇監督実習) | |
| 兼任 | 講師 | 佐藤 寛泰 (27) <平成27年4月> | 佐藤 寛泰 (28) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Noh Theater (ワークショップ: 能実習) | |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|---|
| | | <就任(予定)年月> | <就任(予定)年月> |
| | | 担当授業科目名 | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 鶴田 宗慶 (77) <平成27年4月> | 鶴田 宗慶 (78) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) | |
| 兼任 | 講師 | 鶴田 一希 (鶴田 悟 後) (77) <平成27年4月> | 鶴田 一希 (鶴田 悟 後) (78) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) | |
| 兼任 | 講師 | FARNSWORTH, Brett Jonathan (37) <平成27年4月> | FARNSWORTH, Brett Jonathan (38) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Acting I (ワークショップ: 演技実習Ⅰ) Workshop: Acting II (ワークショップ: 演技実習Ⅱ) Workshop: Directing (ワークショップ: 演劇監督実習) | |
| 兼任 | 講師 | 佐藤 寛泰 (27) <平成27年4月> | 佐藤 寛泰 (28) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Noh Theater (ワークショップ: 能実習) | |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|---|
| | | <就任(予定)年月> | <就任(予定)年月> |
| | | 担当授業科目名 | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 鶴田 宗慶 (79) <平成27年4月> | 鶴田 宗慶 (79) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) | |
| 兼任 | 講師 | 鶴田 一希 (鶴田 悟 後) (79) <平成27年4月> | 鶴田 一希 (鶴田 悟 後) (79) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) | |
| 兼任 | 講師 | FARNSWORTH, Brett Jonathan (39) <平成27年4月> | FARNSWORTH, Brett Jonathan (39) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Acting I (ワークショップ: 演技実習Ⅰ) Workshop: Acting II (ワークショップ: 演技実習Ⅱ) Workshop: Directing (ワークショップ: 演劇監督実習) | |
| 兼任 | 講師 | 佐藤 寛泰 (29) <平成27年4月> | 佐藤 寛泰 (29) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Noh Theater (ワークショップ: 能実習) | |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|---|
| | | <就任(予定)年月> | <就任(予定)年月> |
| | | 担当授業科目名 | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 鶴田 宗慶 (80) <平成27年4月> | 鶴田 宗慶 (80) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) | |
| 兼任 | 講師 | 鶴田 一希 (鶴田 悟 後) (80) <平成27年4月> | 鶴田 一希 (鶴田 悟 後) (80) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) | |
| 兼任 | 講師 | FARNSWORTH, Brett Jonathan (40) <平成27年4月> | FARNSWORTH, Brett Jonathan (40) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Acting I (ワークショップ: 演技実習Ⅰ) Workshop: Acting II (ワークショップ: 演技実習Ⅱ) Workshop: Directing (ワークショップ: 演劇監督実習) | |
| 兼任 | 講師 | 佐藤 寛泰 (30) <平成27年4月> | 佐藤 寛泰 (30) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Noh Theater (ワークショップ: 能実習) | |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|---|
| | | <就任(予定)年月> | <就任(予定)年月> |
| | | 担当授業科目名 | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 鶴田 宗慶 (81) <平成27年4月> | 鶴田 宗慶 (81) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) | |
| 兼任 | 講師 | 鶴田 一希 (鶴田 悟 後) (81) <平成27年4月> | 鶴田 一希 (鶴田 悟 後) (81) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Traditional Japanese Culture (ワークショップ: 日本の伝統的文化実習) | |
| 兼任 | 講師 | FARNSWORTH, Brett Jonathan (41) <平成27年4月> | FARNSWORTH, Brett Jonathan (41) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Acting I (ワークショップ: 演技実習Ⅰ) Workshop: Acting II (ワークショップ: 演技実習Ⅱ) Workshop: Directing (ワークショップ: 演劇監督実習) | |
| 兼任 | 講師 | 佐藤 寛泰 (31) <平成27年4月> | 佐藤 寛泰 (31) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Noh Theater (ワークショップ: 能実習) | |

【認可時又は届出時】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 仁科 彰 (仁科 彰 香) (33) <平成28年9月> |
| | | Workshop: Music Practice II (Keyboards) (ワークショップ: 音楽実習Ⅱ (キーボード)) Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ: 音楽実習Ⅲ (合唱アンサンブル)) |
| 兼任 | 講師 | DONAHUE, Timothy Joel (55) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Music and Creativity I (ワークショップ: 音楽と創造性実習Ⅰ) Workshop: Music and Creativity II (ワークショップ: 音楽と創造性実習Ⅱ) |
| 兼任 | 講師 | 佐藤 聡明 (67) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Music Composition For Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ: 洋楽器と和楽器のための作曲実習) |
| 兼任 | 講師 | 吉村 七重 (66) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Music Practice IV (Japanese Koto) (ワークショップ: 音楽実習Ⅳ (琴)) |

【平成27年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 仁科 彰 (仁科 彰 香) (35) <平成28年9月> |
| | | Workshop: Music Practice II (Keyboards) (ワークショップ: 音楽実習Ⅱ (キーボード)) Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ: 音楽実習Ⅲ (合唱アンサンブル)) |
| 兼任 | 講師 | DONAHUE, Timothy Joel (56) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Music and Creativity I (ワークショップ: 音楽と創造性実習Ⅰ) Workshop: Music and Creativity II (ワークショップ: 音楽と創造性実習Ⅱ) |
| 兼任 | 講師 | 佐藤 聡明 (68) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Music Composition For Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ: 洋楽器と和楽器のための作曲実習) |
| 兼任 | 講師 | 吉村 七重 (67) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Music Practice IV (Japanese Koto) (ワークショップ: 音楽実習Ⅳ (琴)) |

【平成28年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 仁科 彰 (仁科 彰 香) (36) <平成28年9月> |
| | | Workshop: Music Practice II (Keyboards) (ワークショップ: 音楽実習Ⅱ (キーボード)) Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ: 音楽実習Ⅲ (合唱アンサンブル)) |
| 兼任 | 講師 | DONAHUE, Timothy Joel (57) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Music and Creativity I (ワークショップ: 音楽と創造性実習Ⅰ) Workshop: Music and Creativity II (ワークショップ: 音楽と創造性実習Ⅱ) |
| 兼任 | 講師 | 佐藤 聡明 (69) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Music Composition For Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ: 洋楽器と和楽器のための作曲実習) |
| 兼任 | 講師 | 吉村 七重 (68) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Music Practice IV (Japanese Koto) (ワークショップ: 音楽実習Ⅳ (琴)) |

【平成29年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 仁科 彰 (仁科 彰 香) (37) <平成28年9月> |
| | | Workshop: Music Practice II (Keyboards) (ワークショップ: 音楽実習Ⅱ (キーボード)) Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ: 音楽実習Ⅲ (合唱アンサンブル)) Workshop: Music and Creativity I (ワークショップ: 音楽と創造性実習Ⅰ) Workshop: Music and Creativity II (ワークショップ: 音楽と創造性実習Ⅱ) |
| 兼任 | 講師 | 佐藤 聡明 (70) <平成27年4月> |
| | | Workshop: Music Composition For Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ: 洋楽器と和楽器のための作曲実習) |
| 兼任 | 講師 | 吉村 七重 (69) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Music Practice IV (Japanese Koto) (ワークショップ: 音楽実習Ⅳ (琴)) |

【平成30年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 仁科 彰 (仁科 彰 香) (37) <平成28年9月> |
| | | Workshop: Music Practice II (Keyboards) (ワークショップ: 音楽実習Ⅱ (キーボード)) Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ: 音楽実習Ⅲ (合唱アンサンブル)) Workshop: Music and Creativity I (ワークショップ: 音楽と創造性実習Ⅰ) Workshop: Music and Creativity II (ワークショップ: 音楽と創造性実習Ⅱ) Workshop: Music Composition For Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ: 洋楽器と和楽器のための作曲実習) |
| 兼任 | 講師 | 吉村 七重 (70) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Music Practice IV (Japanese Koto) (ワークショップ: 音楽実習Ⅳ (琴)) |

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 武井 慧子 (74) <平成28年9月> |
| | | Workshop: Interpretative Dance (ワークショップ: 創作ダンス実習) |
| 兼任 | 講師 | 樋口星太郎 (34) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Practicing Zen (ワークショップ: 禅実習) |
| 兼任 | 講師 | 七沢 賢治 (66) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Experiencing Shinto (ワークショップ: 神道体験) |
| | | |
| | | |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 武井 慧子 (76) <平成28年9月> |
| | | Workshop: Interpretative Dance (ワークショップ: 創作ダンス実習) |
| 兼任 | 講師 | 樋口星太郎 (35) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Practicing Zen (ワークショップ: 禅実習) |
| 兼任 | 講師 | 七沢 賢治 (67) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Experiencing Shinto (ワークショップ: 神道体験) |
| | | |
| | | |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 武井 慧子 (76) <平成28年9月> |
| | | Workshop: Interpretative Dance (ワークショップ: 創作ダンス実習) |
| 兼任 | 講師 | 樋口星太郎 (36) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Practicing Zen (ワークショップ: 禅実習) |
| 兼任 | 講師 | 七沢 賢治 (68) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Experiencing Shinto (ワークショップ: 神道体験) |
| | | |
| | | |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 武井 慧子 (77) <平成28年9月> |
| | | Workshop: Interpretative Dance (ワークショップ: 創作ダンス実習) |
| 兼任 | 講師 | 樋口星太郎 (37) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Practicing Zen (ワークショップ: 禅実習) |
| 兼任 | 講師 | 久保 隆司 (53) <平成29年9月> |
| | | Workshop: Experiencing Shinto (ワークショップ: 神道体験) |
| | | |
| | | |

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|---|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 武井 慧子 (78) <平成28年9月> |
| | | Workshop: Interpretative Dance (ワークショップ: 創作ダンス実習) |
| 兼任 | 講師 | 樋口星太郎 (38) <平成27年9月> |
| | | Workshop: Practicing Zen (ワークショップ: 禅実習) |
| 兼任 | 講師 | 久保 隆司 (58) <平成29年9月> |
| | | Workshop: Experiencing Shinto (ワークショップ: 神道体験) |
| | | |
| | | |

【認可時又は届出時】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 長谷川 智 (56) <平成27年9月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Shugendo) (保健体育1 (種目: 修験道)) |
| 兼任 | 講師 | 中村 明一 (59) <平成27年9月> |
| | | Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ: 音楽実習V (尺八)) |
| 兼任 | 講師 | 秋山 満貴 (47) <平成27年9月> |
| | | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) |
| 兼任 | 講師 | APPUHAMILAGE, Udeni (40) <平成29年4月> |
| | | Introduction to Psychology (心理学入門) Psychology of Human Personality (人格心理学) |

【平成27年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 長谷川 智 (57) <平成27年9月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Shugendo) (保健体育1 (種目: 修験道)) |
| 兼任 | 講師 | 中村 明一 (60) <平成27年9月> |
| | | Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ: 音楽実習V (尺八)) |
| 兼任 | 講師 | 秋山 満貴 (48) <平成27年9月> |
| | | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) |
| 兼任 | 講師 | APPUHAMILAGE, Udeni (41) <平成29年4月> |
| | | Introduction to Psychology (心理学入門) Psychology of Human Personality (人格心理学) |

【平成28年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 長谷川 智 (58) <平成27年9月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Shugendo) (保健体育1 (種目: 修験道)) |
| 兼任 | 講師 | 中村 明一 (61) <平成27年9月> |
| | | Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ: 音楽実習V (尺八)) |
| 兼任 | 講師 | 秋山 満貴 (49) <平成27年9月> |
| | | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) |
| 兼任 | 講師 | APPUHAMILAGE, Udeni (40) <平成29年4月> |
| | | Introduction to Psychology (心理学入門) Psychology of Human Personality (人格心理学) |

【平成29年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 長谷川 智 (59) <平成27年9月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Shugendo) (保健体育1 (種目: 修験道)) |
| 兼任 | 講師 | 中村 明一 (62) <平成27年9月> |
| | | Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ: 音楽実習V (尺八)) |
| 兼任 | 講師 | 秋山 満貴 (50) <平成27年9月> |
| | | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) |
| 兼任 | 講師 | APPUHAMILAGE, Udeni (40) <平成29年4月> |
| | | Introduction to Psychology (心理学入門) Psychology of Human Personality (人格心理学) |

【平成30年度】

| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) |
|------------|----|--|
| | | 担当授業科目名 |
| 兼任 | 講師 | 長谷川 智 (60) <平成27年9月> |
| | | Health & Physical Education 1 (Shugendo) (保健体育1 (種目: 修験道)) |
| 兼任 | 講師 | 中村 明一 (63) <平成27年9月> |
| | | Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ: 音楽実習V (尺八)) |
| 兼任 | 講師 | 秋山 満貴 (50) <平成27年9月> |
| | | Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) |
| 兼任 | 講師 | APPUHAMILAGE, Udeni (41) <平成29年4月> |
| | | Introduction to Psychology (心理学入門) Psychology of Human Personality (人格心理学) |

| 【認可時又は届出時】 | | | 【平成27年度】 | | | 【平成28年度】 | | | 【平成29年度】 | | | 【平成30年度】 | | | | |
|--------------------|----|--------------------------|--------------------|----|--------------------------|--------------------|----|--------------------------|--------------------|----|---|--------------------|----|-----------------------------------|----|---|
| 専任・ 兼任・ 兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) <就任(予定)年月> | 専任・ 兼任・ 兼任の別 | 職名 | 氏名 (年齢) <就任(予定)年月> | | |
| | | 担当授業科目名 | | | 担当授業科目名 | | | 担当授業科目名 | | | 担当授業科目名 | | | 担当授業科目名 | | |
| | | | | | | | | | | | BELL, Reniok (41) <平成29年4月> | | | BELL, Reniok (42) <平成29年4月> | | |
| | | | | | | | | | 兼任 | 講師 | Introduction to Programming (プログラミン グ入門) Introduction to Game Development (ゲーム開発入 門) | | | 兼任 | 講師 | Introduction to Programming (プログラミン グ入門) Introduction to Game Development (ゲーム開発入 門) |

- (注)
- 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

・一身上の都合により平成27年4月1日付で就任を予定していたREISMAN, David Alexander専任教授就任辞退。平成27年度中に後任を公募し、後任として、平成28年4月1日付で生藤昌子氏を専任准教授として就任させることとして、平成27年7月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受ける。
・教育の充実のため、「Elementary Japanese 1 (日本語初級1)」「Elementary Japanese 2 (日本語初級2)」「Elementary Japanese 3 (日本語初級3)」の担当者として平成27年9月1日付で秋山満貴兼任講師を採用。
・一身上の都合により平成27年4月1日付で就任を予定していたShigematsu, Brandon Kenji専任准教授就任辞退。認可後に後任を公募し、後任として、平成27年4月1日付でRAFIEYAN, Vahid氏を専任准教授として就任させることとして、平成27年1月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受け、平成27年4月1日付で就任。

【平成28年度】

・健康上の理由により平成28年4月1日付で就任を予定していたHREBENAR, Ronald John専任教授就任辞退。平成28年度においては「Introduction to Political Science (政治学入門)」「Japanese Politics and International Relations (日本の政治と国際関係)」を原口幸司兼任講師が担当のうえ平成28年度中に教員を公募し、平成29年4月1日付でHREBENAR, Ronald John教授の後任としてLARATTA, Rosario兼任講師を専任教授とし、かつ原口幸司兼任講師を専任講師として就任させることとして、平成29年1月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受ける。
・一身上の都合により平成27年4月1日付で就任を予定していたREISMAN, David Alexander専任教授の就任辞退に伴う後任として、平成28年4月1日付で生藤昌子氏を専任准教授として就任させることとして、平成27年7月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受け、平成28年4月1日付で就任。
・教育の充実のため、「Shortcuts to Kanji (漢字演習)」「Kanji in Contexts (文脈の中の漢字)」を新たに追加し、富真正裕専任准教授、今城淳専任講師、花城可武専任講師に追加担当させるため、平成28年1月にAC教員審査を受審し、担当予定科目全て「可」の判定を受け、平成28年4月1日付で担当科目を追加。
・平成28年3月31日付で一身上の都合によりFLACHI, Antonino准教授退職。平成27年度中に教員を公募し、平成28年4月1日付で後任としてJHINGAN, Sanjay氏を専任教授として就任させることとして、平成28年1月に平成29年1月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受け、平成28年4月1日付で就任。
・教育の充実のため、「Modern Japanese Society and Culture Through Literature (近現代日本における社会と文化)」を平成29年度より新たに追加し、SIP0S, George Tiberiu氏を専任准教授として担当させるため、平成29年1月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受ける。

【平成29年度】

・平成29年3月31日付で健康上の理由によりNILSON, Donald Richard専任教授辞任。平成28年度中に教員を公募し、平成29年4月1日付で後任としてDIETZ, Richard氏を専任准教授として就任させることとして、平成29年1月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「准教授適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受け、平成29年4月1日付で就任。

・健康上の理由により平成28年4月1日付で就任を予定していたHREBENAR, Ronald John専任教授の就任辞任に伴う後任として、平成29年4月1日付で後任としてLARATTA, Rosario兼任講師を専任教授とし、かつ原口幸司兼任講師を専任講師として就任させることとして、平成29年1月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受け、両名が平成29年4月1日付で就任。なお、LARATTA, Rosario専任教授の教育上の負担を考慮し、前年度まで兼任講師として担当していた「Methods of Social Research (社会調査方法論)」については、平成29年4月より林安希子兼任講師が担当することとして同兼任講師を平成29年4月1日付で採用。

・平成29年3月31日付で一身上の都合により生藤昌子准教授辞任。前期開講の科目についてLIAN, Joseph兼任講師に担当させつつ同講師を同年9月より専任教授として就任させることとして、平成29年7月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「准教授適格」、「History of Economic Thought (経済思想史)」を除く担当予定科目「可」の判定を受け、平成29年9月1日付で就任。なお、「History of Economic Thought (経済思想史)」に関しては教員資格審査時に「兼任可」の判定を受けたため、平成30年4月就任の兼任講師を公募した。

・平成29年3月31日付で一身上の都合によりVELASCO, Daniel Ray准教授辞任。平成28年度中に教員を公募し、平成29年4月1日付で後任としてALLING, Bethany氏を専任講師として就任させることとして、平成29年1月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「准教授適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受け、平成29年4月1日付で就任。

・教育の充実のため、「Modern Japanese Society and Culture Through Literature (近現代日本における社会と文化)」を平成29年度より新たに追加し、SIPOS, George Tiberiu氏を専任准教授として担当させるため、平成29年1月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「適格」、担当予定科目「可」の判定を受け、平成29年4月1日付で就任。

・教育の充実のため「History of Japan's International Relations (日本の国際関係史)」を平成29年度より新たに追加し、MELZER, Jürgen Paul兼任講師の担当科目に追加。

・平成29年3月31日付でDONAHUE, Timothy Joel兼任講師辞任。平成29年4月1日付で後任として仁科彩兼任講師にDONAHUE, Timothy Joel兼任講師の担当科目を追加。

・平成29年3月31日付で七沢賢治兼任講師辞任。平成29年4月1日付で後任として久保隆司兼任講師を採用。

・教育の充実のため「Introduction to Psychology (心理学入門)」「Psychology of Human Personality (人格心理学)」を平成29年度より新たに追加し、平成29年4月1日付で担当者としてAPPUHAMILLAGE, Udeni兼任講師を採用。

・教育の充実のため「Introduction to Programming (プログラミング入門)」「Introduction to Game Development (ゲーム開発入門)」を平成29年度より新たに追加し、平成29年4月1日付で担当者としてBELL, Renick兼任講師を採用。

【平成30年度】

・平成30年3月31日付でOLAGBOYE, Kotawole Waziri専任教授辞任。平成30年度は「World Englishes (世界の英語)」をGILLIES, Hamish兼任講師が担当しつつ、後期開講の「Sociolinguistics (社会言語学)」に関しては後期までに兼任講師を公募する予定である。なお、「English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A)」「English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B)」「Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース)」「Composition 1 (英作文1)」「Composition 2 (英作文2)」「Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング)」「Expository Research Writing (リサーチ・ライティング)」「Introduction to Language Concepts (言語概念入門)」「Advanced Expository Writing (英作文上級)」「Seminar (Language Arts) (英語演習)」「Graduation Research Project (卒業研究)」に関しては他に担当者がおり、かつ、設置計画に基づく収容定員が320人であるのに対し在籍者数が129人(うち、英語を母語としない日本人学生は78人)であるため、平成30年度においては設置計画の履行に関し、教育上の支障はない。

・教育の充実のため、「Career Design 1 (キャリア・デザイン1)」「Career Design 2 (キャリア・デザイン2)」の担当者に源島福己氏を専任教授として就任させることとして、平成29年11月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「准教授適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受け、平成30年4月1日付で就任。

・平成29年3月31日付で一身上の都合により辞職した生藤昌子准教授の担当科目「History of Economic Thought (経済思想史)」の後任として、糟谷祐介兼任講師を採用。

・教育の充実のため、「Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test (日本語能力試験N2)」「Preparation for the N1 level of the Japanese Language Proficiency Test (日本語能力試験N1)」を新たに追加し、富真正裕専任准教授、今城淳専任講師、花城可武専任教師に追加担当させるため、平成30年1月にAC教員審査を受審し、担当予定科目全て「可」の判定を受け、平成30年4月1日付で担当科目を追加。

・教育の充実のため、「Elementary Japanese 1 (日本語初級1)」「Elementary Japanese 2 (日本語初級2)」「Elementary Japanese 3 (日本語初級3)」「Intermediate Japanese 1 (日本語中級1)」「Intermediate Japanese 2 (日本語中級2)」「Advanced Japanese (日本語上級)」「Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文)」「Reading Japanese Newspapers (日本語新聞読解)」「Public Speech in Japanese (日本語スピーチ)」「Workshop: Experiencing Teaching Japanese (ワークショップ: 日本語教育体験/観察)」「Shortcuts to Kanji (漢字演習)」「Kanji in Contexts (文脈の中の漢字)」「Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test (日本語能力試験N2)」「Preparation for the N1 level of the Japanese Language Proficiency Test (日本語能力試験N1)」の担当者に岡部真理子氏を専任准教授として就任させることとして、平成30年1月にAC教員審査を受審し、職位の適格性「准教授適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受け、平成30年4月1日付で就任。

・平成29年11月3日付でSIPOS, George Tiberiu専任准教授辞任。後任として、KHALMIRZAEVA Saida兼任講師を平成30年4月1日付で採用。

・平成30年3月31日付でBROWN, Jonathan David専任講師辞任。担当科目に関しては他に担当者がおり、かつ、設置計画に基づく収容定員が320人であるのに対し在籍者数が129人(うち、英語を母語としない日本人学生は78人)であるため、平成30年度においては設置計画の履行に関し、教育上の支障はない。

・平成30年3月31日付でSPADA, Cynthia Marie専任講師辞任。担当科目に関しては他に担当者がおり、かつ、設置計画に基づく収容定員が320人であるのに対し在籍者数が129人(うち、英語を母語としない日本人学生は78人)であるため、平成30年度においては設置計画の履行に関し、教育上の支障はない。

・平成30年3月31日付で村山由美兼任講師辞任。後任として彦田理矢子兼任講師を平成30年4月1日付で採用。

・平成30年3月31日付で佐藤聡明兼任講師辞任。平成29年4月1日付で後任として仁科彩兼任講師に佐藤聡明兼任講師の担当科目を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

| | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数 | うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数 |
| 10 名 | 5 名 |

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

| 設置時の計画 | | | | | 現在（報告書提出時）の状況 | | | | | 現在（報告書提出時）の完成年度時の計画 | | | | |
|--------|-----|-----|-----|----------|---------------|-----|----|----|----------|---------------------|-----|------|-----|----------|
| 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 (A) | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 (B) | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 (C) |
| 11 | 8 | 7 | 0 | 25 | 11 | 8 | 5 | 0 | 24 | 11 | 8 | 5 | 0 | 24 |
| (7) | (8) | (5) | (0) | (20) | | | | | | [0] | [0] | [△1] | [0] | [△1] |

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告書提出時）の完成年度時の計画**」には、「**現在（報告書提出時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) ③ 年齢構成

| 年齢構成 | | |
|---------------------|--|--|
| 定年規定の定める 定年年齢（歳） | 報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数 | 完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数 |
| 65 歳 | 4 名 | 4 名 |

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{24}{25} = \boxed{96} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{4}{24} = \boxed{16.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 就任辞退（未就任）の理由 |
|----|-----|------------------------------|------------|--|--------|--|
| 1 | 教授 | REISMAN, David Alexander | 必修 | Microeconomics (ミクロ経済学) | ① | <p>現職であるシンガポール南洋理工工学大学 (Nanyang Technological University) 人文・社会科学部経済学科教授を平成27年8月末に退職のうえ同年9月付で本学に就任するとの契約であったが、平成27年3月、本人より電子メールにて一方的に就任を辞退する旨の通知が送られた（電子メールには「就任承諾書」に書き添えて大きく「×印」が付けられたpdfファイルが添付されていた）。就任承諾書に署名した本人の署名と、本人の住所、氏名、本学は再三にわたり本人及び所属大学に国際電話、電子メール、文書送付等の複数の連絡方法を用いて追尋。及び就任辞退は契約違反である旨の通知を行ったが、</p> <p>(1) 本人は本学からの全ての通知を無視。(2) 所属大学は「本人に取り次がない」「シンガポール南洋理工工学大学を退職する予定はない」との回答に始終。一切の回答を拒絶したため、同教授の就任を諦めざるを得なかった。なお、設置認可申請書に添付の同教授に係る「就任承諾書」に関しては、就任の内証を得る際に、和文での表記内容を英文に翻訳のうえ示すとともに、同意書は法的には「雇用契約書と同等」の性格を有している旨、十二かな説明を行っている。</p> <p>以上の理由のため就任辞退。(27)</p> <p>後任は、生藤昌子准教授を平成27年9月付で採用した。(平成27年7月、AC教員審査済) (28)</p> <p>後任として採用した生藤昌子准教授が平成29年3月付で辞任したため、その後任としてLIAM, Joseph氏を予定し、平成29年6月には教授候補者としてAC教員審査を受審する予定としている。なおLIAM, Joseph氏は、平成29年4月より授業科目「Macroeconomics (マクロ経済学)」、「International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済)」、「History of Economic Thought (経済思想史)」担当の兼任講師として就任しているが、これらの科目に関してもAC教員審査の対象として予定している。(29)</p> <p>後任として、LIAM, Joseph教授を平成29年9月付で採用した(平成29年7月、AC教員審査済) なお、(History of Economic Thought (経済思想史)) については、種谷裕介兼任講師の担当とした。(30)</p> |
| | | | 選択 | Intermediate Microeconomics (中級ミクロ経済学) | ① | |
| | | | 選択 | Macroeconomics (マクロ経済学) | ① | |
| | | | 選択 | International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済) | ① | |
| | | | 選択 | Economic Growth: Theories and Evidence (経済成長：理論と実証) | ① | |
| | | | 選択 | History of Economic Thought (経済思想史) | ② | |
| | | | 選択 | Seminar (Economics) (経済学演習) | ① | |
| | | | 必修 | Graduation Research Project (卒業研究) | ① | |
| 2 | 准教授 | Shigematsu, Brandon Kenji | 選択 | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) | ① | <p>現職である米国サウスウエスタン・イリノイ・カレッジ (Southwestern Illinois College) ESL (English as a Second Language) プログラムディレクターを辞して、平成27年4月(開設時)より本学に就任するとの契約であったが、平成27年2月、本人より電子メール及び国際電話にて、家庭の事情により(日本国内に居住する親族との関係が悪化し、また係る事実により本学に多大な迷惑をかけることが懸念されるため) 就任できない旨の通知がなされた。また、本人の就任辞退の申し出と前後して、神奈川県内に居住するという同准教授の親族を名乗る方より、本学に対して、本学国際リベラルアーツ学部の設置認可後に整備したWebコンテンツにおいて「SHIGEMATSU, Brandon Kenji」の名前を見たが、「本人が親族にこれまで行った行為に基づき日本には絶対に入国させない」などの怪電話が、数回にわたりもたらされている(具体的な電話の内容に関しては、同准教授・親族間のプライバシーの問題もあり割愛する)。本学は本人に対し、国際電話、電子メール、文書送付等の複数の連絡方法を用いて、再三にわたり追尋を行ったが、本人の就任辞退の意思は固く、結果、これを認めざるを得なかった。</p> <p>以上の理由のため就任辞退。(27)</p> <p>後任は、RAFIEYAN, Vahid准教授を平成27年9月付で採用した。(平成27年7月、AC教員審査済) (28)</p> |
| | | | 必修 | English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) | ① | |
| | | | 選択 | Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) | ① | |
| | | | 選択 | Composition 1 (英作文1) | ① | |
| | | | 選択 | Composition 2 (英作文2) | ① | |
| | | | 選択 | Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) | ① | |
| | | | 選択 | Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) | ① | |
| | | | 選択 | Advanced Expository Writing (英作文上級) | ① | |

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 就任辞退（未就任）の理由 | | | | |
|------------|----|--------------------------|------------|--|---------------|---|-----------|----|---|----|
| 3 | 教授 | HREBENAR, Ronald John | 選択 | Introduction to Political Science (政治学入門) | ① | <p>明治大学、大東文化大学、国際教養大学において客員教授を 応募した経歴を有するHREBENAR, Ronald John教授は、米国ユ タ大学 (University of Utah) での任期を終えた後、本学国 際リベラルアーツ学部就任の予定として、親戚である 本人も就任を切望していたが、本年2月、重篤な病床に伏し、 わが国への渡航すら困難になったことから、本人より就任を 辞退したい旨の申し出があり、これを認めざるを得なかつ した。 以上の理由のため就任辞退。 なお、平成28年度開設予定の授業科目「Introduction to Political Science (政治学入門)」「Japanese Politics and International Relations (日本の政治と国際関係)」に関しては、法学部法学科に 平成28年4月付で採用した原口幸司講師が英語バイリンガルであ り、米国の大学において兼任講師として政治学、国際関係学 に係る授業を担当した経歴を有していたことから、学内の人 事手続に則り審査のうえ、同講師を兼任として担当させるこ ととした。 また、平成29年度以降の予定科目に関しては、今年度中に後 任を公募し、必要な手続を経て補充を行う予定としている。 (28) 後任として、平成29年4月より、LARATTA, Rosario教授、及び 原口幸司講師を採用した（平成29年1月、AC教員審査済） (29)</p> | | | | |
| | | | 選択 | Japanese Politics and International Relations (日本の政治と国際関係) | ① | | | | | |
| | | | 選択 | US Politics (アメリカ政治) | ① | | | | | |
| | | | 選択 | Global Politics (グローバル政治) | ① | | | | | |
| | | | 選択 | Comparative Political Systems (比較政治体制) | ① | | | | | |
| | | | 選択 | Seminar (Political Science) (政治学演習) | ① | | | | | |
| | | | 必修 | Graduation Research Project (卒業研究) | ① | | | | | |
| | | | 必修 | Workshop: Political Simulation Game (ワークショップ: 政治シミュレーションゲーム) | ① | | | | | |
| 合計 (D) | | | | | 後任補充状況の集計 (E) | | | | | |
| 就任を辞退した教員数 | | 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) | | | ①の合計数 (a) | ②の合計数 (b) | ③の合計数 (c) | | | |
| 3 | 人 | 必修 | 5 | 科目 | 必修 | 5 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 |
| | | 選択 | 19 | 科目 | 選択 | 18 | 科目 | 選択 | 1 | 科目 |
| | | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 |
| | | 計 | 24 | 科目 | 計 | 23 | 科目 | 計 | 1 | 科目 |

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
 「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---------------------------------|
| ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 |
| ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 辞任等の理由 |
|----|-----|--------------------------|------------|---|--------|--|
| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 辞任等の理由 |
| 1 | 准教授 | FLACHI, Antonino | 選択 | Integrated Science※ (科学総合) | ① | FLACHI, Antonino准教授は、設置計画通り平成27年4月1日付で就任したが、平成27年10月、本人より平成27年度末(平成28年3月31日付)を以って退職したい旨の意向が示された。本学は再三にわたり遺留を行ったが、本人の辞任の意思は固く、結果、これを認めざるを得なかった。 以上の理由のため辞任。 後任は、JHINGAN, Sanjay教授を平成28年4月付で採用した(平成28年1月、AC教員審査済)。(28) |
| | | | 選択 | Math for Liberal Arts (リベラルアーツのための数学) | ① | |
| | | | 選択 | College Algebra (大学代数学) | ① | |
| | | | 選択 | Calculus (微積分学) | ① | |
| | | | 選択 | Statistics (統計学) | ① | |
| | | | 選択 | Modern Physics (現代物理学) | ① | |
| 2 | 講師 | FENTON, Anthony Lawrence | 選択 | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) | ③ | FENTON, Anthony Lawrence講師は、設置計画通り平成27年4月1日付で就任したが、平成28年4月、同年度の開始早々、唐突に本人より直ちに退職したい旨の意向が示された。国内の複数の大学において兼任講師としての職歴を有する同講師に対し、本学は再三にわたり(1)雇用契約内容の確認を促し、(2)遺留するよう説得を行ったが、本人の辞任の意思は固く、結果、これを認めざるを得なかった。 以上の理由のため辞任。 なお、平成29年度以降の担当教員に関しては、FENTON, Anthony Lawrence講師が担当していた科目に係る他の専任担当教員数が充実しているところから、今年度中に後任の補充方法について検討のうえ、平成29年度の開始までに、必要となる手続を行う予定としている。(28) 後任の補充について検討した結果、同一科目を担当する専任教員が多数おり教育上の支障がないため、補充を行わないこととした。(29) |
| | | | 必修 | English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) | ③ | |
| | | | 選択 | Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) | ③ | |
| | | | 選択 | Composition 1 (英作文1) | ③ | |
| | | | 選択 | Composition 2 (英作文2) | ③ | |
| | | | 選択 | Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) | ③ | |
| | | | 選択 | Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) | ③ | |
| 3 | 講師 | PATTERSON, Donald Glen | 選択 | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語 : A) | ③ | PATTERSON, Donald Glen講師は、設置計画通り平成27年4月1日付で就任したが、平成28年3月末、唐突に本人より直ちに退職したい旨の意向が示された。国内の複数の大学において兼任講師としての職歴を有する同講師に対し、本学は再三にわたり(1)雇用契約内容の確認を促し、(2)遺留するよう説得を行ったが、本人の辞任の意思は固く、結果、これを認めざるを得なかった。 以上の理由のため辞任。 なお、平成29年度以降の担当教員に関しては、PATTERSON, Donald Glen講師が担当していた科目に係る他の専任担当教員数が充実しているところから、今年度中に後任の補充方法について検討のうえ、平成29年度の開始までに、必要となる手続を行う予定としている。(28) 後任の補充について検討した結果、同一科目を担当する専任教員が多数おり教育上の支障がないため、補充を行わないこととした。(29) |
| | | | 必修 | English for Academic Excellence : B (アカデミック英語 : B) | ③ | |
| | | | 選択 | Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) | ③ | |
| | | | 選択 | Composition 1 (英作文1) | ③ | |
| | | | 選択 | Composition 2 (英作文2) | ③ | |
| | | | 選択 | Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) | ③ | |
| | | | 選択 | Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) | ③ | |

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 就任辞退（未就任）の理由 |
|----|-----|------------------------|------------|--|--------|---|
| 4 | 教授 | NILSON, Donald Richard | 選択 | Philosophy, Culture & Civilization (哲学と文明・文化) | ① | NILSON, Donald Richard教授が健康上の理由により平成29年3月付で辞任したため、その後任としてDIETZ, Richard准教授を平成29年4月付で採用した（平成29年1月、AC教員審査済）。（29） |
| | | | 選択 | History of Western Philosophy (西洋哲学史) | ① | |
| | | | 選択 | History and Philosophy of Science (科学史・科学哲学) | ① | |
| | | | 選択 | Creativity in the Sciences and the Arts (科学と学芸における創造性) | ① | |
| | | | 選択 | Comparative Philosophy (比較哲学) | ① | |
| | | | 選択 | Philosophy and Environmental Issues (哲学と環境問題) | ① | |
| | | | 選択 | Seminar (Philosophy) (哲学演習) | ① | |
| | | | 必修 | Graduation Research Project (卒業研究) | ① | |
| 5 | 准教授 | 生藤昌子 | 必修 | Microeconomics (ミクロ経済学) | ① | REISMAN, David Alexander教授の後任として採用した生藤昌子准教授が平成29年3月付で辞任したため、その後任としてLIAN, Joseph氏を予定し、平成29年6月には教授候補者としてAC教員審査を受審する予定としている。なおLIAN, Joseph氏は、平成29年4月より授業科目「Macroeconomics (マクロ経済学)」、「International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済)」、「History of Economic Thought (経済思想史)」担当の兼任講師として就任しているが、これらの科目に関してもAC教員審査の対象として予定している。（29） 後任として、LIAN, Joseph教授を平成29年9月付で採用した（平成29年7月、AC教員審査済）。なお、「History of Economic Thought (経済思想史)」については、稲谷祐介兼任講師の担当とした。（30） |
| | | | 選択 | Intermediate Microeconomics (中級ミクロ経済学) | ① | |
| | | | 選択 | Macroeconomics (マクロ経済学) | ① | |
| | | | 選択 | International Trade & Economics of Globalization (国際貿易とグローバル経済) | ① | |
| | | | 選択 | Economic Growth: Theories and Evidence (経済成長：理論と実証) | ① | |
| | | | 選択 | History of Economic Thought (経済思想史) | ② | |
| | | | 選択 | Seminar (Economics) (経済学演習) | ① | |
| | | | 必修 | Graduation Research Project (卒業研究) | ① | |
| 6 | 准教授 | VELASCO, Daniel Ray | 選択 | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語：A) | ① | VELASCO, Daniel Ray准教授が平成29年3月付で辞任したため、その後任としてALLING, Bethany講師を平成29年4月付で採用した（平成29年1月、AC教員審査済）。 なお、授業科目「English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション)」に関しては、後任の補充について検討した結果、同一科目を担当する専任教員が多数おり教育上の支障がないため、補充を行わないこととした。（29） |
| | | | 必修 | English for Academic Excellence : B (アカデミック英語：B) | ① | |
| | | | 選択 | Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) | ① | |
| | | | 選択 | Composition 1 (英作文1) | ① | |
| | | | 選択 | Composition 2 (英作文2) | ① | |
| | | | 選択 | Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) | ① | |
| | | | 選択 | Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) | ① | |
| | | | 選択 | English Communication for the Workplace (職場での英語コミュニケーション) | ③ | |

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 就任辞退（未就任）の理由 |
|----|-----|-----------------------------|------------|---|--------|--|
| 7 | 教授 | OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri | 選択 | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語: A) | ③ | OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri教授が平成30年3月付で辞任したため、後任の補充について検討した結果、「World Englishes (世界の英語)」の後任としてGILLIES Hamish兼任講師を平成30年4月付で採用した。また、「Sociolinguistics (社会言語学)」に関しては、後任の兼任講師を公募し、平成30年9月付で採用することを予定している。なお、その他の科目に関しては、同一科目を担当する専任教員が多数おり教育上の支障がないため、補充を行わないこととした。(30) |
| | | | 必修 | English for Academic Excellence : B (アカデミック英語: B) | ③ | |
| | | | 選択 | Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) | ③ | |
| | | | 選択 | Composition 1 (英作文1) | ③ | |
| | | | 選択 | Composition 2 (英作文2) | ③ | |
| | | | 選択 | Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) | ③ | |
| | | | 選択 | Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) | ③ | |
| | | | 選択 | Introduction to Language Concepts (言語概念入門) | ③ | |
| | | | 選択 | Sociolinguistics (社会言語学) | ③ | |
| | | | 選択 | World Englishes (世界の英語) | ② | |
| | | | 選択 | Advanced Expository Writing (英作文上級) | ③ | |
| | | | 選択 | Seminar (Language Arts) (英語演習) | ③ | |
| | | | 必修 | Graduation Research Project (卒業研究) | ③ | |
| 8 | 准教授 | SIPOS, George Tiberiu | 選択 | Modern Japanese Society and Culture Through Literature (近現代日本における社会と文化) | ② | SIPOS, George Tiberiu准教授が平成29年11月付で辞任したため、後任としてKHALMIRZAEVA Saida兼任講師を平成30年4月付で採用した。 |

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 就任辞退（未就任）の理由 | | | | | | | |
|---------|----|--------------------------|------------|--|---------------|---|-----------|----|---|----|----|----|----|
| 9 | 講師 | BROWN, Jonathan David | 選択 | English for Academic Excellence : A (アカデミック英語: A) | ③ | BROWN, Jonathan David講師が平成30年3月付で辞任したため、後任の補充について検討した結果、同一科目を担当する専任教員が多数おり教育上の支障がないため、補充を行わないこととした。(30) | | | | | | | |
| | | | 必修 | English for Academic Excellence : B (アカデミック英語: B) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Academic Study Abroad Preparatory Course (留学準備コース) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Composition 1 (英作文1) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Composition 2 (英作文2) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) | ③ | | | | | | | | |
| 10 | 講師 | SPADA, Cynthia Marie | 選択 | Composition 2 (英作文2) | ③ | SPADA, Cynthia Marie講師が平成30年3月付で辞任したため、後任の補充について検討した結果、同一科目を担当する専任教員が多数おり教育上の支障がないため、補充を行わないこととした。(30) | | | | | | | |
| | | | 選択 | Composition 2 (英作文2) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Academic Reading Across Disciplines (分野横断型アカデミック・リーディング) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Expository Research Writing (リサーチ・ライティング) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Literature Appreciation (文学鑑賞) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Major Themes in World Literature (世界の文学の主要テーマ) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Comparative Literature Studies (比較文学研究) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Creative Writing Across Genres (領域横断型クリエイティブ・ライティング) | ③ | | | | | | | | |
| | | | 選択 | Advanced Expository Writing (英作文上級) | ③ | | | | | | | | |
| 合計 (F) | | | | | 後任補充状況の集計 (G) | | | | | | | | |
| 辞任した教員数 | | 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) | | | ①の合計数 (a) | ②の合計数 (b) | ③の合計数 (c) | | | | | | |
| 10 | 人 | 必修 | 9 | 科目 | 必修 | 4 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 5 | 科目 |
| | | 選択 | 65 | 科目 | 選択 | 24 | 科目 | 選択 | 3 | 科目 | 選択 | 38 | 科目 |
| | | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 |
| | | 計 | 74 | 科目 | 計 | 28 | 科目 | 計 | 3 | 科目 | 計 | 43 | 科目 |

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---------------------------------|
| ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 |
| ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 |
| ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

| 合計(D) + (F) | | | | 後任補充状況の集計(E) + (G) | | | | | | | |
|-------------|---|-------------------------|-------|--------------------|-------|----------|------|----------|-------|--|--|
| 辞任等した教員数 | | 担当科目数の合計(a) + (b) + (c) | | ①の合計数(a) | | ②の合計数(b) | | ③の合計数(c) | | | |
| 13 | 人 | 必修 | 14 科目 | 必修 | 9 科目 | 必修 | 0 科目 | 必修 | 5 科目 | | |
| | | 選択 | 84 科目 | 選択 | 42 科目 | 選択 | 4 科目 | 選択 | 38 科目 | | |
| | | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | | |
| | | 計 | 98 科目 | 計 | 51 科目 | 計 | 4 科目 | 計 | 43 科目 | | |

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{13}{23} = \boxed{56.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 辞任等の理由 | | | |
|---------|----|-------------------------|------------|-----------|--------|----------|------|----------|------|
| | | 該当なし | | | | | | | |
| 合計 | | | | 後任補充状況の集計 | | | | | |
| 辞任した教員数 | | 担当科目数の合計(a) + (b) + (c) | | ①の合計数(a) | | ②の合計数(b) | | ③の合計数(c) | |
| 0 | 人 | 必修 | 0 科目 | 必修 | 0 科目 | 必修 | 0 科目 | 必修 | 0 科目 |
| | | 選択 | 0 科目 | 選択 | 0 科目 | 選択 | 0 科目 | 選択 | 0 科目 |
| | | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 | 自由 | 0 科目 |
| | | 計 | 0 科目 | 計 | 0 科目 | 計 | 0 科目 | 計 | 0 科目 |

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| ・大学の所見 |
|---|
| <p>REISMAN, David Alexander教授及びSHIGEMATSU, Brandon Kenji准教授の就任辞退の後、速やかに交代教員の公募を行い、結果、REISMAN, David Alexander教授の後任として(1)生藤昌子氏(52歳)を准教授として、SHIGEMATSU, Brandon Kenji准教授の後任として(2)RAFIEYAN, Vahid氏(36歳)を准教授として、それぞれ平成27年9月就任予定として、平成27年度第2回のAC教員審査(書類提出締切:6月12日(金))の対象として受審することを予定している。</p> <p>(1)生藤昌子氏(52歳)に関しては、就任を辞退したREISMAN, David Alexander教授が担当予定であった全ての科目(「Microeconomics(ミクロ経済学)」「Intermediate Microeconomics(中級ミクロ経済学)」「Macroeconomics(マクロ経済学)」「International Trade & Economics of Globalization(国際貿易とグローバル経済)」「Economic Growth: Theories and Evidence(経済成長:理論と実証)」「History of Economic Thought(経済思想史)」「Seminar(Economics)(経済学演習)」「Graduation Research Project(卒業研究)」)を担当することとして、AC教員審査を受審したいと考えている。なお、従前のREISMAN, David Alexander教授の就任予定年月と同時期の就任として予定しているため、授業科目の運営上の支障はないと考えている。また、教授であるREISMAN, David Alexander氏の後任を准教授としたのは、後述「6 留意事項等」の「開設時の留意事項2」としてご指摘いただいているとおり、経済学分野においても、設置計画上の教員が、既就任のLACKTORIN, Michael John教授(学部長)の64歳と、REISMAN, David Alexander教授の72歳と、2名ともに高齢で、年齢構成が高齢に傾斜していることに鑑みためである(設置基準上の専任教員数及び教授の数は、この交代計画においても遵守されている)。また、生藤氏は女性であるところから、国際レベルルーツ学部における女性教員の割合を増加させることにもつながると考えている。</p> <p>(2)RAFIEYAN, Vahid氏(36歳)に関しては、就任を辞退したSHIGEMATSU, Brandon Kenji准教授が担当予定であった全ての科目(「English for Academic Excellence: A(アカデミック英語:A)」「English for Academic Excellence: B(アカデミック英語:B)」「Academic Study Abroad Preparatory Course(留学準備コース)」「Composition 1(英作文1)」「Composition 2(英作文2)」「Academic Reading Across Disciplines(分野横断型アカデミック・リーディング)」「Expository Research Writing(リサーチ・ライティング)」「Advanced Expository Writing(英作文上級)」)を担当することとして、AC教員審査を受審したいと考えている。なお、従前のSHIGEMATSU, Brandon Kenji准教授の就任予定年月が平成27年4月、RAFIEYAN, Vahid准教授の就任予定年月が平成27年9月と差異があるものの、平成27年4月の入学者が入学定員80人に対し27人と少なかったこと、27人全員が日本人であり、単位修得まで他の科目の受講を制限される「English for Academic Excellence: A(アカデミック英語:A)」「Composition 1(英作文1)」「Composition 2(英作文2)」「Academic Reading Across Disciplines(分野横断型アカデミック・リーディング)」「Expository Research Writing(リサーチ・ライティング)」でない「English for Academic Excellence: B(アカデミック英語:B)」のみの履修となっており、平成27年度前期は、正規生はこれら2科目以外の授業科目を履修していない(従って、平成27年度前期(4月~8月)において前述2科目以外の科目は「履修登録者なし」となっている)ところから、平成27年9月の就任予定としても、授業科目の運営上の支障はないと考えている。(27)</p> <p>生藤昌子氏及びRAFIEYAN, Vahid氏に関しては、平成27年7月のAC教員審査を経て(それぞれ准教授の職位適合、全ての予定科目担当可)、予定通り平成27年9月付で就任している。</p> <p>FLACHI, Antonino准教授の辞任に係る対応としては、当該教員の辞任の意思表示の後、速やかに交代教員の公募を行い、結果、JHINGAN, Sanjay氏(45歳)を平成28年4月就任予定の教授として平成27年度第4回のAC教員審査の対象として受審し(教授の職位適合、全ての予定科目担当可)、平成28年4月付で就任させ、教員の交代のみで設置計画を遂行している。</p> <p>HREBENAR, Ronald John教授の就任辞退については、平成28年度開設予定科目「Introduction to Political Science(政治学入門)」及び「Japanese Politics and International Relations(日本の政治と国際関係)」の2科目に関しては、併設学部(法学部法学科)のグローバル化への対応のために平成28年4月付で雇い入れた海外(米国)大学において同一科目を兼任講師として担当した職歴を有する原口幸司講師に兼任して担当させることとし、次年度(平成29年度)の開設予定科目である「US Politics(アメリカ政治)」「Global Politics(グローバル政治)」「Comparative Political Systems(比較政治体制)」「Seminar(Political Science)(政治学演習)」「Graduation Research Project(卒業研究)」「Workshop: Political Simulation Game(ワークショップ:政治シミュレーションゲーム)」に関しては、速やかに交代教員の公募を行い、公認候補者を選抜の上で、平成29年4月の採用予定教員として、平成28年度のAC教員審査を受審することとして予定している。</p> <p>FENTON, Anthony Lawrence講師及びPATTERSON, Donald Glen講師の辞任に関しては、係る2名が担当していた科目「English for Academic Excellence: A(アカデミック英語:A)」「English for Academic Excellence: B(アカデミック英語:B)」「Academic Study Abroad Preparatory Course(留学準備コース)」「Composition 1(英作文1)」「Composition 2(英作文2)」「Academic Reading Across Disciplines(分野横断型アカデミック・リーディング)」「Expository Research Writing(リサーチ・ライティング)」に係る他の専任担当教員数が充実しているところから、今年度中に後任の補充方法について検討のうえ、平成29年度の開始までに必要となる手続を行う予定としている。(28)</p> <p>一方的な自己都合により就任を辞退したREISMAN, David Alexander教授の後任として採用した生藤昌子准教授が平成29年3月付で辞任したため、その後任としてLIAN, Joseph氏を予定し、平成29年6月には教授候補者としてAC教員審査を受審する予定としている(審査において担当「可」の判定を得た場合には、平成29年9月より採用することを予定している)。なお、生藤昌子准教授の辞任の申し出が年度末であったため、LIAN, Joseph氏を兼任講師として平成29年4月より採用し、授業科目「Macroeconomics(マクロ経済学)」「International Trade & Economics of Globalization(国際貿易とグローバル経済)」「History of Economic Thought(経済思想史)」を担当させ、未開講科目の発生による学生の不利益を回避している。なお、現在、LIAN, Joseph氏が兼任講師として担当しているこれらの科目に関しても、AC教員審査の対象として予定している。</p> <p>健康上の都合により就任を辞退せざるを得なかったHREBENAR, Ronald John教授の後任に関しては、予定科目をLARATTA, Rosario教授、及び原口幸司専任講師が分担する形で補充することとして手続きを終えている(平成29年1月、AC教員審査受審済)。なお、1人の教員の就任辞退に対し2人の教員の補充としたのは、認可時(平成26年10月)のその他の意見「社会科学分野の教員組織体制の質を担保する観点から、政治学関係で増員予定の専任教員について、担当予定科目の特定化等、増員計画の具体的な内容について予め学内で整備すること。」を踏まえ、増員したものである。</p> <p>FENTON, Anthony Lawrence専任講師、PATTERSON, Donald Glen専任講師、VELASCO, Daniel Ray准教授の辞任に関する補充については、英語(言語学)関係科目を担当する教員が一定数存在することに鑑み、授業運営上1人の補充のみで支障がないと判断した結果、英語教授法(TESOL)の修士学位を有するALLING, Bethany氏を後任として補充することとした(平成29年1月、AC教員審査受審済)。</p> <p>健康上の理由により辞任せざるを得なくなったNILSON, Donald Richard教授の後任に関しては、DIETZ, Richard准教授を宛てることとして補充を終えている(平成29年1月、AC教員審査受審済)。(29)</p> <p>一方的な自己都合により就任を辞退したREISMAN, David Alexander教授の後任として採用した生藤昌子准教授が平成29年3月付で辞任したため、その後任として予定したLIAN, Joseph教授に関しては、平成29年9月より採用して補充を終えている(平成29年7月、AC教員審査受審済)。</p> <p>平成29年度末までのOLAGBOYEGBA, Kolawole Waziri専任教授、BROWN, Jonathan David専任講師、SPADA, Cynthia Marieの辞任に関する補充については、英語(言語学)関係科目を担当する教員が一定数存在することに鑑み、平成30年度中は授業運営上支障がないと判断した結果、平成30年度中に後任を公募のうえ補充することとした。平成29年11月付で一方的な自己都合により辞任したSIPOS, George Tiberiu准教授に関しては、後任をKHALMIRZAEVA, Saida兼任講師として補充した。(30)</p> |

・学生への周知方法

4月5日（日）より7日（火）までの期間に開催した本学部開設時の入学者に対する新入生オリエンテーションにおいて、LACKTORIN, Michael John教授（学部長）より27人の新入生全員に対して、（1）REISMAN, David Alexander教授及びSHIGEMATSU, Brandon Kenji准教授がそれぞれ就任を辞退したこと、（2）2名の後任に関しては速やかに公募のうえ教育の質や水準を低下させない者を補充すること、（3）2名の教員の就任予定年月を平成27年9月として予定しているものの平成27年度前期（4月～8月）において授業運営上の支障がないこと、（4）異議のある場合はLACKTORIN, Michael John教授（学部長）が直接に聞き取りを行うこと、の4点を説明した。結果、全ての学生がこの教員の交代予定に対し同意している。なお、前述（4）に係る申し出を行った学生はいなかった。（27）

4月4日（月）より6日（水）までの期間に開催した全学生対象のオリエンテーションにおいて、LACKTORIN, Michael John教授（学部長）より、（1）前述の「大学の所見」欄に記載の内容を説明するとともに、（2）平成28年度において授業運営上の支障がないこと、（3）異議のある場合はLACKTORIN, Michael John教授（学部長）が直接に聞き取りを行うこと、の3点を説明した。結果、全ての学生がこの教員の交代予定に対し同意している。なお、前述（3）に係る申し出を行った学生はいなかった。（28）

4月4日（火）より6日（木）までの期間に開催した全学生対象のオリエンテーションにおいて、LACKTORIN, Michael John教授（学部長）より、（1）前述の「大学の所見」欄に記載の内容を説明するとともに、（2）平成29年度において授業運営上の支障がないこと、（3）異議のある場合はLACKTORIN, Michael John教授（学部長）が直接に聞き取りを行うこと、の3点を説明した。結果、全ての学生がこの教員の交代予定に対し同意している。なお、前述（3）に係る申し出を行った学生はいなかった。（29）

4月2日（月）より6日（金）までの期間に開催した全学生対象のオリエンテーションにおいて、LACKTORIN, Michael John教授（学部長）より、（1）前述の「大学の所見」欄に記載の内容を説明するとともに、（2）平成30年度において授業運営上の支障がないこと、（3）異議のある場合はLACKTORIN, Michael John教授（学部長）が直接に聞き取りを行うこと、の3点を説明した。結果、全ての学生がこの教員の交代予定に対し同意している。なお、前述（3）に係る申し出を行った学生はいなかった。（30）

（注）・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | 履 行 状 況 | 未履行事項についての実施計画 |
|------------------------------|---|---|----------------|
| <p>設置時</p> <p>(平成26年10月)</p> | <p>1. 担当単位数が過多と思われる教員がいることについて、「アカデミック英語：A」及び「アカデミック英語：B」の担当を予定している教員の負担が大きいと分析した上で、それらの科目は日本人学生のみを対象とした科目であり、さらに「アカデミック英語：A」については選択科目であることから実際の開講数は申請書上の計画よりも少なくなるとして、実際の教員負担は大きくないという説明をしている。しかし、それらの科目の実際の開講数の見込みなどが示されておらず、また、仮に実際の開講数が申請書上の計画より少なくなった場合にどの教員が担当から外れるかなどの詳細な説明がなされていないことから、申請者の説明には不明瞭な点が残る。さらに、「冬期特別授業期間」に行われる補習授業の負担についてはこの教員負担計算に考慮がなされているか不明瞭である。そのため、実際に見込んでいる科目開講数や開講数に応じた担当者の割り振り、補習授業の負担等について詳細な分析を行い、教員の負担が過度にならないよう適切な体制を整えること。</p> | <p>「アカデミック英語：A」と「アカデミック英語：B」の実際の開講数の見込みとそれに応じた専任教員の担当授業科目については、別紙の添付資料に示した内容になると想定している。入学定員80人のうち、20人程度（1クラス相当）は「アカデミック英語：A」を受講する必要がある程度の英語力を入学時点で有しており、これらの学生たちは第1年次の前期に「アカデミック英語：B」を履修することになる。残りの60人（3クラス相当）が第1年次の前期に「アカデミック英語：A」を、第1年次の後期に「アカデミック英語：B」をそれぞれ履修することになる。以上の想定に基づいて、「アカデミック英語：A」「アカデミック英語：B」「英作文1」「英作文2」「分野横断型アカデミック・リーディング」「リサーチ・ライティング」の担当と、科目区分「英語」に配置されている授業科目の担当を専任教員別に割り当てたものが、添付資料である。</p> <p>添付資料に示されているように、主専攻分野である「英語」に配当された「英語演習」を担当し卒業研究の指導を担当する2名の専任教員（レコード教授・オラゴボイエガ教授）については、前期・後期ともに、75分の授業を週2回実施する授業3科目に加えて、75分の授業を週1回実施する演習1科目を担当することになる（演習を履修する学生たちの「卒業研究」の指導も担当する）。この授業負担については、他の分野の授業を担当する専任教員（1週間に3つの授業科目と1つの「演習」科目（「卒業研究」の指導を含む）を担当することが標準）とまったく同様の授業負担である。「英語演習」を担当しない他の9名の専任教員については、いわゆる語学教育としての英語にかかわる授業科目を中心に担当することになるが、この場合にも教育の質を担保するために、1週間に担当する授業科目を4科目とすることを標準にして教員の担当授業科目の割り振りを行っている。結果として、ほとんど教員の授業負担は1週間に3科目を担当するにとどまっている（前期に3科目・後期に4科目を担当するという教員が2名いるだけで、すべての教員について教育負担に余裕がある状況である）。現在のところ、「アカデミック英語：A」と「アカデミック英語：B」の再履修者が出ることを想定して、後期に「アカデミック英語：A」を1クラス、前期に「アカデミック英語：B」を1クラス追加して開設することを想定している。さらに、「英作文1」「英作文2」の再履修者が増加した場合にもクラス数を増加させて対応可能な状況となっている（添付資料の網掛箇所が示す通り、前期には5科目分、後期には7科目分の余裕がある）。</p> <p>「冬期特別授業期間」に実施する補習授業の担当については、「英語演習」を担当しない他の9名の専任教員のうち、週当たりの授業負担が4科目未満であった者に担当させる計画である。「冬期特別授業期間」は休業期間中に設定されているため、専任教員は通常の授業負担がない期間である。「英語演習」を担当しない専任教員は、卒業研究の指導を担当しないことから、週当たりの担当授業が4科目未満の場合、他の専任教員に比べて教育負担が比較的軽いことになる。このため、教育負担が相対的に軽い教員に補習授業を担当させることによって、全体として教育負担に偏りが出ないようにする計画である。仮に再履修者向けのクラスを増設したことにより、担当授業が4科目未満の教員がいなかった場合には、休業期間中に追加的な授業負担が生じることになるため、担当教員には所定の手当てを支給することを契約時に明示している。</p> <p>以上のように、語学教育としての英語を担当する専任教員について、教員の教育負担が過度にならないよう適切な体制を整えることができると考えている。(27)</p> <p>前述の内容については、予定通り履行した。引き続き、教員の教育負担が過度にならないよう適切な体制を以って履行する予定としている。(28)</p> | <p>履行済</p> |

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | 履 行 状 況 | 未 履 行 事 項 に つ い て の 実 施 計 画 |
|--------------------------------|--|--|---|
| <p>設 置 時</p> <p>(平成26年10月)</p> | <p>2. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。</p> <p style="text-align: center;">留意事項</p> | <p>教員組織（専任教員）の構成が定年規定に定める退職年齢を超える教員の割合が比較的高い現状を踏まえ、専任教員の補充が必要となった場合には、カリキュラムの構成と教育水準を維持することを前提として、比較的若い教員の採用に努める所存である。平成27年度においては、就任予定の英語担当の専任教員1名と経済学担当の専任教員1名の計2名が就任を辞退するに至っているが、これら専任教員の補充についても、設置計画と同じ内容の授業科目を同様の水準で担当できることを前提として公募のうえ、それぞれ定年まで相当な年数のある候補者についてAC教員資格審査を申請することとしている。(27)</p> <p>平成29年1月に就任辞退及び辞任教員の補充、並びに科目新設に係る専任教員の追加のため、5人についてAC教員資格審査を受審したが、この際の候補者に関しては就任時年齢が満50歳未満となるよう配慮のうえ選考を行った(40歳代3人、30歳代2人)。これらの教員に関しては職位の適格性を含め「可」の判定を受け、平成29年4月より専任教員として就任している。(29)</p> <p style="text-align: center;">履行済</p> | <p>完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員が担当するカリキュラムの区分については、継続性を担保するため、開設4年目に後任の教員を公募する計画である。(27)</p> <p>定年規定に定める退職年齢を超える教員1名(平成27年4月就任予定)が就任を辞退し、当該年度において若手准教授1名を採用した。</p> <p>しかしながら、新たに平成28年度(平成28年4月)就任予定の定年規定に定める退職年齢を超える教員1名が就任を辞退したため、これらの補充に関しては、教育の継続性に配慮した年齢の教員を公募する計画である。(28)</p> |

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | 履 行 状 況 | 未 履 行 事 項 に つ い て の 実 施 計 画 |
|--|---|---|---|
| <p>設置計画履行 状況調査時</p> <p>(平成28年2月)</p> | <p>○ 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p style="text-align: center;">改善意見</p> | <p>平成27(2015)年度中には、平成28(2016)年度に向けて新設学部の認知度を上げるために、入試広報の範囲を拡大する取り組みや独自のイベントを開催するなどの取り組みを続けてきた。新設学部の認知度を向上させるための取り組みとしては、東京国際フォーラムでの「開設記念シンポジウム」と東京丸ビルでの「説明会」を開催した。「開設記念シンポジウム」では、日本ではいまだに十分な理解が得られていない「リベラルアーツ教育」について国内外のパネリストによる議論を紹介するとともに、本学部が目指している教育のあり方を知ってもらうことを目的として開催した。また、東京で本学部の教育内容を紹介し出願を検討している学生や保護者を対象とした独自の「説明会」を開催し、学部の教育内容を直接発信する機会も設けてきた。いずれのイベントについても、事前に新聞広告や雑誌への掲載を通じて、広範囲な広報を展開した。さらに、グローバル系学部への進学や、グローバル教育・英語教育に力を入れている高等学校への訪問を行い、本学部の教育について、高校生や高等学校の現場に認知してもらえるよう継続的に広報を続けてきた。開設初年度となった今年度中は、関西地域の高等学校にも範囲を拡大し、本学部の存在を認知してもらえるよう活動してきた。</p> <p>以上のような、学部の認知度を向上させる取り組みに加えて、高校生に本学部での学びの魅力を体験してもらうため、英語担当教員と日本語教育担当教員による英作文と日本語小論文の能力向上を目的とした講座や、英語での授業体験と英語によるプレゼンテーションのトレーニングを内容とするキャンプ、さらにスーパーグローバルハイスクール(SGH)の校外学習を受け入れ、本学部で英語の模擬授業を体験し外国人留学生と交流する機会を提供するなど、高校生に直接、学部の魅力を体験してもらえるイベントも実施した。</p> <p>しかしながら、平成27年度の入学人数は37人(うち4月入学者27人、9月入学者10人)、平成28年度の4月入学者は23人、現在までの平均定員超過率は0.37倍となっており、引き続き具体的な定員充足のための計画を以って、学生確保に取り組む所存である。(28)</p> | <p>平成27(2015)年度中には、平成28(2016)年度に向けて新設学部の認知度を上げるために、入試広報の範囲を拡大する取り組みや独自のイベントを開催するなどの取り組みを続けてきた。新設学部の認知度を向上させるための取り組みとしては、東京国際フォーラムでの「開設記念シンポジウム」と東京丸ビルでの「説明会」を開催した。「開設記念シンポジウム」では、日本ではいまだに十分な理解が得られていない「リベラルアーツ教育」について国内外のパネリストによる議論を紹介するとともに、本学部が目指している教育のあり方を知ってもらうことを目的として開催した。また、東京で本学部の教育内容を紹介し出願を検討している学生や保護者を対象とした独自の「説明会」を開催し、学部の教育内容を直接発信する機会も設けてきた。いずれのイベントについても、事前に新聞広告や雑誌への掲載を通じて、広範囲な広報を展開した。さらに、グローバル系学部への進学や、グローバル教育・英語教育に力を入れている高等学校への訪問を行い、本学部の教育について、高校生や高等学校の現場に認知してもらえるよう継続的に広報を続けてきた。開設初年度となった今年度中は、関西地域の高等学校にも範囲を拡大し、本学部の存在を認知してもらえるよう活動してきた。</p> <p>以上のような、学部の認知度を向上させる取り組みに加えて、高校生に本学部での学びの魅力を体験してもらうため、英語担当教員と日本語教育担当教員による英作文と日本語小論文の能力向上を目的とした講座や、英語での授業体験と英語によるプレゼンテーションのトレーニングを内容とするキャンプ、さらにスーパーグローバルハイスクール(SGH)の校外学習を受け入れ、本学部で英語の模擬授業を体験し外国人留学生と交流する機会を提供するなど、高校生に直接、学部の魅力を体験してもらえるイベントも実施した。</p> <p>しかしながら、平成27年度の入学人数は37人(うち4月入学者27人、9月入学者10人)、平成28年度の4月入学者は23人、現在までの平均定員超過率は0.37倍となっており、引き続き具体的な定員充足のための計画を以って、学生確保に取り組む所存である。(28)</p> <p style="text-align: center;">履行済</p> |

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | 履 行 状 況 | 未 履 行 事 項 についての実施計画 |
|--|--|--|---|
| <p>設置計画履行 状況調査時</p> <p>(平成29年2月)</p> | <p>○ 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p style="text-align: center; color: red;">改善意見</p> | <p>平成28(2016)年度には、従来の重点広報エリアであった山梨県・長野県・静岡県の入試広報活動を前倒しして実施し、関東圏の他県の高校訪問も新たに始めるなど、入試広報のエリアを拡大する努力を続けてきた。従来の重点広報エリアであった3県の広報活動を早期化することで、学校基本調査により山梨県内の私立大学に進学する者が比較的多いことが確認されている関東圏の地域についても、新たに入試広報を強化し、4年制大学への進学者が一定数見込まれる同地域内の高等学校を訪問し、新設学部の魅力や在校生の活躍を紹介し、入試制度についても説明を行った。</p> <p>また、グローバル教育や英語教育に力を入れている高等学校や在外教育機関に対しては、指定校推薦入試の導入計画について説明を行い、指定校先としての提携を依頼するため個別に高校訪問を実施した。これらの高等学校を中心として、夏季休暇期間中を活用したサマーキャンプの企画についても広報を行い、9月に英語による小論文の作成とプレゼンテーション能力の習得を目的とした講座や、リベラルアーツ教育の魅力を伝える模擬授業などのプログラムを提供するイベントを実施した。グローバル教育や英語教育に力を入れている高等学校等では、学校ごとに独自の進学相談会を開催することもあり、そのようなイベントには欠かさず参加し、模擬講義等の依頼にも対応できることをお伝えし、潜在的な志願者を掘り起こす活動を続けてきた。</p> <p>日本国内だけではなく、海外のインターナショナルスクール等からも入学者を確保するため、海外で開催されている進学相談会等のイベントにブースを出すなど、海外リクルーティングにも積極的に取り組んでいる。(29)</p> <p style="text-align: center;">履行済</p> | <p>平成28(2016)年度には、従来の重点広報エリアであった山梨県・長野県・静岡県の入試広報活動を前倒しして実施し、関東圏の他県の高校訪問も新たに始めるなど、入試広報のエリアを拡大する努力を続けてきた。従来の重点広報エリアであった3県の広報活動を早期化することで、学校基本調査により山梨県内の私立大学に進学する者が比較的多いことが確認されている関東圏の地域についても、新たに入試広報を強化し、4年制大学への進学者が一定数見込まれる同地域内の高等学校を訪問し、新設学部の魅力や在校生の活躍を紹介し、入試制度についても説明を行った。</p> <p>また、グローバル教育や英語教育に力を入れている高等学校や在外教育機関に対しては、指定校推薦入試の導入計画について説明を行い、指定校先としての提携を依頼するため個別に高校訪問を実施した。これらの高等学校を中心として、夏季休暇期間中を活用したサマーキャンプの企画についても広報を行い、9月に英語による小論文の作成とプレゼンテーション能力の習得を目的とした講座や、リベラルアーツ教育の魅力を伝える模擬授業などのプログラムを提供するイベントを実施した。グローバル教育や英語教育に力を入れている高等学校等では、学校ごとに独自の進学相談会を開催することもあり、そのようなイベントには欠かさず参加し、模擬講義等の依頼にも対応できることをお伝えし、潜在的な志願者を掘り起こす活動を続けてきた。</p> <p>日本国内だけではなく、海外のインターナショナルスクール等からも入学者を確保するため、海外で開催されている進学相談会等のイベントにブースを出すなど、海外リクルーティングにも積極的に取り組んでいる。(29)</p> |

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | 履 行 状 況 | 未 履 行 事 項 に つ い て の 実 施 計 画 |
|--|---|---|---|
| <p>設置計画履行 状況調査時</p> <p>(平成29年2月)</p> | <p>○ 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p> <p style="text-align: center; color: red;">改善意見</p> | <p>定年規定に定める退職年齢を超える専任教員が一定数存在していることから、専任教員の補充が必要となった際には、カリキュラムの構成と教育水準が維持されることを前提として、比較的若い教員の採用に努めてきた。特に、認可時に指摘を受けた「政治学分野」の専任教員については、就任予定教員が健康上の理由から就任を辞退したため専任教員の補充を行ったが、就任した2人はいずれも40歳代である。また、定年年齢を超えていた哲学分野の専任教員の補充にあっても、40歳代の専任教員を採用している。このほか、英語プログラムの専任教員についても、30歳代の専任教員を補充し、完成年度後もカリキュラムの継続的な運営に支障の出ないように配慮した採用を行った。このように、カリキュラムの構成と教育水準が維持される範囲内で、専任教員の補充にあたっては、比較的若い専任教員を採用するように努めてきた。(29)</p> <p style="text-align: center;">履行済</p> | <p>今後も専任教員の補充にあたっては、定年規定に定める退職年齢の趣旨を踏まえて、比較的若い年台の教員を採用するように努めていく計画である。ただし、カリキュラムの構成を維持し、計画した教育水準を維持するためには、英語による授業の経験とリベラルアーツ型の教育にも対応可能な教授経験を有する者を専任教員として迎える必要があり、必ずしも若い年台の専任教員を採用することができない場合も考えられるところである。この点、完成年度において定年年齢を超える専任教員が多くなる分野については、計画的・段階的な採用人事を進めることで、完成年度以降のカリキュラムと教育水準の維持を図っていく計画である。(29)</p> |

7 その他全般的事項

<国際リベラルアーツ学部 国際リベラルアーツ学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--|---|
| <p>・交換留学生の受入れについて (「ア 設置の趣旨及び必要性」「2 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科の設置の趣旨及び必要性」)</p> <p>交換留学生に対する授業科目の提供について、認可時の計画では、開設時(平成27年4月)に第1年次配当科目のみを開講する計画であった。このため、他の授業科目については、配当年次等に従って年度・学期ごとに段階的に開講されることになり、完成年度にはすべての授業科目を交換留学生に対しても提供することが可能となる体制であった。(27)</p> | <p>・交換留学生の受入れについて (「ア 設置の趣旨及び必要性」「2 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科の設置の趣旨及び必要性」)</p> <p>本学部の教育においては、第1年次に学生寮で留学生との共同生活を送ることで、第2年次以降に交換留学に出発するまでの間に、疑似的な留学体験を日常的に経験することで、留学に出発するまでの間に、生活習慣の異なる者同士による共同生活に慣れておくことが非常に重要となっている。このため、交換留学生の受入れは、本学部の教育目的を実現するために極めて重要である。平成26(2014)年10月末の設置認可後、交換留学協定を締結した大学に対して、本学部の設置認可(平成27(2015)年4月開設)と交換留学の開始について通知し、複数の大学から交換留学生受入れの申し込みを受けた。ただ、海外大学でも留学を希望する学生たちは第2年次以降に在籍する者がほとんどであり、第1年次配当の授業だけでは本学部への留学期間中の学修を充実したものとするのは難しく、また実際に本学部に留学している期間に所属する大学との単位互換が可能な授業の履修ができなければ、留学中に十分な学修を継続することが困難な状況に陥ってしまう。このような状況に対応するため、本学部の専任教員と兼任教員、及び兼任講師が担当する授業科目について、開設年度にあたる今年度から開講することが可能な授業科目については、交換留学生の履修を考慮し、開講することとした。なお、授業の開講に必要な施設・設備・備品についてはすでに整備されていることから、交換留学生の履修に向けた授業の開講に際しての支障はない。また、図書等についても、授業に必ず必要となる文献については、開設前年度(平成26(2014)年度)と開設初年度(本年度)に購入する計画としており、開設前年度の購入分については計画通り履行していたことから、授業の実施に支障が出ることはない。来年度(平成28(2016)年度)についても、本年度と同様の措置を採用する計画であるが、来年度にはすべての専任教員が就任することから、交換留学生に提供することができる授業科目の範囲は今年度よりも拡大することができる。また、開設3年目(平成29(2017)年度)以降は、第3年次・第4年次配当の授業科目を当然に開講することになるため、このような特別な措置は必要ないことになる。(27)</p> |

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|---|--|
| <p>・入試区分について (「ク 入学者選抜の概要」「(2) 選抜方法」) 本学部では、日本人学生について4月入学、外国人留学生について9月入学、という区分に基づいて、入学者選抜を設計していた。(27)</p> | <p>・入試区分について (「ク 入学者選抜の概要」「(2) 選抜方法」) これまでに、日本国外の「在外教育機関」や、オーストラリアの高等学校で日本語を学んでいる高校生から本学部にお問い合わせがあり、現在の入試制度ではこのような生徒にとって、出願が非常に難しい状況にある。 具体的には、日本国外の「在外教育機関」では学習指導要領に基づいた授業が行われているが、入学と卒業の時期は現地の制度に依拠していることが多く、5月ないし6月以降に卒業を迎える生徒も多数存在する。このような生徒にとって、4月入学しか認められないことになると、卒業から大学進学までの間に約9か月間の空白が生じてしまうことから教育の連続性を阻害するため、日本国内の大学に進学する場合にも9月入学を検討しなければならない。このような生徒のために、日本人を対象とした9月入学の入試区分を新設する必要があると考えている。また、オーストラリアの高等学校は、卒業が11月のため、日本の大学との関係では4月が望ましい入学時期であり、仮に9月入学まで待たなければならないとすれば、卒業から大学入学までの間に約10か月間の空白が生じてしまうことになる。 以上のような状況を踏まえて、2016年度(平成28年度)入学者選抜より、日本人を対象とした特別入試(9月入学)と、外国人留学生を対象とした入試(4月入学)を新設することにする。9月入学の日本人学生を受け入れた場合にも、「アカデミック英語」や「英作文」などの必修科目及び選択必修科目が前期・後期の双方に開講されていることから、授業科目の履修について不都合が生じることはない。また、外国人留学生が履修する日本語教育を目的とした授業科目についても、前期・後期の双方に開講されていることから、同様に履修上の不都合が生じることはない。いずれの場合にも、募集人員を2人として設定しており、授業科目のクラス編成に支障をきたすような学生の実入力は想定されない。 なお、上記の変更については、平成27年4月に文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室に相談を行い、変更について問題がないことを確認している。その際に、「若干名」という募集人員の設定では、入学定員の適切な管理の観点から問題があるとのこと指導を受けたことから、すべての入試区分の募集人員を数値化し入学定員の適切な管理を行うよう改めることとした。変更後の具体的な募集人員は、添付資料の通りである。 上記の変更については、本学ホームページを通じてすみやかに公表するとともに、志願者に不都合が生じることのないよう、本学が実施する高等学校訪問・オープンキャンパス・進学説明会・資料送付の際に、専用の説明資料を用意して周知に努める計画である。(27) これまでの高校訪問などの広報活動の結果、本学部の教育内容に強い関心を示していただいた高校から、指定校推薦の導入に関する相談を受けており、平成30年度入試から「指定校推薦入試」を新たな入試区分として設定する計画である。 英語によるグローバル教育に注力している高校からの進学希望者は、特色ある教育プログラムの経験をアピールすることができるAO入試や推薦入試に挑戦する事例が多い。このため、このような教育に特に力を入れている高校の出身者で、本学部のアドミッションポリシーに合致し、十分な英語力を有する学生が挑戦しやすくなるように、本学部の教育内容を精確に理解し、人材養成に関する考え方を共有することのできる高校との間で指定校推薦入試の制度を導入する計画である。 なお、平成27年4月に文部科学省高等教育局大学振興課入試室に相談を行った際の指導に基づいて、適切な定員の管理と募集人員の大幅な変更が生じないように各入試区分の募集人員を見直すとともに、内容が確定後、すみやかに本学ホームページを通じて関連する情報を公表し高校訪問や資料送付時には、変更内容に関する周知に努める計画である。(28)</p> |

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--|---|
| <p>・入試区分について (「ク 入学選抜の概要」「(2) 選抜方法」) 本学部では、出願資格と判定方法を同じくするAO入試と推薦入試を実施する計画であった。(29)</p> | <p>・入試区分について (「ク 入学選抜の概要」「(2) 選抜方法」) これまで出願資格と判定方法をほぼ同じくするAO入試と推薦入試により入学者の受け入れを行ってきたが、昨年度の本報告書に記載の通り、平成30年度入試より「指定校推薦入試」の入試区分を新設することに伴い、AO入試の出願資格と判定方法を見直すことにした。具体的には、AO入試の出願資格として「高等学校の全科目の平均評定が3.5以上である」ことを求めているが、AO入試においては、高等学校の平均評定を得点化して判定に用いることとし、「推薦入試」や「指定校推薦入試」よりも多様な観点から入学選抜を行う方法に改める。このような変更によっても、AO入試への出願を検討していた潜在的な受験者が出願することができなくなることは想定されないため、受験生への不利益な変更とはならない。また、AO入試では、小論文と面接の試験を実施している(いずれも一部分を英語で実施している)ことから、これに高等学校の平均評定を得点化して合格判定を行うことで、アドミッション・ポリシーに即して「学力の3要素」に配慮しながら入学選抜を実施することは十分に可能な制度となっている。</p> <p>新たに導入する「指定校推薦入試」は、募集人数を10人とし、出願資格として、①指定先の高等学校長から推薦を受けられる者、②高等学校の全科目の評定平均値が3.3以上であること、③英検2級以上の英語能力を証明する書類を提出できること、の3点を求める計画である。本学部の認時にアドミッション・ポリシーに掲げる英語力を数的に示すことが望ましいとの指摘があったことを踏まえて、指定校推薦入試では、評定平均値を一般的な推薦入試よりも若干低く設定するかわりに、目安となる英語力の証明を求めることとした。AO入試や推薦入試と同様に、小論文と面接の試験を実施することから、この入試区分においても、アドミッション・ポリシーに即して「学力の3要素」に配慮しながら入学選抜を実施することは十分に可能となっている。なお、指定校推薦入試の導入に伴って、3回実施している一般入試の募集人数を合計で10人減じることになるが、募集人員が大幅に減少することは避けられているため、一般入試の受験者に大きな影響を与えることはないと考えられる。この点、平成27年4月に文部科学省高等教育局大学振興課入試係に相談を行った際の指導内容を踏まえて制度変更を行っている。(29)</p> |
| <p>・授業科目の追加について (「エ 教育課程の編成の考え方及び特色」「(2) 授業科目の区分の概要」) 本学部では、外国人留学生に対する日本語教育に係る授業科目として、科目区分「Japanese Language (日本語研究)」に配置の授業科目は次に掲げる通り6科目を第1年次前期・後期にそれぞれ配置することとして計画していた。</p> <p>Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) Advanced Japanese (日本語上級)</p> <p>(28)</p> | <p>・授業科目の追加について (「エ 教育課程の編成の考え方及び特色」「(2) 授業科目の区分の概要」) 外国人留学生の、日本語特有の漢字表記・漢字表現への教育欲求に対応するため、左に掲げる授業科目のほか、次の2科目を第1年次前期・後期に配置する科目として追加した(担当教員3名(當眞正裕准教授、今城淳講師、花城可武講師)については、平成28年1月、AC教員審査済)。</p> <p>Shortcuts to Kanji (漢字演習) Kanji in Contexts (文脈の中の漢字)</p> <p>(28)</p> |
| <p>・科目区分の日本語表記(和文対訳)の変更について (「エ 教育課程の編成の考え方及び特色」) 認可時の計画においては、科目区分「人文教養(Humanities)」に配置されている言語学・文学に関連する授業科目について「Language Arts (英語)」という小区分で表記してきた。(29)</p> | <p>・科目区分の日本語表記(和文対訳)の変更について (「エ 教育課程の編成の考え方及び特色」) 「Language Arts (英語)」という表記では、言語学や文学に関連する授業科目が配置されていることが伝わりづらいと判断し、入試広報や在学生の指導においても混乱が生じないように、日本語の表記を「英語」から「文学・言語」に改め、当該区分を「Language Arts (文学・言語)」と表記することにした。(29)</p> |

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|---|---|
| <p>・授業科目の追加について (「エ 教育課程の編成の考え方及び特色」 「(2) 授業科目の区分の概要」)</p> <p>認可時の計画においては、授業科目数は、必修科目9科目、選択科目12科目、自由科目1科目の、計13科目として予定していた。(29)</p> | <p>・授業科目の追加について (「エ 教育課程の編成の考え方及び特色」 「(2) 授業科目の区分の概要」)</p> <p>教育課程の充実のため、以下の5科目を追加した。</p> <p>区分: Humanities (人文教養) 分野: Language Art (文学・言語) (1科目を追加)</p> <p>Modern Japanese Society and Culture Through Literature (近現代日本における社会と文化)</p> <p>区分: Social Sciences (社会科学) 分野: Sociology (社会学) (2科目を追加)</p> <p>Introduction to Psychology (心理学入門) Psychology of Human Personality (人格心理学)</p> <p>区分: Quantitative Reasoning & Natural Sciences (数的推理・自然科学) 分野: Quantitative Reasoning (数的推理)</p> <p>Introduction to Programming (プログラミング入門) Introduction to Game Development (ゲーム開発入門)</p> <p>(29)</p> |
| <p>・授業科目の追加について (「エ 教育課程の編成の考え方及び特色」 「(2) 授業科目の区分の概要」)</p> <p>本学部では、外国人留学生に対する日本語教育に係る授業科目として、科目区分「Japanese Language (日本語研究)」に配置の授業科目は次に掲げる通り6科目を第1年次前期・後期にそれぞれ配置することとして計画していた。</p> <p>Elementary Japanese 1 (日本語初級1) Elementary Japanese 2 (日本語初級2) Elementary Japanese 3 (日本語初級3) Intermediate Japanese 1 (日本語中級1) Intermediate Japanese 2 (日本語中級2) Advanced Japanese (日本語上級)</p> <p>(28)</p> | <p>・授業科目の追加について (「エ 教育課程の編成の考え方及び特色」 「(2) 授業科目の区分の概要」)</p> <p>外国人留学生の、日本語能力試験への教育欲求に対応するため、左に掲げる授業科目のほか、次の2科目を第1年次前期・後期に配置する科目として追加した(担当教員4名(岡部真理子准教授、富真正裕准教授、今城淳講師、花城可武講師)については、平成30年1月、AC教員審査済)。</p> <p>Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test (日本語能力試験N2)</p> <p>Preparation for the N1 level of the Japanese Language Proficiency Test (日本語能力試験N1)</p> <p>(30)</p> |

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見直しなど |
|---|--|
| <p>・初年次の英語教育プログラムの統括責任者の交代について （「オ 教員組織の編成の考え方及び特色」「（1）教員の配置状況」） 初年次の「英語教育プログラム（English for Academic Excellence : EAE）」を統括する責任者（以下、「EAEディレクター」と略記する。）として、法人の定める定年年齢を超えた専任教員を委嘱し、同プログラムを履修する学生の自習をサポートする「言語学習センター（Language Acquisition Center ; LAC）」（以下、「LAC」と略記する。）の責任者を兼務させる計画であった。（28）</p> | <p>・初年次の英語教育プログラムの統括責任者の交代について （「オ 教員組織の編成の考え方及び特色」「（1）教員の配置状況」） 初年次の英語教育プログラムは、日本人学生が英語による授業を受講することができる程度の英語力を習得し、海外大学での授業の履修を行う段階に到達するために、極めて重要なものであることは言うまでもない。このため、学部の正規の教育プログラムを統括する責任者と、学生の自習をサポートするために設置したLACの責任者との兼務を解消して、同プログラムの責任者がその運営に専念する体制を整えることで、学部内での同プログラムの運営のあり方を改善することとした。開設時のEAEディレクターを務める専任教員が法人の定年年齢を超えていることを踏まえて、OLAGBOYEGA, Kolawole Waziri教授を、平成27年9月から新たなEAEディレクターに委嘱した。同教授は、国際教養大学の英語プログラムや同大学院課程で授業を担当するなど、日本における（第2言語としての）英語教育に関する豊富な経験を有している。（28）</p> |
| <p>・初年次の英語教育プログラムの見直し （「カ 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」「（1）授業の方法」） 日本人を対象とした教育課程においては、初年次の英語教育プログラムのうち、「アカデミック英語B（English for Academic Excellence B ; EAE B）」を必修科目とする計画であった。（28）</p> | <p>・初年次の英語教育プログラムの見直し （「カ 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」「（1）授業の方法」） 本学部を志願する者の中には、海外で中等教育課程を修了した者や日本国内のいわゆるインターナショナルスクールを修了した者が一定の割合で存在している。このような学生たちは、入学時点で英語による授業受講が可能な程度の英語力を身に付けており、初年次の英語教育プログラムの受講がまったく不要な場合が少なくない。このため、日本国籍を有するという観点のみで、履修する教育課程を判断してしまうと、適切な教育課程を提供できないという問題が発生することになる。 上記の問題に対応するため、平成27年11月4日に文部科学省高等教育局高等教育企画課大学設置室に相談を行い、入学時点で十分な英語力を習得していると認められる学生については、平成28年度より初年次の英語教育プログラムの履修を免除し、他の必修科目の履修開始を認めることができるように制度を変更することとした。英語教育プログラムの履修免除の判断については、これを慎重に行うこととし、履修免除を希望する者は出願時に英語力能力を証明する書類（TOEFLやIELTSの成績）を提出し、入学後に筆記試験と口述試験を受けることを求める計画である。入学前の英語力の証明書だけでなく、入学後、本学部において実施する2つの試験の結果に基づいて、英語教育を専門とする専任教員が英語による授業の受講が可能であると判断した場合に、初年次の英語教育プログラムの履修を免除することになる。（28）</p> |

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|---|---|
| <p>・日本国籍の有無に基づく教育課程の区分の見直し （「力 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」「（1）授業の方法」） 設置認可申請時には、日本人学生が初年次の英語教育プログラムを履修し、外国人留学生が日本語教育プログラムを履修することを想定していた。このため、教育課程は日本人を対象としたものと、外国人留学生を対象としたものをそれぞれ編成していた。（28）</p> | <p>・日本国籍の有無に基づく教育課程の区分の見直し （「力 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」「（1）授業の方法」） 本学部は、日本語教育を目的としたごく少数の授業科目を除いて、英語で授業を行うことから、日本人学生の中でも長期間にわたって海外で生活した者が出願するケースがある。このような日本人学生の中には、英語を使用して成長し教育を受けてきたために、日本語の能力が十分ではない者も存在しており、国籍上は日本人であっても、実際には英語が母語となっており、生活の実体も外国人留学生と何ら変わりがないという事例も存在している。</p> <p>このような日本人学生に対して、適切な教育課程を提供することを可能とするために、平成27年11月4日に文部科学省高等教育局高等教育企画課 大学設置室に相談を行い、国籍上は日本人である学生であっても、当該学生の成長過程や教育歴から判断して、外国人留学生と同様の教育課程を履修することが適切な場合には、当該プログラムの履修が可能となるように計画を変更することとした。</p> <p>なお、大学設置室との相談時の指導に従い、個々の学生が履修すべき教育課程に関して誤解が生じないよう、入試広報において、各自の教育歴と出願時の英語能力に基づいて履修する教育課程の内容が異なることを明確にする計画である。また、個々の学生が履修することになる自身の教育課程の内容を精確に理解していることを確実にするため、入学試験要項においても詳細な説明を行い、出願時にもそれぞれの志願者が入学後に履修する教育課程の内容について確認することができるようにする。国籍上は日本人であっても、外国人留学生と同様の入試内容で出願を認めることについては、平成28年3月に文部科学省高等教育局大学振興課入試室に電話で相談を行い、入学試験要項における出願資格を適切に定めることで可能であることを確認している。（28）</p> |
| <p>・授業科目の配置時期について （「力 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」「（1）授業の方法」） 本学部では、以下の2つの授業科目について、開講する学期を次に掲げる通り計画していた。</p> <p>Introduction to Language Concepts （言語概念入門）：1年 後期 World History （世界史）：1年 後期</p> <p>(28)</p> | <p>・授業科目の配置時期について （「力 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」「（1）授業の方法」） 設置時（平成26年10月）のその他の意見「○ 履修モデルにおいて、留学前に主専攻に関する科目の履修が少ないと思われることから、主専攻に関する専門的な科目をより多く留学前に学ばせるようにするなど、留学前及び留学後の学習とも併せて体系的・有機的な教育となるよう、留学前の教育についても充実させることが望ましい。」を踏まえ、左に掲げる2つの授業科目について、開講する学期を次に掲げる通り改めた。</p> <p>Introduction to Language Concepts （言語概念入門）：1年 前期・後期 World History （世界史）：1年 前期・後期</p> <p>(28)</p> |

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--|--|
| <p>・授業科目の配置時期について (「力 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」 「(1) 授業の方法」) 本学部では、以下の2つの授業科目について、開講する学期を次に掲げる通り計画していた。</p> <p>Art Appreciation (美術鑑賞) 1年 後期 Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) 2年 前期 Workshop: Sculpting II (ワークショップ:彫刻実習Ⅱ) 2年 後期 Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) 2年 後期 Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ:音楽実習Ⅲ(合唱アンサンブル)) 2年 前期 Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ:音楽実習Ⅴ(尺八)) 1年 後期 Workshop: Music Composition for Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ:洋楽器と和楽器のための作曲実習) 1年 後期 Microeconomics (ミクロ経済学) 1年 後期</p> <p>(30)</p> | <p>・授業科目の配置時期について (「力 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」 「(1) 授業の方法」) 設置時(平成26年10月)のその他の意見「○ 履修モデルにおいて、留学前に主専攻に関する科目の履修が少ないと思われることから、主専攻に関する専門的な科目をより多く留学前に学ばせるようにするなど、留学前及び留学後の学習とも併せて体系的・有機的な教育となろう、留学前の教育についても充実させることが望ましい。」を踏まえ、左に掲げる2つの授業科目について、開講する学期を次に掲げる通り改めた。</p> <p>Art Appreciation (美術鑑賞) 1年 前期 Traditional Japanese Handicraft (日本の伝統的手工芸) 2年 後期 Workshop: Sculpting II (ワークショップ:彫刻実習Ⅱ) 2年 前期 Japanese Traditional Music (日本の伝統音楽) 2年 前期 Workshop: Music Practice III (Choral Ensemble) (ワークショップ:音楽実習Ⅲ(合唱アンサンブル)) 2年 前期 Workshop: Music Practice V (Shakuhachi) (ワークショップ:音楽実習Ⅴ(尺八)) 1年 前期 Workshop: Music Composition for Western and Traditional Japanese Instruments (ワークショップ:洋楽器と和楽器のための作曲実習) 1年 後期 Microeconomics (ミクロ経済学) 1年 前期・後期</p> <p>(30)</p> |
| <p>・卒業要件単位の解釈について (「力 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」 「(2) 履修指導の方法及び卒業要件」) 本学部では、卒業要件の一つとして、コースナンバー (Course Number) 「300」～「400」レベルの授業科目に関する単位修得要件について、履修規程上に次に掲げる通り規定していた。</p> <p>(卒業要件) 第13条 卒業のためには、次の各号に掲げる全ての要件を充足のうえ、合計124単位以上を修得しなければならない。なお、体系的・段階的な学修を保证するため、各授業科目には、『Course Number System (コースナンバー制)』に基づく前提要件の充足、または科目毎に定める当該科目が配置される科目区分範囲での一定の修得単位数の充足、もしくは特定の科目に係る単位修得の充足など、個別に履修に際しての前提要件を付す。</p> <p>(4) 科目区分にかかわらず、コースナンバー (Course Number) 「300」～「400」レベルの選択科目を計45単位以上修得する。</p> <p>(29)</p> | <p>・卒業要件単位の解釈について (「力 教育方法、履修指導方法及び卒業要件」 「(2) 履修指導の方法及び卒業要件」) 卒業要件の一つとして掲げる、コースナンバー (Course Number) 「300」～「400」レベルの授業科目に関する単位修得要件について、その趣旨は『コースナンバー (Course Number) 「300」～「400」レベルの授業科目については必修科目のほか、選択科目を含め45単位』であることに鑑み、学生の履修上の混乱を避け、卒業要件単位として示す範囲を明確にするため、形式表現を以下のとおり改めることとして、現在、手続を進めている。履修規程の形式表現に係る改正は、履修規程の改廃に係る規定に則り、本学教務委員会の議を経て合同教授会において審議のうえ改めることを予定している。</p> <p>(卒業要件) 第13条 卒業のためには、次の各号に掲げる全ての要件を充足のうえ、合計124単位以上を修得しなければならない。なお、体系的・段階的な学修を保证するため、各授業科目には、『Course Number System (コースナンバー制)』に基づく前提要件の充足、または科目毎に定める当該科目が配置される科目区分範囲での一定の修得単位数の充足、もしくは特定の科目に係る単位修得の充足など、個別に履修に際しての前提要件を付す。</p> <p>(4) 科目区分にかかわらず、コースナンバー (Course Number) 「300」～「400」レベルの授業科目を計45単位以上修得する。</p> <p>(29)</p> |

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

国際リベラルアーツ学部では、(1) 学生による授業アンケート (前期・後期の年2回とし、全科目を対象とする) の実施、(2) 授業開放による教員相互の教育方法・内容・技術に関する情報交換の推進、(3) 教員研修会の開催を予定している。

また、専任教員全員で構成する毎月定例の国際リベラルアーツ学部教授会の終了後、引き続き授業方法に関する研究を目的とした「国際リベラルアーツ学部FD会議」を実施のうえ、(a) 各教員の持ち回りによる教授方法・技術に関する事例の報告、(b) 学生個々の理解度に基づく教授方法等の妥当性の検討、(c) 学生の課外の学習を支援するためのLMS (Learning Management System) の活用授業運営に支障を来さない範囲で参観は随時関する研究を行うこととしている。なお、4月の授業開始前に開催の第1回国際リベラルアーツ学部FD会議においては、教員相互の授業の参観について授業運営に支障を来さない範囲で参観は随時可能であることを申し合わせている。

なお、本学全体としては、平成27年度まではファカルティ・ディベロップメント (FD) に特化した委員会である「ファカルティ・ディベロップメント委員会」を設けていたが、平成28年度より当該委員会、及び学生の初年次教育に関する事項を取扱う「基礎演習企画運営委員会」を統合し、新たに学生に向けたピア・サポートや補習教育を含む包括的な支援のあり方や、インスティテューショナル・リサーチ (institutional research ;IR) などを包括的に研究・運営するための研究機関として、学習・教育開発 (Learning and Education Development; LED) センターを配置のうえ、ファカルティ・ディベロップメント (FD) に係る事項に関しては学習・教育開発センター運営委員会において審議事項として取扱うこととした。学習・教育開発センターには、学習・教育開発センター運営委員会を配置し (委員は、本学が開設する全ての学部からの代表者で構成)、科学的分析に基づく教員の資質の維持向上の方策を企画させ、全学的に共有することによる学生教育の充実を予定している。なお、資料として、「学習・教育開発センター規程」及び「学習・教育開発センター運営委員会規程」を、別途添付する。

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

全学に亘るFDについては、学習・教育開発センターの主導のもと、随時開催している。

国際リベラルアーツ学部においては、月例の教授会の終了後、引き続き専任教員全員で「国際リベラルアーツ学部FD会議」を開催している。学部FD会議では、学生の正課内外の学習を支援するための効率的運用やレポート課題の示し方、学生からの回収の仕方、添削指導に関する方法について、検討・議論を行っている。

c 委員会の審議事項等

委員会の審議事項等に関しては、全学にわたりFD (SDを含む)、初年次教育、学習支援 (補習教育を含む)、IR (インスティテューショナル・リサーチ) を包括的に取り扱う学習・教育開発センター規程第3条及び第9条において、以下のとおり定めている。

(事業)

第3条 LEDセンターは、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 初年次教育及びコンピテンシー教育に係る授業の計画と運営
- (2) ファカルティ・ディベロップメント (FD) 及びスタッフ・ディベロップメント (SD) の計画と実施
- (3) ピア・サポート体制の確立
- (4) 補習教育を含む学習支援
- (5) インスティテューショナル・リサーチ (IR)
- (6) その他LEDセンターの目的達成にとって適当と認められる事業

(運営)

第9条 LEDセンターに、事業の計画、運営等に関する事項を審議するため運営委員会を置く。運営委員会に関する規程は別に定める。

② 実施状況

a 実施内容

- (1) 授業方法についての研究会
- (2) 教員相互の授業参観
- (3) 新任教員のための研修

b 実施方法

- (1) 授業方法についての研究会：毎月学部教授会終了後に「国際リベラルアーツ学部FD会議」として開催
- (2) 教員相互の授業参観：授業運営に支障を来さない範囲で参観は随時（本学全体の申し合わせ事項）
- (3) 新任教員のための研修：前年度末までに個別実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 授業方法についての研究会
4月18日（水）の学部教授会の折に開催し、就任済の全専任教員が出席した。
- (2) 教員相互の授業参観
授業運営に支障を来さない範囲で参観は随時としている。
- (3) 新任教員のための研修
最初の授業の前に個別に説明を行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員や学生への公開状況に関しては、教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）に関しても着手したばかりであるもの、授業アンケートの結果に基づく授業改善に関しては、次年度のシラバスに盛り込み学生に公表するようにしている。また、交換留学生の受入れも行っており、学生の出身国や宗教観・倫理観などに基づく解釈の相違もあり、学生の誤解を招かない表記を引き続き検討している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期、後期ともに、第8週目に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果の公表に関しては、学生の独善的な解釈を避けるために公表範囲を教員組織のみとし、学部全体として数値化した結果の共有と、教員個別結果の個別通知に基づく議論を行っている。この議論に基づき、前述のとおり、それぞれの授業に対する学生の個別意見を分析したうえ、当該科目の授業改善計画に関しては学生の科目選択にも資するよう、次年度のシラバスに明示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部は、豊かな教養教育と英語の専門教育を接合したリベラルアーツ型の教育課程と国際的な学修環境の提供を通じて、①日本語と英語による、高度なコミュニケーション能力、②批判的、創造的、自立的、グローバルな思考力、③異文化に対する親しみと寛容の精神、を修得させることを教育目標として掲げている。第1年次から第2年次にかけて、英語による授業の受講と海外留学に必要な英語力を身につけるための授業科目を履修し、これらの授業科目を修了した後は、主専攻分野を中心とした授業科目を受講するリベラルアーツ型の教育課程を通じて、幅広い視点から問題を捉え、自分自身の見解を形成するとともに、それを英語で表現することを学んでいくことになる。また、第1年次には、海外からの交換留学生とともに国際学生寮での共同生活を経験することで、第2年次以降の交換留学のための準備を行うことになる。以上のように、リベラルアーツ型の教育課程と国際的な学修環境を提供することで、教育目標として掲げた能力を学生たちに修得させることが本学部の使命ということになる。

学部開設から3年が経過し、交換留学協定を締結した海外の教育機関から40人を超える交換留学生を受け入れるようになった。本学部の専用校舎と国際学生寮では、これらの交換留学生と本学部の正規生が共に英語による授業に出席して学修し、日常生活でも英語でコミュニケーションをとっている。本学部の正規生からは、第1期となる交換留学に出発した学生たちが本学部に戻り、この後期からは第4年次の演習(Seminar)への参加と卒業研究(Graduation Research Project)の作成に向けて、各アカデミックアドバイザー(専任教員)の指導のもとに应用的な学修を開始する。このように本学部が計画した教育プログラムは順調に進行しており、本学部の大きな使命のひとつである国際的な学修環境の提供は着実に実現されている。

また、本学部が学生の英語学習のサポートのために開設した言語学習センターには、毎日のように学生たちが自習に訪れており、言語学習アドバイザーの指導・助言に基づいて、自分自身の学修を進めている。本年度入学した新入生も、つい先日まで、日本国内の高等学校で学んでいたとは思えないほど、国際的な学修環境に身を置いた学生たちも自然と英語による生活に慣れ始めている様子である。この意味でも、本学部が意図した国際的な学修環境の提供は、概ね順調に達成されていると自負している。

今年度は、交換留学協定を締結した海外大学からの交換留学生の受入れだけでなく、本学部の学生たちが海外大学へと出かける送出しの件数も大幅に増加する予定である。このため、海外の留学先大学で学修し修得した単位の互換の方法や、それを踏まえた学修計画を策定するための履修指導の業務が重要性を増してくることになる。英語による学修能力を確立するための授業科目の履修と並行して、専任教員によるアカデミックアドバイザーの制度を通じて、学生たちが留学・卒業研究の作成へと順調に歩みを進めることができるように、計画した内容を着実に履行するだけでなく、帰国後の本学部での学修もスムーズに進められるように、履修指導の際の情報提供についてもこれまでの経験を踏まえて改善していくことを計画している。また、設置認可時に付された意見を真摯に受け止め、本学部のリベラルアーツ型の教育課程において、学生たちの体系的な学修が可能となるよう、開講学期の追加など必要な措置を講じてきた。これまでと同様に、学部開設からこれまでの経験を踏まえて、学生たちが留学中も安心して生活することができるように、日常的なフォローアップの体制をさらに改善し、認可時の計画よりもさらに充実したサポート体制を整備することができるように検討を続けている。

本学部は、日本国内でも有数の国際色豊かな学部であると自負している。今後も、本学部の意欲的な教育プログラムが広く認知されるように、入試広報活動を一層、強化して、入学者の確保に努める計画である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成28年6月30日 公表(平成27年度自己点検評価書:認証評価対象報告書)
- ・平成29年6月30日 公表(平成28年度自己点検評価書)
- ・平成30年6月30日 公表予定(平成29年度自己点検評価書)

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、地域自治体及び地域企業に配布を予定(平成30年7月を予定)
- ・本学ホームページ上に公開予定(平成30年6月30日を予定)

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成35年度に日本高等教育評価機構の認証評価を受審する予定である。

(注:平成28年度に日本高等教育評価機構の認証評価を受審し、同機構の定める大学評価基準に適合しているとして判定されたため、次回受審は7年後として予定している。)

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成30年6月30日)

(注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

< 添 付 資 料 >

< 添付資料目次 >

1. 学習・教育開発センター規程
2. 学習・教育開発センター運営委員会規程

1. 学習・教育開発センター規程

山梨学院大学学習・教育開発センター規程

(平成27年4月1日制定)

(名称)

第1条 山梨学院大学(以下、「本学」という。)に、山梨学院大学学習・教育開発(Learning and Education Development)センター(以下、「LEDセンター」という。)を置く。

(目的)

第2条 LEDセンターは、インスティテューショナル・リサーチ(IR)活動に基づき、大学の意思決定に資す情報の収集と分析に努めながら、学生の学習支援を開発し、大学全体や学部の教育、そして個々の授業について研究支援し、本学の教育改革に資することを目的とする。

(事業)

第3条 LEDセンターは、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 初年次教育及びコンピテンシー教育に係る授業の計画と運営
- (2) ファカルティ・ディベロップメント(FD)及びスタッフ・ディベロップメント(SD)の計画と実施
- (3) ピア・サポート体制の確立
- (4) 補習教育を含む学習支援
- (5) インスティテューショナル・リサーチ(IR)
- (6) その他LEDセンターの目的達成にとって適当と認められる事業

(センター長)

第4条 LEDセンターに、センター長1名を置く。

- 2 センター長は、センターの事務を統括し、センターを代表する。
- 3 センター長は、本学専任教員の中から、学長がこれを委嘱する。
- 4 センター長の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

(副センター長)

第5条 LEDセンターに、副センター長を置くことができる。

- 2 副センター長は、センター長を補佐し、センター長に事故あるときは、センター長の職務を代行する。
- 3 前条第3項及び第4項の規定は、副センター長について準用する。

(研究員)

第6条 LEDセンターに、研究員若干名を置くことができる。

- 2 研究員は、センター長の命を受けて、センター事業を推進する業務を行う。
- 3 第4条第3項及び第4項の規定は、研究員について準用する。

(顧問)

第7条 LEDセンターに外部有識者による顧問を置くことができる。

(事務長及び職員)

第8条 LEDセンターに、事務長1名及び専門職職員及び事務職員若干名を置く。

- 2 事務長は、センター長の命を受けてセンターの事務を司る。
- 3 LEDセンターに関する事務は、教務部教務課が処理する。

(運営)

第9条 LEDセンターに、事業の計画、運営等に関する事項を審議するため運営委員会を置く。運営委員会に関する規程は別に定める。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、合同教授会の議を経なければならない。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年9月20日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

2. 学習・教育開発センター運営委員会規程

山梨学院大学学習・教育開発センター運営委員会規程

(平成28年3月2日制定)

(設置)

第1条 本学に、学習・教育開発センター（以下、「LEDセンター」という。）規程第9条に定める、LEDセンター運営委員会（以下、「本委員会」という。）を置く。

(職務)

第2条 本委員会は、次の各号に掲げる事項について審議し、必要に応じてLEDセンターの業務を分担する。

- (1) 事業計画及び運営に関する事項
 - (2) その他LEDセンター長が付議する事項
- 2 第1項第1号に掲げる事項のうち授業科目「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」に係る企画・運営については、本学新生が大学生としてふさわしい意識と姿勢をもちつつ、大学での学問修得に必要な基礎知識及び基本的スキルを身に付けることができるよう、新生教育の企画立案等を図り、もって本学新生の大学生活の充実に資することを目的とする。
- 3 第1項第1号に掲げる事項のうちファカルティ・ディベロップメント（FD）に関するものは、本学の教育理念及び各学部・学科の教育目標に基づき、教育の質的向上及び授業改善のための方策を検討し、これに必要な諸活動を企画・立案し、実施することを目的とする。

(構成)

第3条 本委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) センター長
 - (2) 副センター長
 - (3) 事務長
 - (4) 委員
 - (5) その他学長が特に認めた者
- 2 本委員会の委員長は、LEDセンター長が務める。
- 3 本委員会には、副委員長を置くことができる。

(委嘱)

第4条 本委員会の委員は、学長が委嘱する。

(任期)

第5条 前条の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠によって委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 委員長は、本委員会を招集して、その会議の議長となる。

- 2 委員長に事故あるときは、副委員長又は委員長が予め指名した委員が議長の職務を代行する。
- 3 委員長は、会議に委員以外の教職員の出席を求めることができる。

(事 務)

第7条 本委員会の事務は、教務部教務課が担当する。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改正は、本委員会の議を経て、合同教授会の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

- (1) 山梨学院大学基礎演習企画運営委員会規程(平成20年3月5日制定)、及び山梨学院大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程(平成19年10月17日制定)、並びに山梨学院大学学生総合支援委員会規程(平成25年3月6日制定)は、これを廃止する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。